

令和8年度
狛江市後期基本計画の指標等に係る
市民アンケート

調査報告書

令和8年7月
狛江市

目 次

第1章 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査項目	1
4. 回答結果	2
5. その他	3

第2章 回答者属性

第3章 調査結果

狛江市に対する考えについて	9
人権について	18
防災・防犯について	21
商業・農業について	31
子育てについて	37
地域活動、健康づくりについて	48
生涯学習について	56
芸術文化について	59
スポーツや運動について	62
歴史・伝統について	65
環境について	68
市民参加・協働について	83
狛江市役所について	93
狛江市の取組に対する評価について	109

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、以下の事項の把握を目的とする。

- ① 狛江市後期基本計画に掲げる指標のうち、市民の状況等を対象とするものの現状値
- ② 各課から希望のあった調査
- ③ 市民による狛江市の取組に対する評価

2. 調査設計

- (1) 調査対象…満18歳以上の市民(令和8年4月1日現在)
- (2) 調査票数…2,500人
- (3) 抽出方法…狛江市住民基本台帳から、性別・年齢の人口構成に合わせて無作為抽出
- (4) 調査方法…郵送配布、Web回答
- (5) 調査期間…令和8年4月15日から令和8年5月7日まで(23日間)

3. 調査項目

回答者属性
狛江市に対する考えについて
人権について
防災・防犯について
商業・農業について
子育てについて
地域活動、健康づくりについて
生涯学習について
芸術文化について
スポーツや運動について
歴史・伝統について
環境について
市民参加・協働について
狛江市について
狛江市の取組に対する評価について

4. 回答結果

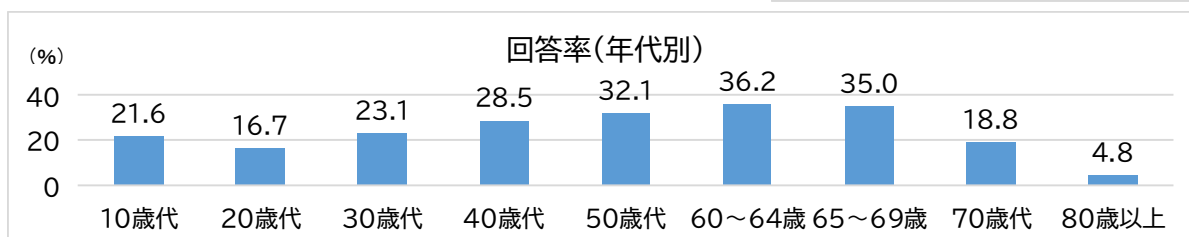
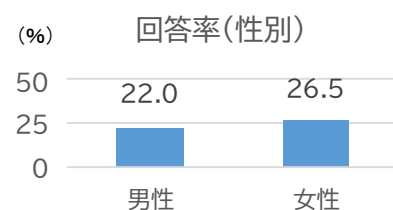
合計…634 通(回答率 25.4%)

・性別・年代ごとの対象者数及び配布・回答結果

属性		対象者数※1		配布数		回答数		
		実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	回答率(%)
総数(18 歳以上)		66,470		2,500		634		25.4
性別	男性	32,511	48.9	1,223	48.9	269	42.4	22.0
	女性	33,959	51.1	1,277	51.1	339	53.5	26.5
	その他	-	-	-	-	2	0.3	-
	回答したくない	-	-	-	-	16	2.5	-
	未回答	-	-	-	-	8	1.3	-
年齢	10 歳代	1,346	2.0	51	2.0	11	1.7	21.6
	20 歳代	9,561	14.4	360	14.4	60	9.5	16.7
	30 歳代	9,902	14.9	372	14.9	86	13.6	23.1
	40 歳代	11,855	17.8	446	17.8	127	20.0	28.5
	50 歳代	12,925	19.4	486	19.4	156	24.6	32.1
	60～64 歳	5,297	8.0	199	8.0	72	11.4	36.2
	65～69 歳	4,164	6.3	157	6.3	55	8.7	35.0
	70 歳代	8,084	12.2	304	12.2	57	9.0	18.8
	80 歳以上	3,336	5.0	125	5.0	6	0.9	4.8
	未回答	-	-	-	-	4	0.6	-

※1 令和8年3月1日現在の 18 歳以上の住民基本台帳登録者数

回答率は、性別では男性より女性の方が高い。
年代別では 60 歳代前半において最も高く、
80 歳代以上で最も低い。



5. その他

- ・百分率(%)の計算は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ・クロス集計においては、百分率(%)の計算は、小数点以下第1位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、回答数及び構成比の割合と異なる場合がある。なお、0及び小数点以下第1位を四捨五入して0になる値は数値を表記していない。
- ・Gemini3.1 Flash Lite による回答内容の分類・分析を参考にしています。

第2章 回答者属性

1 性別

	回答数	構成比
男	269	42.4%
女	339	53.5%
その他	2	0.3%
回答したくない	16	2.5%
未回答	8	1.3%
合計	634	

2 年齢

	回答数	構成比
10 歳代	11	1.7%
20 歳代	60	9.5%
30 歳代	86	13.6%
40 歳代	127	20.0%
50 歳代	156	24.6%
60 歳～64 歳	72	11.4%
65 歳～69 歳	55	8.7%
70 歳代	57	9.0%
80 歳以上	6	0.9%
未回答	4	0.6%
合計	634	

3 世帯構成

	回答数	構成比
単身世帯	120	18.9%
夫婦のみの世帯	152	24.0%
親と子(二世帯)	342	53.9%
親と子と孫(三世帯)	15	2.4%
その他	3	0.5%
未回答	2	0.3%
合計	634	

4 居住年数

	回答数	構成比
1年未満	29	4.6%
1～5年	98	15.5%
6～10 年	73	11.5%
11～20 年	137	21.6%
21 年以上	296	46.7%
未回答	1	0.2%
合計	634	

5 居住地域

	回答数	構成比
和泉本町	116	18.3%
中和泉	95	15.0%
西和泉	4	0.6%
元和泉	30	4.7%
東和泉	52	8.2%
猪方	50	7.9%
駒井町	23	3.6%
岩戸南	65	10.3%
岩戸北	65	10.3%
東野川	73	11.5%
西野川	57	9.0%
未回答	4	0.6%
合計	634	

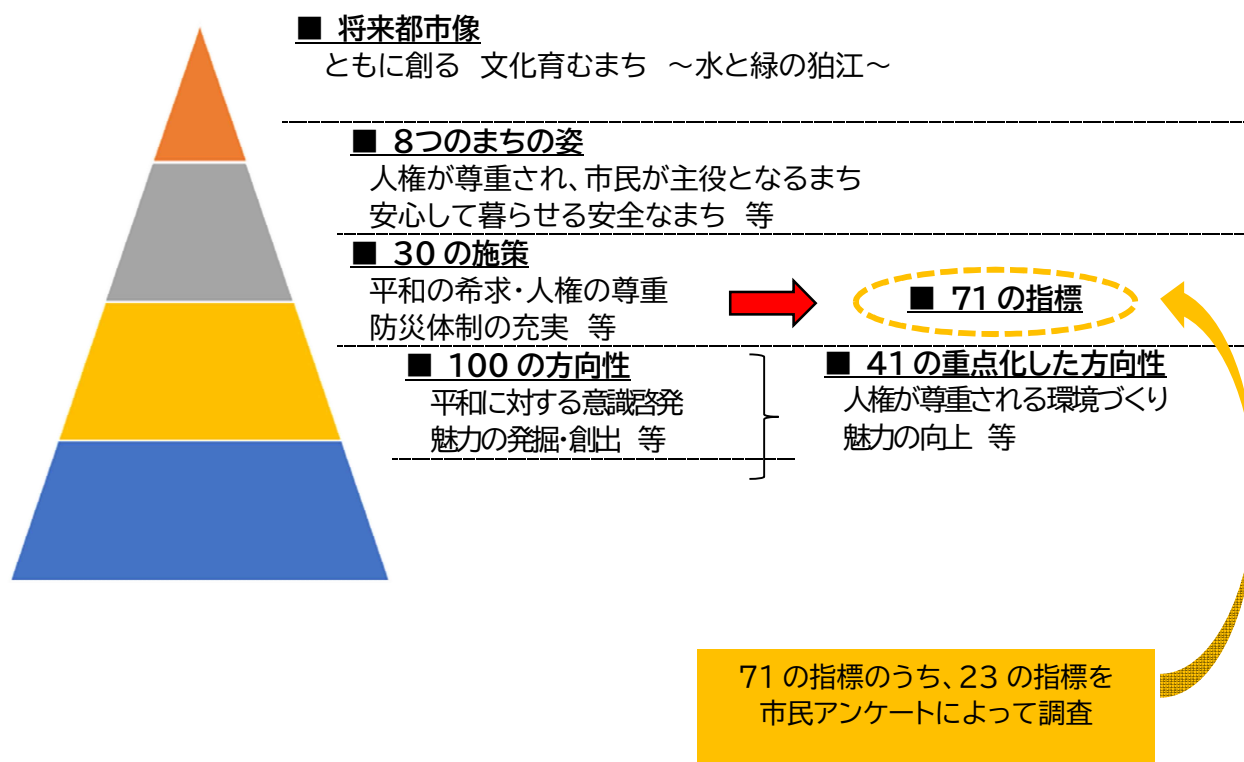
第3章 調査結果

狛江市後期基本計画では、取組の進捗状況を測るために指標を設定しており、このうち、市民の状況等を対象とするものの現状値を把握するためのアンケート調査を行った。

ここでは、各設問の調査結果と併せて、関連する施策指標、指標値の推移、回答者属性を交えた集計(クロス集計)を記載している。

なお、施策指標においては、令和5年度末の現状値及び計画最終年度である令和11年度末の目標値を記載している。

参考: 狛江市後期基本計画のつくり



設問一覧

設問	
問1-1	あなたは、これからも狛江市に住み続けたいと思いますか。
問1-2※1	住み続けたいと思う理由を3つまで挙げてください。
問1-3※1	住み続けたくないと思う理由を3つまで挙げてください。
問2-1	あなたは、狛江市に対して愛着や誇りを持っていますか。
問2-2※1	愛着や誇りを持つところを3つまで挙げてください。
問3	あなたは、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、人権が尊重されていると思いますか。
問4	あなたは、地震や台風等の自然災害に対して、非常食の準備や防災グッズの用意、家具の転倒防止器具の設置等、何らかの備えをしていますか。
問5※2	令和4年5月に東京都は首都直下地震等による被害想定を発表し、狛江市では地震に伴う火災による被害などが懸念されていますが、あなたは、震災による火災などへの備えをしていますか。
問6	あなたは、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間に、狛江市が主催する防災訓練(防災フェア)や水防訓練、LINE デジタル避難訓練、お住まいの地域や学校で行われている防災訓練や講演会等、防災に関する催しに参加しましたか。
問7	あなたは、狛江市が治安の良いまちだと感じますか。
問8	あなたは、狛江市内での飲食や買い物が便利だと感じますか。
問9	あなたは、日頃から狛江産の野菜や果物を意識して買ったり、食べたりしていますか。
問10※2	あなたは、子育てひろばや子育て応援プログラム、プレーパーク、児童センター・児童館等、狛江市内での子育てに関する取組や活動が活発だと感じますか。
問11	あなたは、学校や家以外で、地域において、子どもの居場所が充実していると感じますか。
問12※2	狛江市では、狛江市子どもの権利条例を令和8年4月1日に施行しました。あなたは、狛江市子どもの権利条例について知っていますか？
問13	あなたには、日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人と触れ合ったりする機会がありますか。
問14	あなたは、日頃から健康づくりに取り組んでいますか。
問15	あなたは、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間に、図書館で調べ物をしたり、公民館の講座や講演会に参加したり、その他趣味の活動やレクリエーション活動等、学びに関する活動や体験をしましたか。

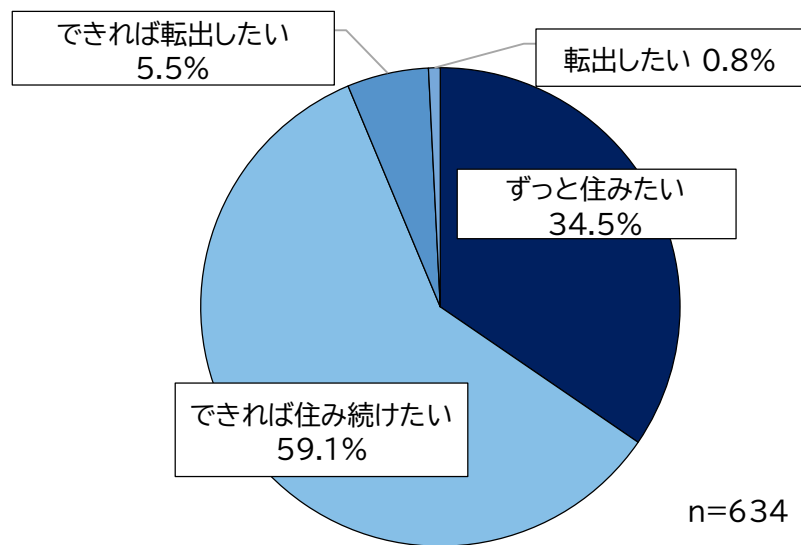
設問	
問 16	あなたは、令和7年4月1日から令和8年3月 31 日までの間に、コンサートホールや美術館・ギャラリー等で音楽や芸術を鑑賞していたり、自ら芸術文化活動に取り組んだりする機会がありましたか。
問 17	あなたは、ウォーキングや散歩(散策やペットの散歩、意識的な階段の利用等を含む)、体操(ラジオ体操や職場体操、ストレッチ、ヨガ等を含む)、ランニング、野球、サッカー等のスポーツや運動をどれくらいの頻度で行っていますか。
問 18※2	あなたは、狛江市の歴史や伝統について、関心を持ったり、見聞きたりしたことがありますか。
問 19※2	あなたは、狛江市内の緑が豊かだと感じますか。
問 20※2	あなたは、多摩川統一清掃や野川美化清掃、クリーン大作戦、町会・自治会や団体による狛江市内の美化活動に参加したことがありますか。
問 21※2	「生物多様性」という言葉について知っていますか。
問 22※2	あなたは、多摩川に対して愛着を持っていますか。
問 23※2	あなたは、多摩川河川敷の整備や活用などに対して満足していますか。
問 24※2	あなたは、行政活動に市民の意見を反映する場(審議会・委員会・パブリックコメント等)に、より多くの市民が参加するようになるためには何が必要だと思えますか。
問 25※2	あなたは、市民活動支援センター(こまえみらいテラス1階)を利用したことがありますか。
問 26※2	あなたは、現在市民活動(ボランティアを含む)を行っていますか。
問 27※2	あなたは、より多くの市民が市民活動(ボランティアを含む)に参加するようになるためには何が必要だと思えますか。
問 28※2	狛江市では狛江市まちづくり条例に基づき地区まちづくり協議会を認定しています。現在、市内で活動している地区まちづくり協議会について、認知しているものを選択してください。
問 29-1	あなたは、必要とする市政情報について、広報こまえや市ホームページ、市 X(旧ツイッター)等でいつでも得ることができていると感じていますか。
問 29-2※1	主に何で情報を得ますか。
問 29-3※1	情報を得ることができていないと感じる理由を教えてください。
問 30	あなたは、狛江市役所が質の高い行政運営を行っていると感じていますか。
問 31	あなたは、狛江市役所職員の対応(窓口や電話等)に満足していますか。
問 32	あなたは、年4回発行されている「GG(旧こまえ市議会だより)」を知っていますか。
問 33	本アンケートに関する御意見、市政に関する御意見等、何でも御記入ください。
問 34-1	市の取組を評価できると思う施策を5個選択してください。
問 34-2	市の取組をもっと進めていくべきと思う施策を5個選択してください。

※1 前問(前々問)に対し、内容を詳細に把握するための設問

※2 後期基本計画の指標とは直接関連はないが、市民の方の状況を把握するための設問

● 狛江市に対する考えについて

●問1 あなたは、これからも狛江市に住み続けたいと思いますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



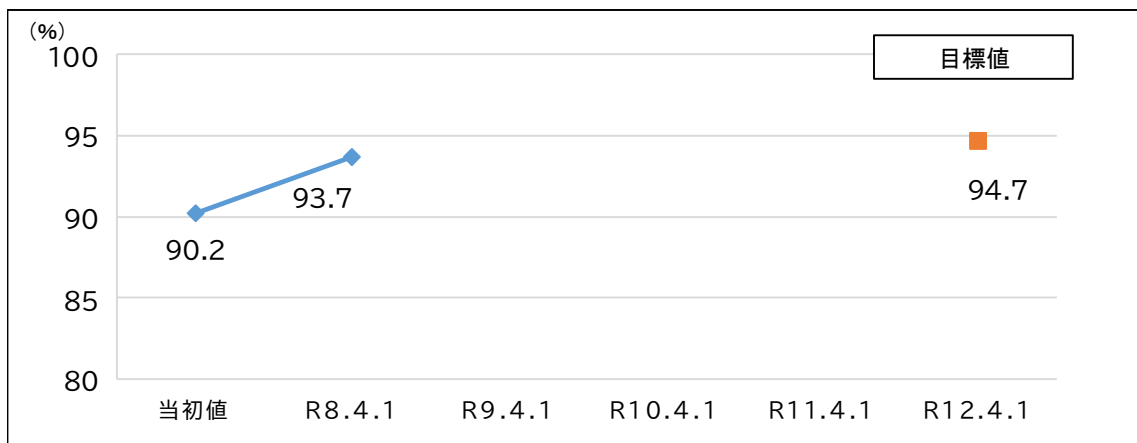
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
ずっと住み続けたい	219	34.5%
できれば住み続けたい	375	59.1%
できれば転出したい	35	5.5%
転出したい	5	0.8%
未回答	0	0.0%
合計	634	

■施策指標

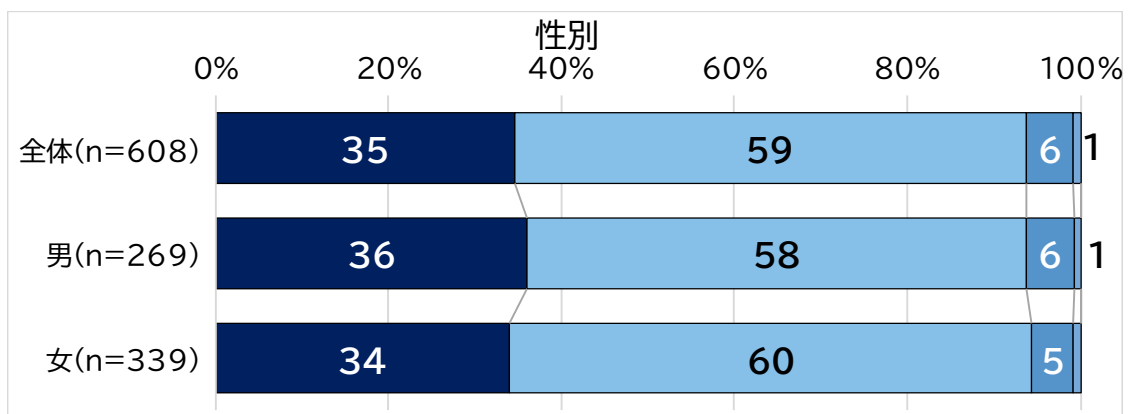
施策	3-①「魅力の創出・向上・発信」
目指す姿	様々な地域資源等を育み、まちに溢れる多様な魅力を通じて、にぎわいや人と人との交流が創出され、多くの市民が市に愛着・誇りを持ち、シビックプライド*が醸成されることで、市民活動を始めとする様々な取組が活発になり、魅力の向上につながっています。また、効果的な情報発信により、市ならではの魅力が市内外に広く伝わり、市の認知度・魅力度が向上しています。
指 標	狛江市に住み続けたいと思う市民の割合(%)は、93.7% (「ずっと住み続けたい」、「できれば住み続けたい」の回答数の合計の割合)

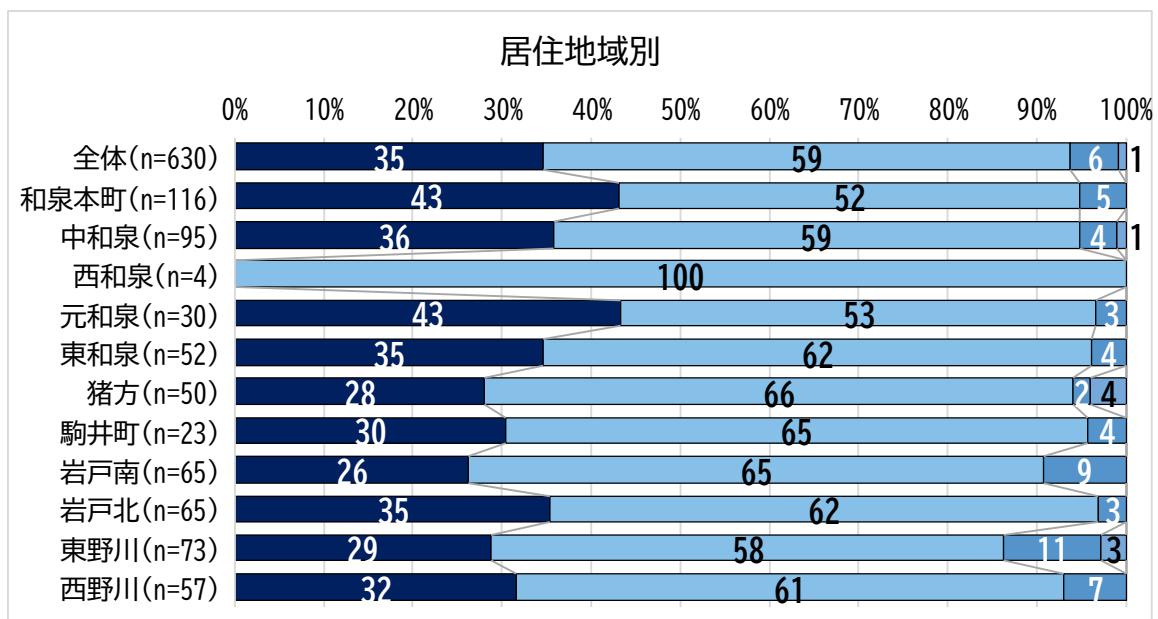
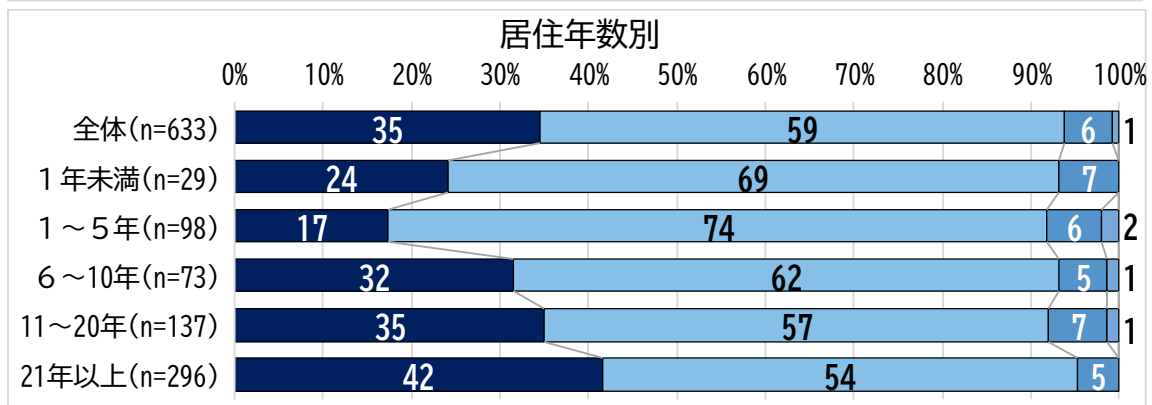
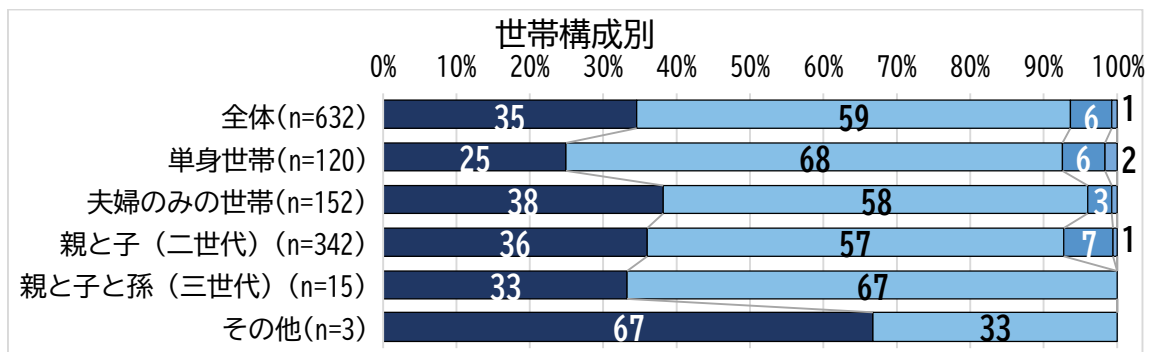
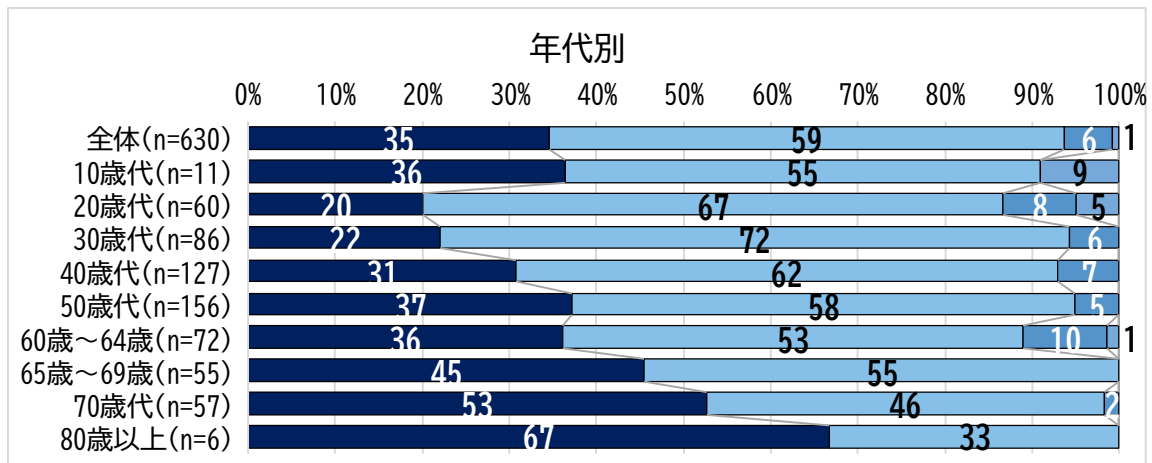
■施策指標の推移



■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

■ ずっと住み続けたい	■ できれば住み続けたい	■ できれば転出したい
■ 転出したい	■ わからない	■ 未回答





※問1-1で「ずっと住みたい」又は「できれば住みたい」を選択した方へお聞きします。

●問1-2 住みたいと思う理由を3つまで挙げてください。
(自由記述)

合計 892 件

カテゴリー	件数	主なキーワード
交通・立地利便性	223	都心アクセス、小田急線の利便性
自然・環境・景観	201	多摩川、野川、緑、公園
住環境・暮らしやすさ	161	静か、落ち着き、平坦、坂がない、コンパクト
居住歴・愛着・家族	115	生まれ育った、長く住んでいる、家族・友人がいる
治安・安全・安心	89	治安が良い、犯罪が少ない、安心感、穏やかな住民
生活機能(買い物・医療)	62	スーパー、病院、必要なものが揃う、駅前開発
その他(行政・支援・愛着等)	41	子育て支援、イベント、行政の距離感、

① 都会と田舎の調和

「都心へのアクセス(交通利便性)」と「多摩川等の自然環境」をセットで挙げる回答が多く、新宿へ30分で出られる利便性を享受しながら、休日は多摩川や野川でリフレッシュできるというライフスタイルを両立できていることが理由として挙げられています。

② 「平坦・コンパクト」がもたらす暮らしやすさ

「坂がない」「コンパクトで移動しやすい」という回答が多くあります。物理的な移動コストの低さが、狛江市の「住みやすさ」の理由の1つと言えます。

③ 治安の良さ、安心感の高さ

「治安が良い」「犯罪を聞かない」といった安全面への評価に加え、「住民が穏やか」「知り合いに会える」といった回答があります。また、大きな事件や騒がしい繁華街がなく、程よい距離感のコミュニティが存在することが、暮らしやすさにつながっていると考えられます。

※問1-1で「できれば転出したい」又は「転出したい」を選択した方へお聞きします。

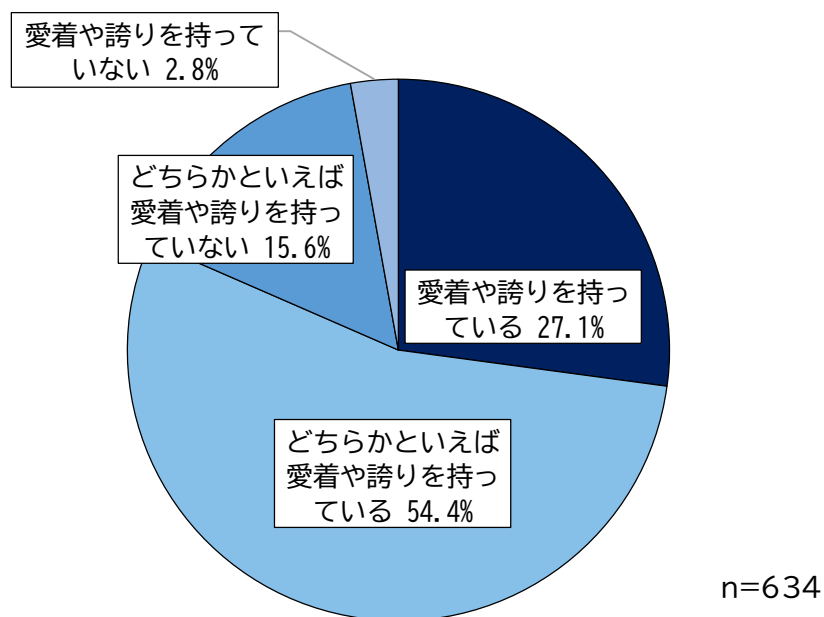
●問1-3 住み続けたくないと思う理由を3つまで挙げてください。
(自由記述)

合計 84 件

主な意見(原文のとおり)

文化、商業、施設に魅力が無い	夜遅いと道が暗く怖い
水害(多摩川、野川氾濫)が怖いから	南北がわかりづらく斜めの道が多い
カラオケ、ゲームセンター等娯楽施設がない	ゴミ袋が高い
誰も知り合いがいないから	空港や新幹線へのアクセスが悪い
子育て支援が他と比べて弱い、助成金少ない	狭い道路が多く車で走行すると危険を感じる
より緑の多い地域に住みたい	医療や福祉が充実してるように感じない
狛江通りが混むし、バスが多いし、狭い	交通手段がなく、バスの利便に欠けています
区部に比べて金銭的なサービスが低い	食べる場所がない
駐車場やマンションなど地価が高い	駅前のカフェ難民が多い
インフラ・家屋・商店の老朽化・荒廃が進展	知名度が低い

●問2-1 あなたは、狛江市に対して愛着や誇りを持っていますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



■回答数及び構成比

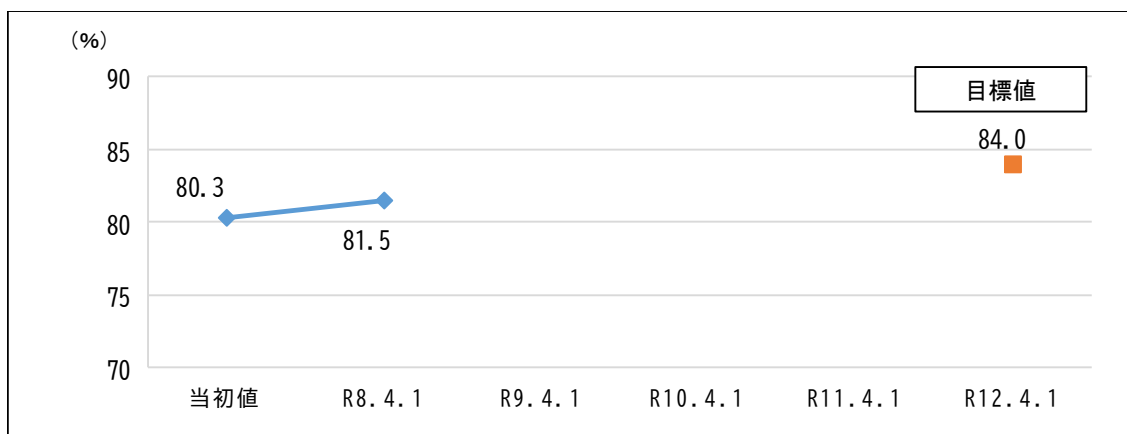
	回答数	構成比
愛着や誇りを持っている	172	27.1%
どちらかといえば愛着や誇りを持っている	345	54.4%
どちらかといえば愛着や誇りを持っていない	99	15.6%
愛着や誇りを持っていない	18	2.8%
未回答	0	0.0%
合計	634	

■施策指標

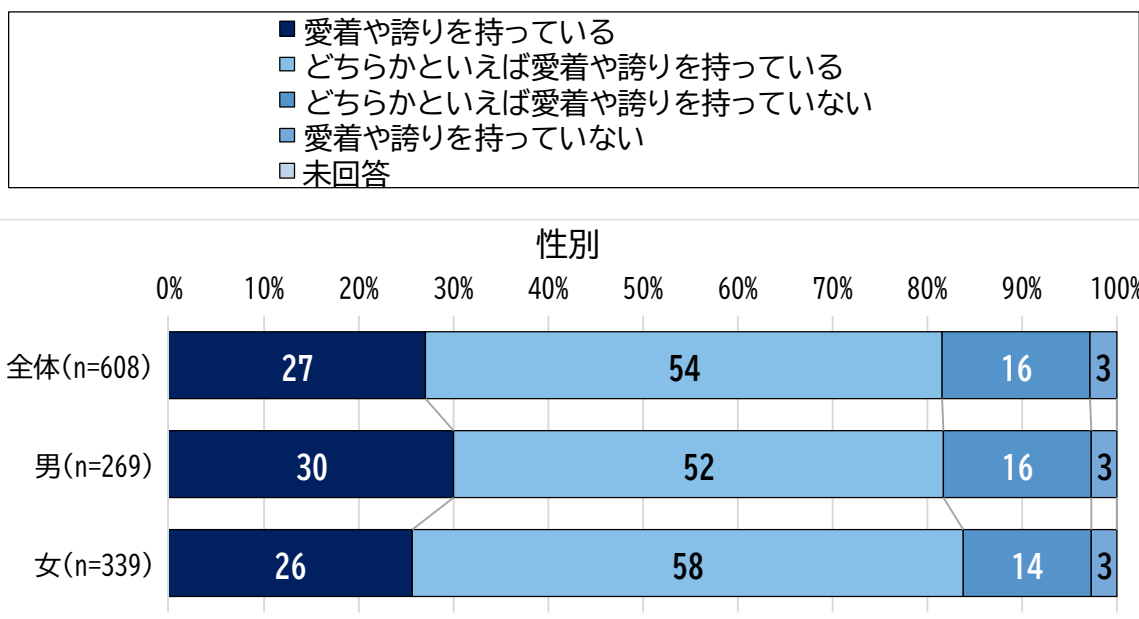
施策	3-①「魅力の創出・向上・発信」
目指す姿	様々な地域資源等を育み、まちに溢れる多様な魅力を通じて、にぎわいや人と人との交流が創出され、多くの市民が市に愛着・誇りを持ち、シビックプライド*が醸成されることで、市民活動を始めとする様々な取組が活発になり、魅力の向上につながっています。また、効果的な情報発信により、市ならではの魅力が市内外に広く伝わり、市の認知度・魅力度が向上しています。
指標	狛江市に愛着や誇りを持っている市民の割合(%)は、81.5% (「愛着や誇りを持っている」、「どちらかといえば愛着や誇りを持っている」の回答数の合計の割合)

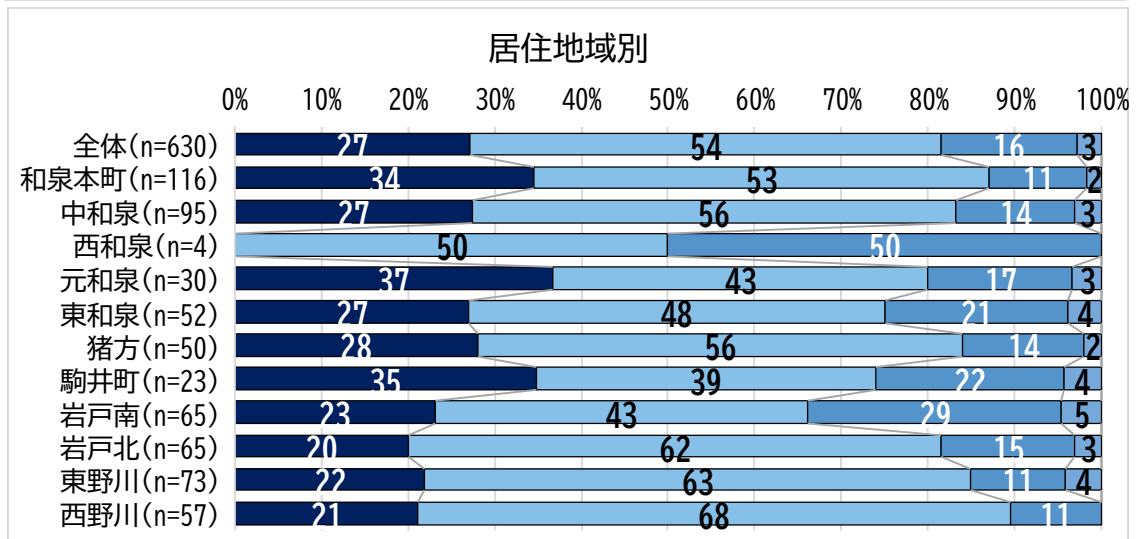
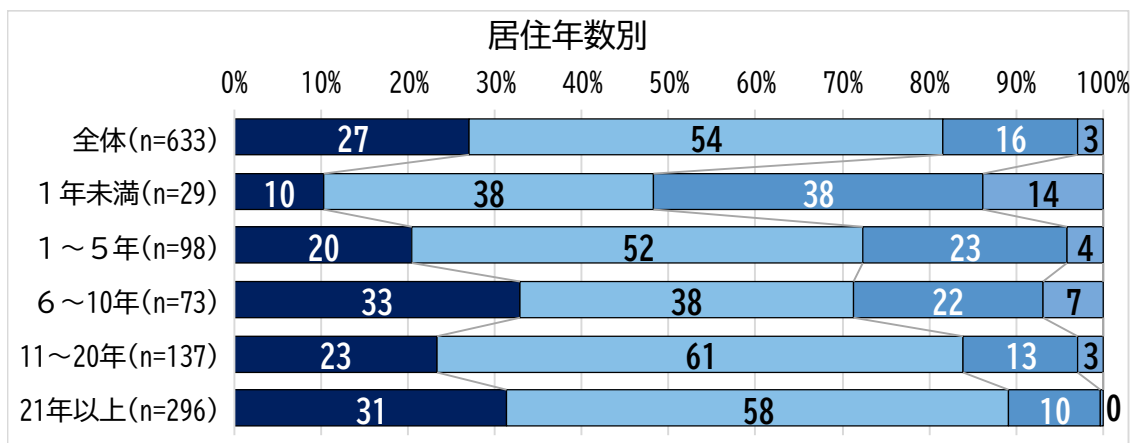
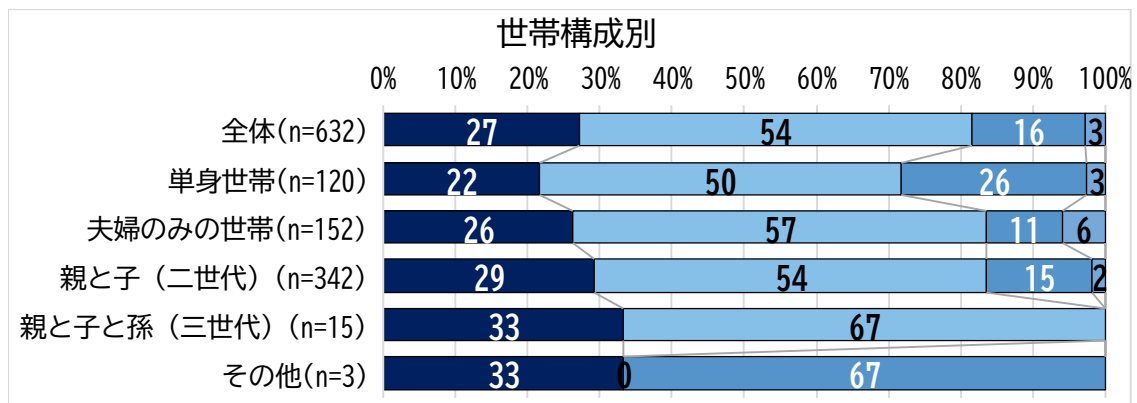
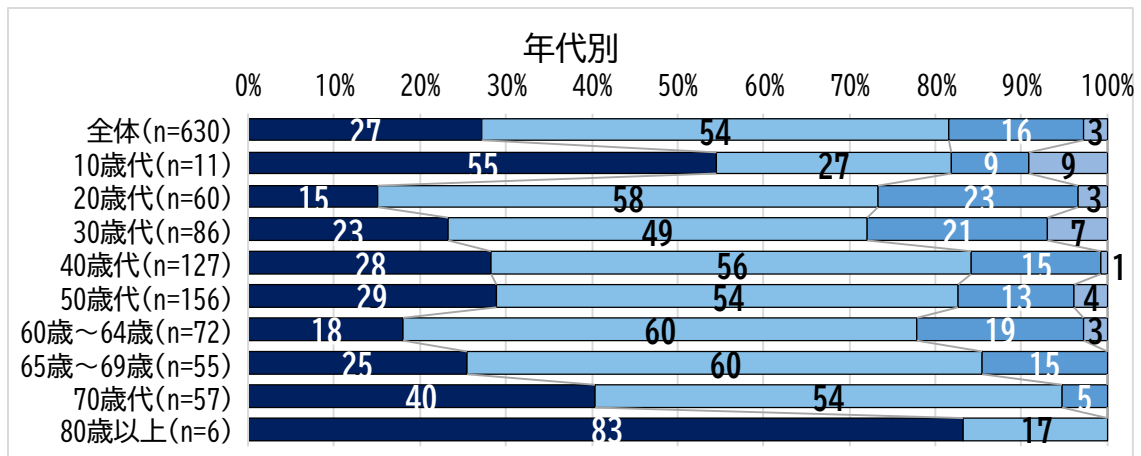
*地域や自治体に対して住民が誇りや愛着を持ち、地域社会に貢献する意識のこと

■施策指標の推移



■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)





※問2-1で「愛着や誇りを持っている」又は「どちらかといえば愛着や誇りを持っている」を選択した方へお聞きします。

●問2-2 愛着や誇りを持つところを3つまで挙げてください。
(自由記述)

合計 1,086 件

カテゴリー	件数	主なキーワード
自然環境・景観	282	多摩川、野川、緑、公園、散歩、空気がきれい、桜
交通利便性・立地	255	都心アクセス、新宿・渋谷へ近い、小田急線
居住歴・愛着・家族	175	生まれ育った、長く住んでいる、家族・知人
静かさ・住環境・街並み	162	静か、落ち着き、平坦、坂がない、のどか
治安・安全・安心	98	治安が良い、犯罪が少ない、安心感、穏やか
生活機能(買い物・医療)	78	スーパー、病院、商店、日々の買い物のしやすさ
コンパクトさ・行政等	36	市の小ささ、市役所の近さ、子育て支援、イベント

①自然と利便性の調和

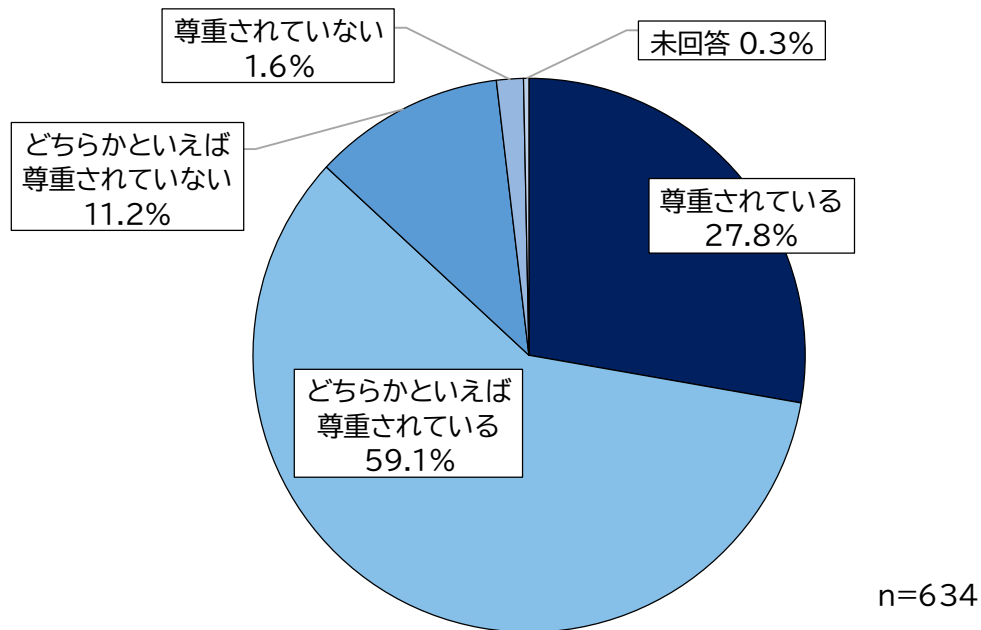
「自然環境(282 件)」と「交通利便性(255 件)」を合わせると全体の約半数に達します。市民の多くが、「都心へのアクセスが良いという機能的利便性」と「多摩川・野川という情緒的な自然環境」の共存が、狛江市の価値であると認識しています。

②居住歴に基づく愛着

「生まれ育った」「長く住んでいる」といった居住歴に基づく愛着や、家族・友人の存在が、機能面とは別の愛着、誇りとなっています。

● 人権について

●問3 あなたは、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、人権が尊重されていると思いますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



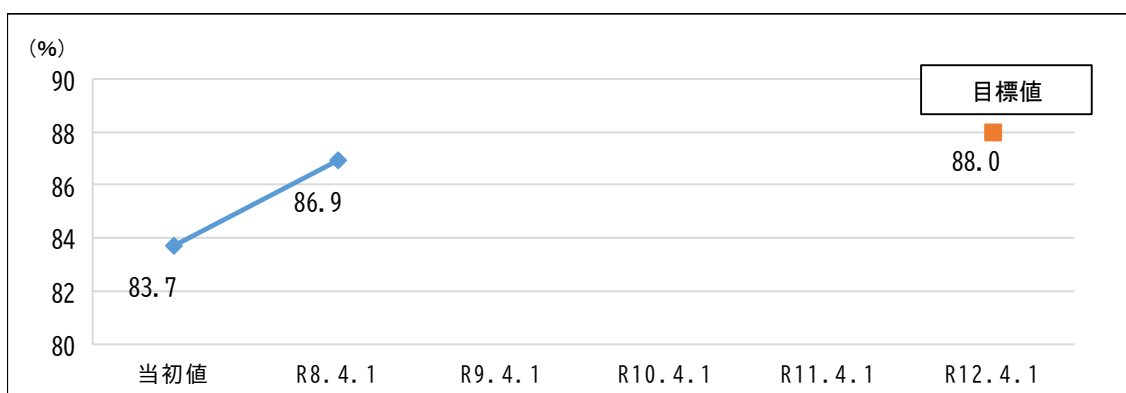
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
尊重されている	176	27.8%
どちらかといえば尊重されている	375	59.1%
どちらかといえば尊重されていない	71	11.2%
尊重されていない	10	1.6%
未回答	2	0.3%
合計	634	

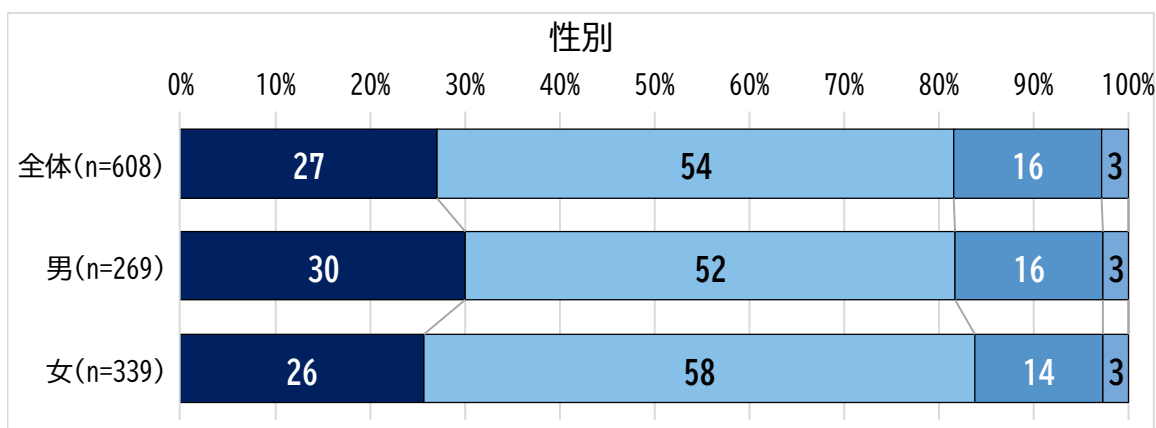
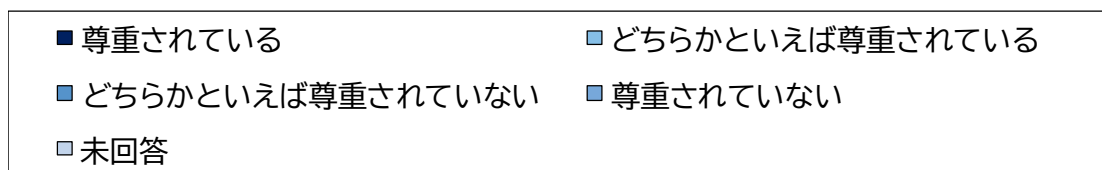
■施策指標

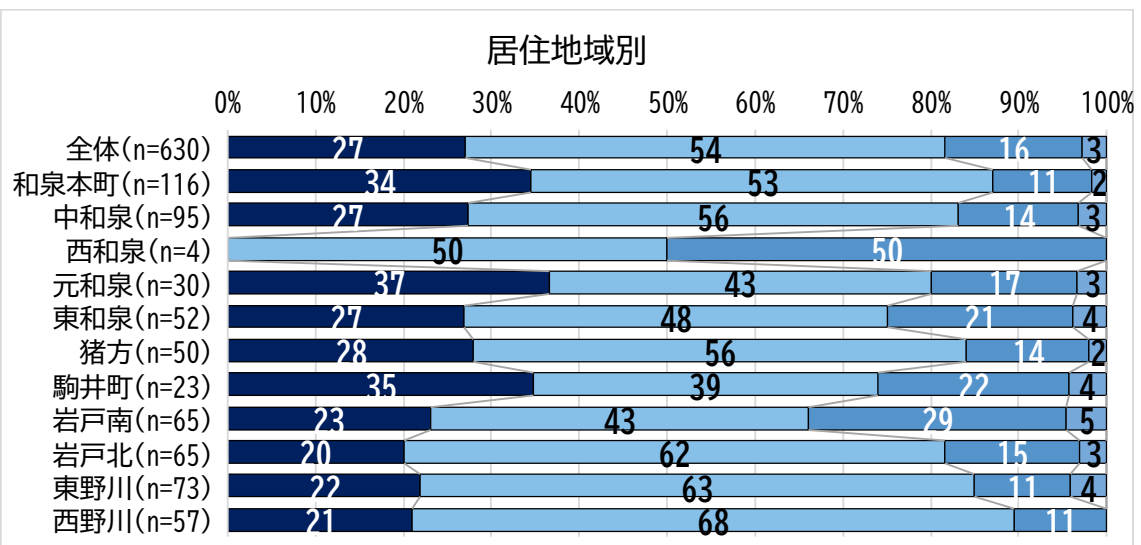
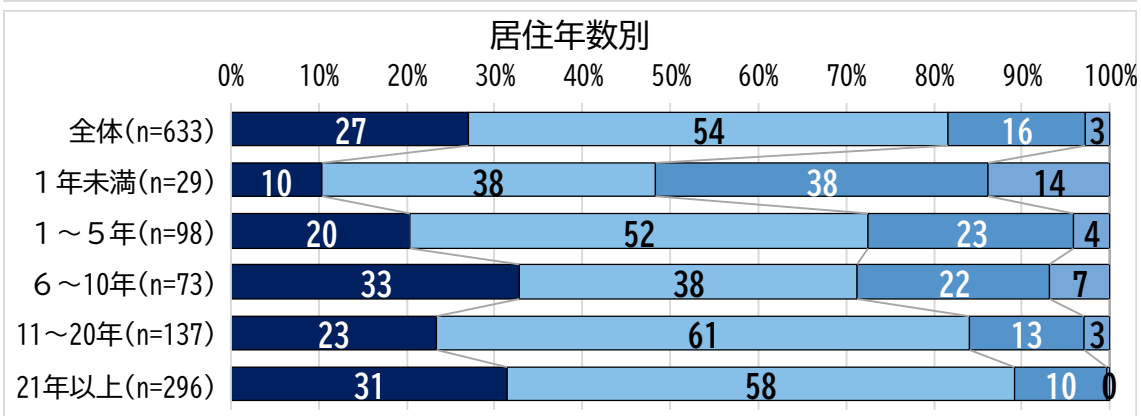
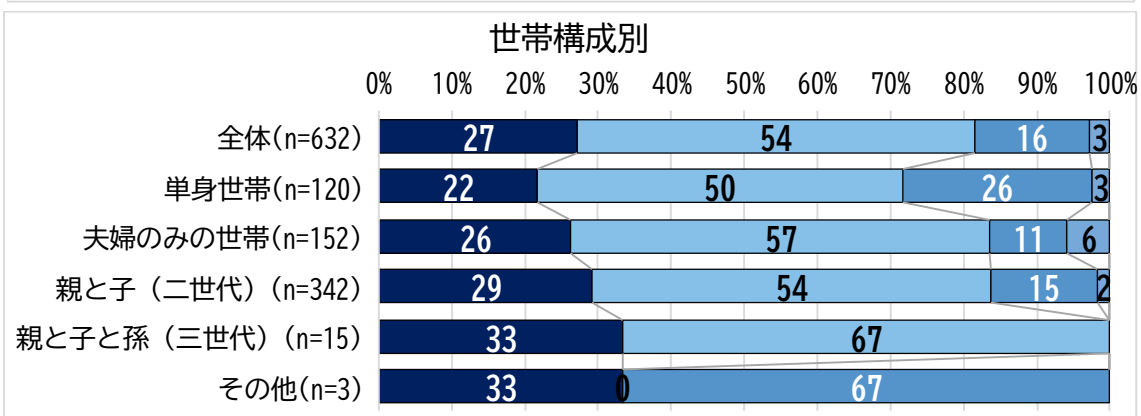
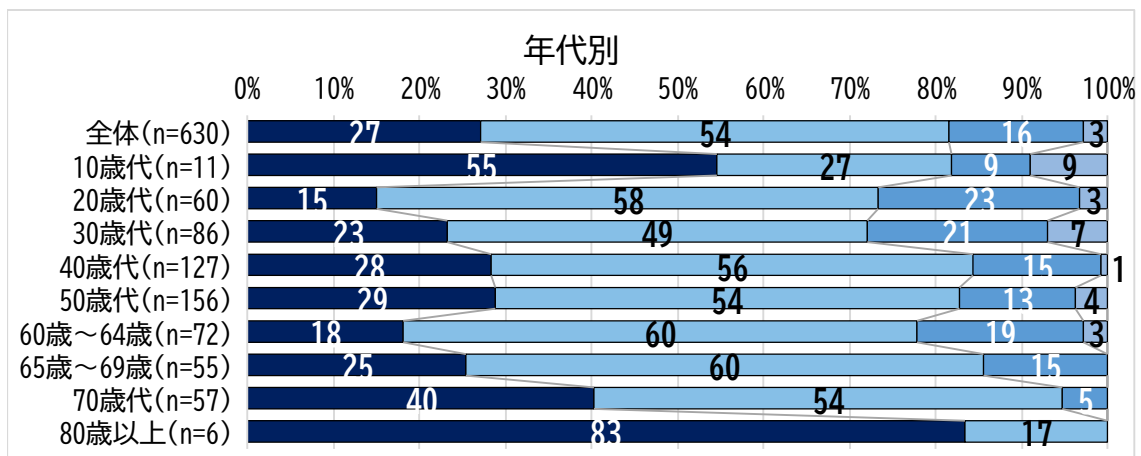
施策	1-①「平和の希求・人権の尊重」
目指す姿	平和の大切さや尊さを自分ごととして捉え、市民一人ひとりの人権が尊重されるとともに、性別や文化にとらわれず互いに認め合い、誰もが能力、個性を発揮し、自分らしく暮らすことができます。
指標	性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、 人権が尊重されていると思う市民の割合(%)は、 86.9% (「尊重されている」、「どちらかといえば尊重されている」の回答数の合計の割合)

■施策指標の推移



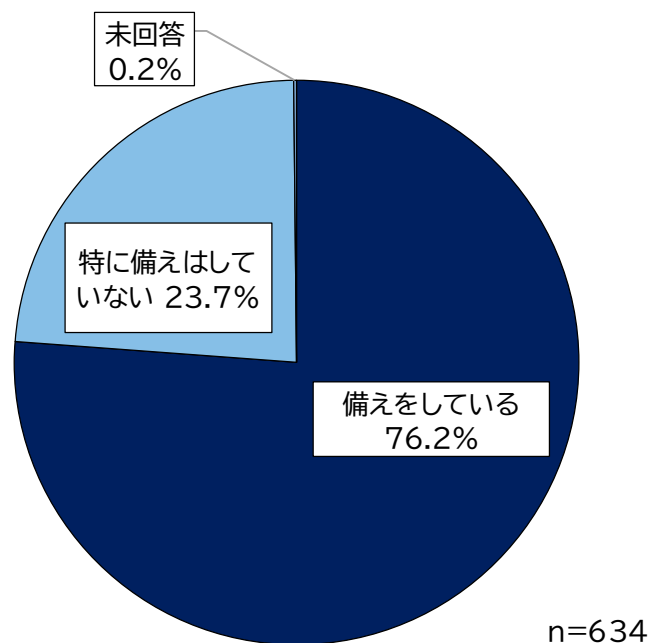
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)





● 防災・防犯について

- 問4 あなたは、地震や台風等の自然災害に対して、非常食の準備や防災グッズの用意、家具の転倒防止器具の設置等、何らかの備えをしていますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



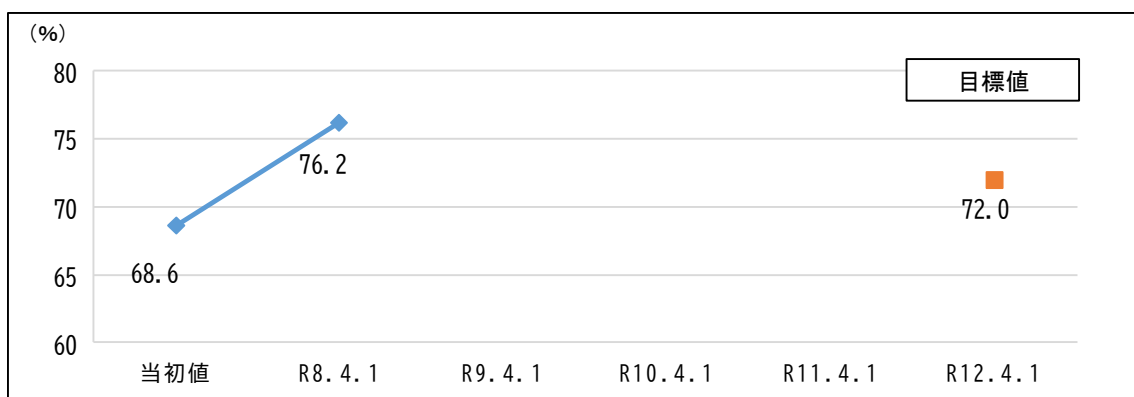
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
備えをしている	483	76.2%
特に備えはしていない	150	23.7%
未回答	1	0.2%
合計	634	

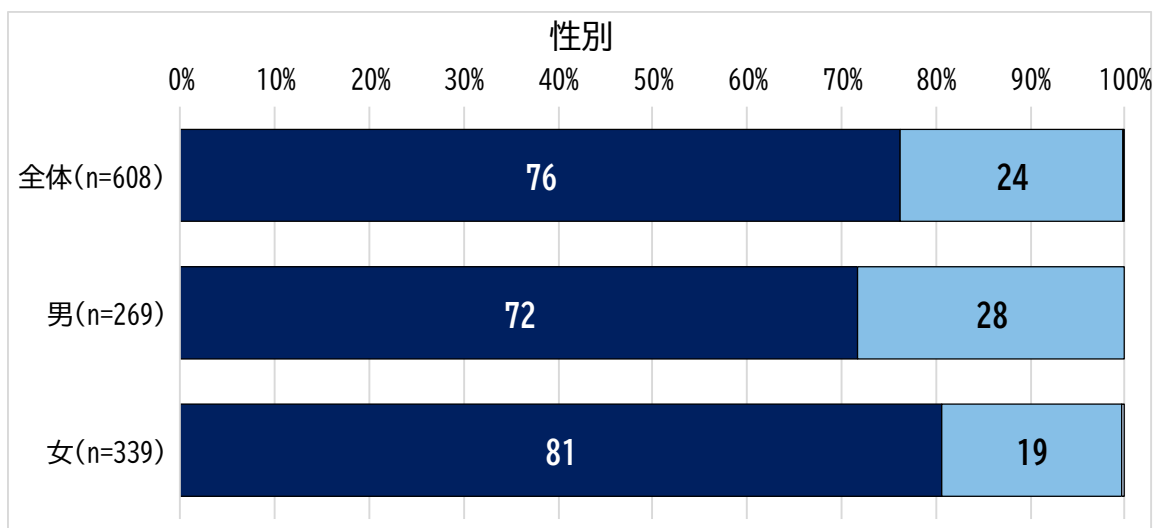
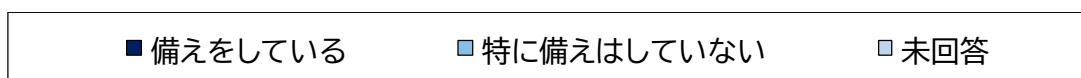
■施策指標

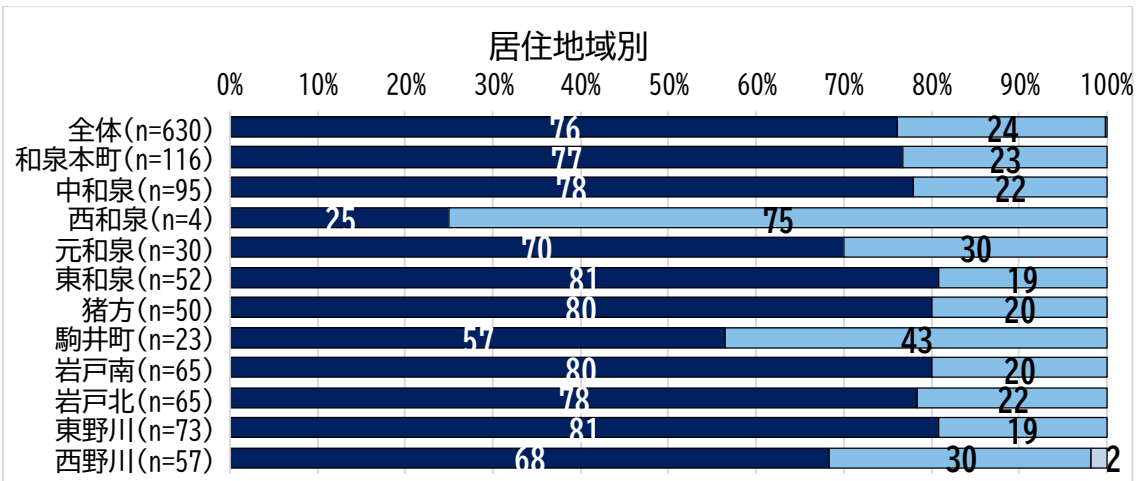
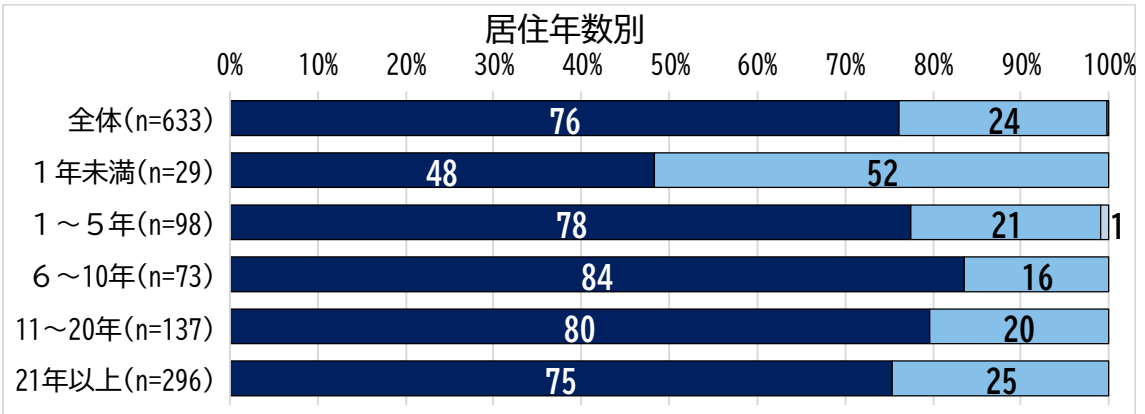
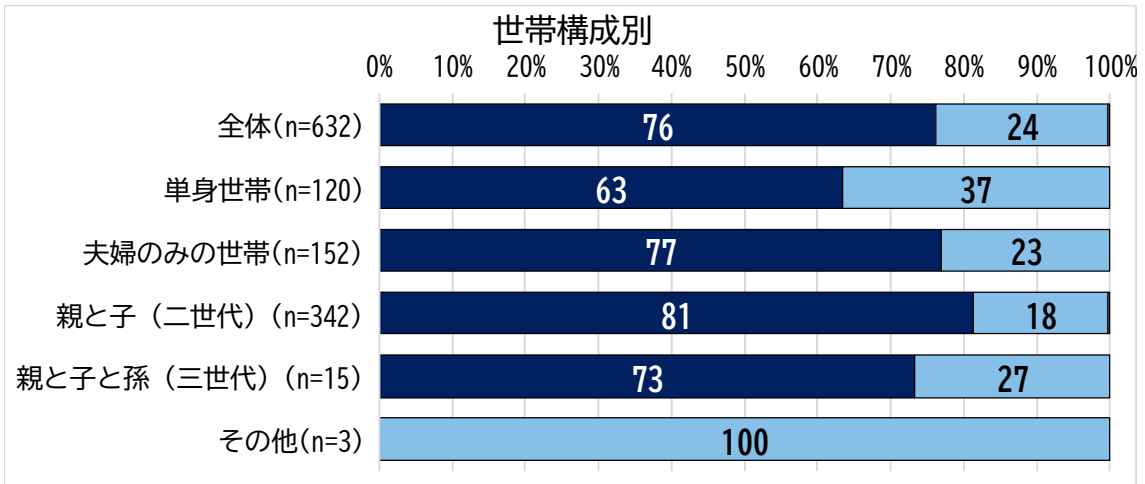
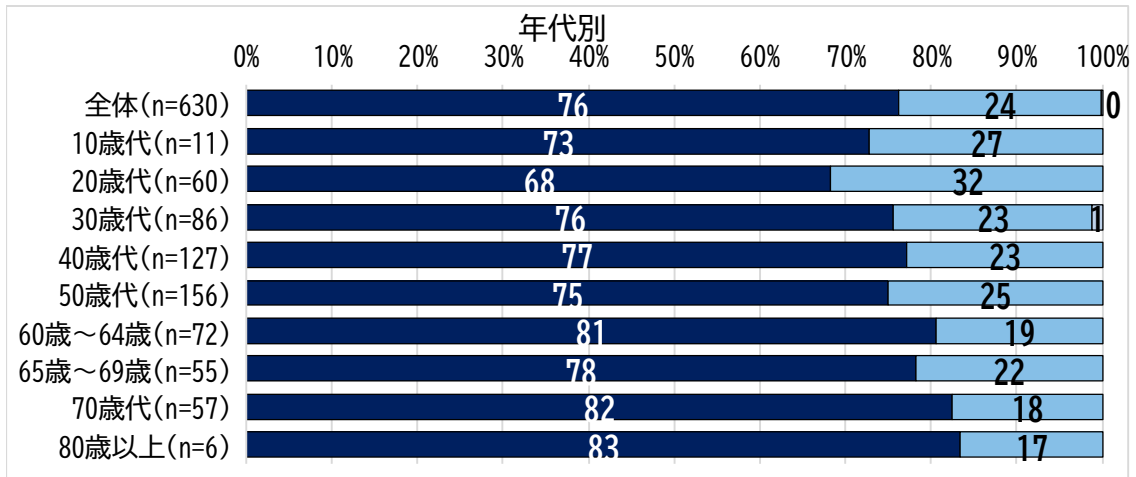
施策	2-①「防災体制の充実」
目指す姿	市民一人ひとりが高い防災意識を持ち、コンパクトである地域特性を活かした防災体制が整っています。また、災害から市民の生命や財産を守ることができる地震や台風等の災害に強い安全なまちになっています。
指標	自然災害に対して何らかの備えをしている市民の割合(%)は、 76.2% (「備えをしている」の割合)

■施策指標の推移



■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

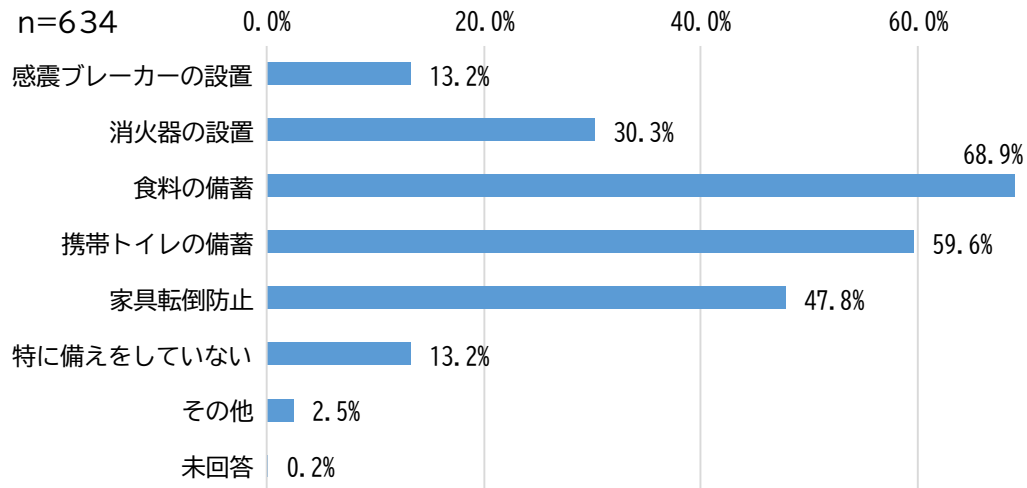




●問5 令和4年5月に東京都は首都直下地震等による被害想定を発表し、狛江市では地震に伴う火災による被害などが懸念されていますが、あなたは、震災による火災などへの備えをしていますか。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください。)

震災による火災への備えとして最も多い回答は、

「食料の備蓄」で、割合は、**68.9%**

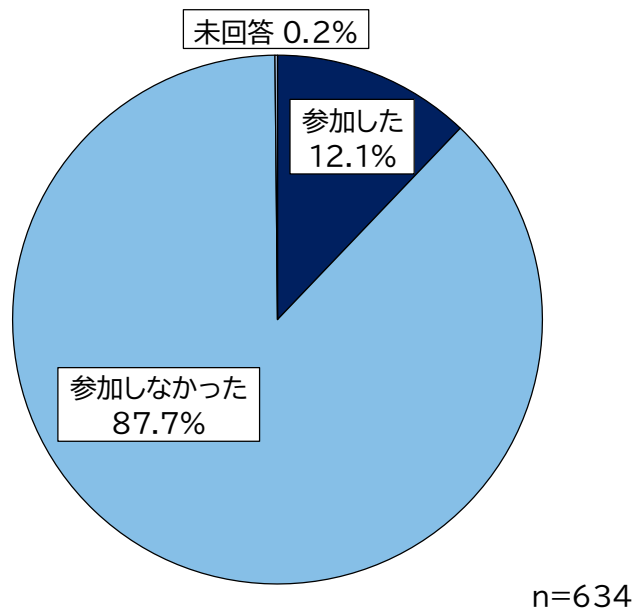


■回答数及び割合

	回答数	割合※
感震ブレーカーの設置	84	13.2%
消火器の設置	192	30.3%
食料の備蓄	437	68.9%
携帯トイレの備蓄	378	59.6%
家具転倒防止	303	47.8%
特に備えをしていない	84	13.2%
その他	16	2.5%
未回答	1	0.2%
合計	1,495	

※回答者合計の 634 人に対する割合

●問6 あなたは、令和7年4月から令和8年3月までの間に、狛江市が主催する防災訓練や水防訓練、お住まいの地域や学校で行われている防災訓練や講演会等、防災に関する催しに参加しましたか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



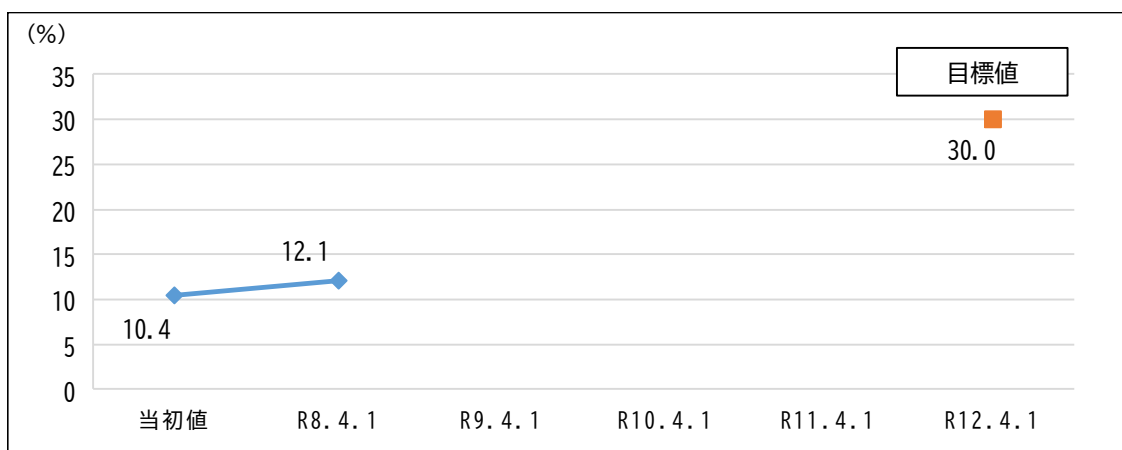
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
参加していた	77	12.1%
参加していなかった	556	87.7%
未回答	1	0.2%
合計	634	

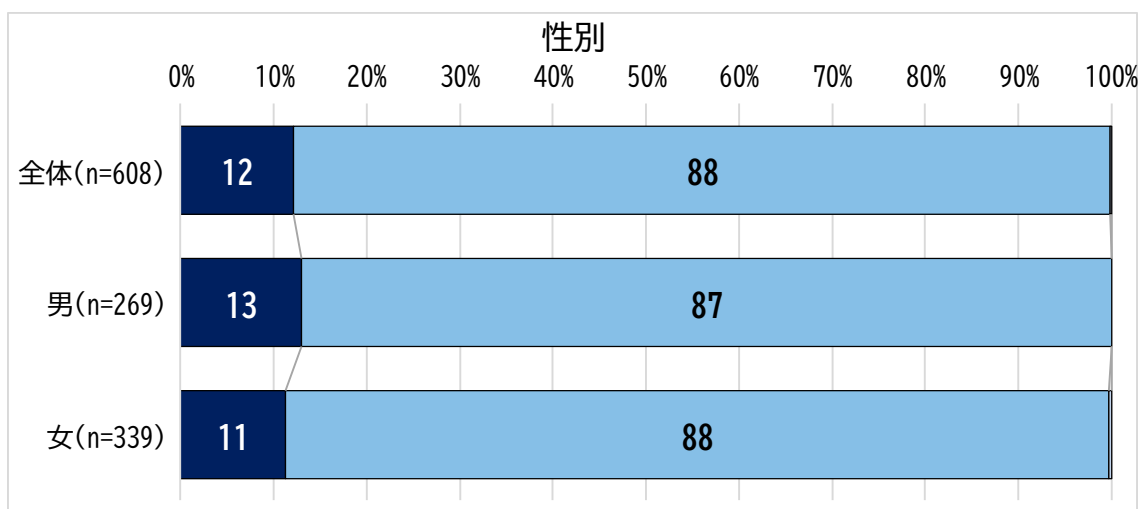
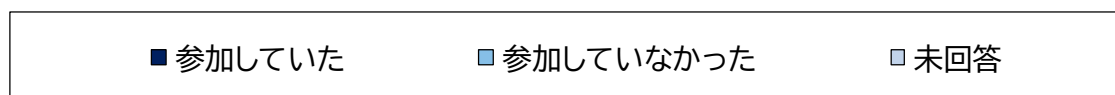
■施策指標

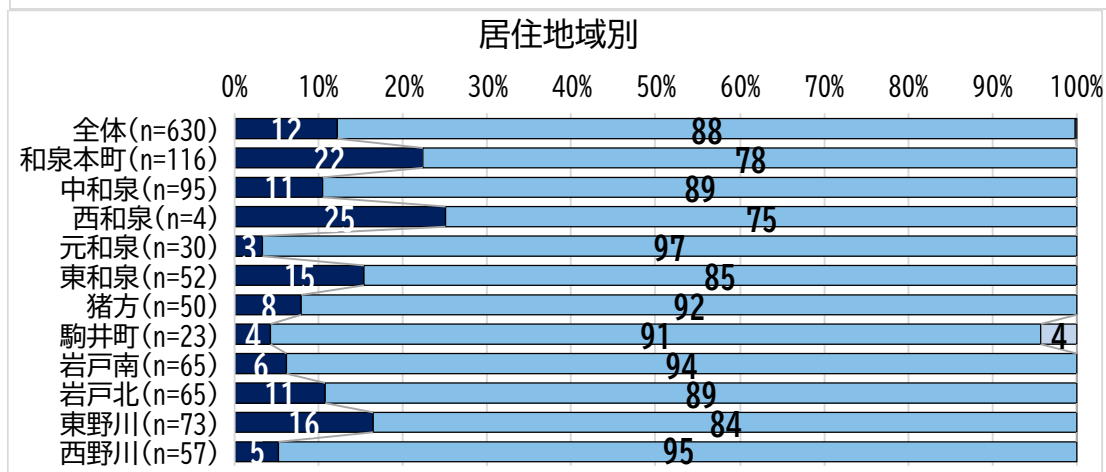
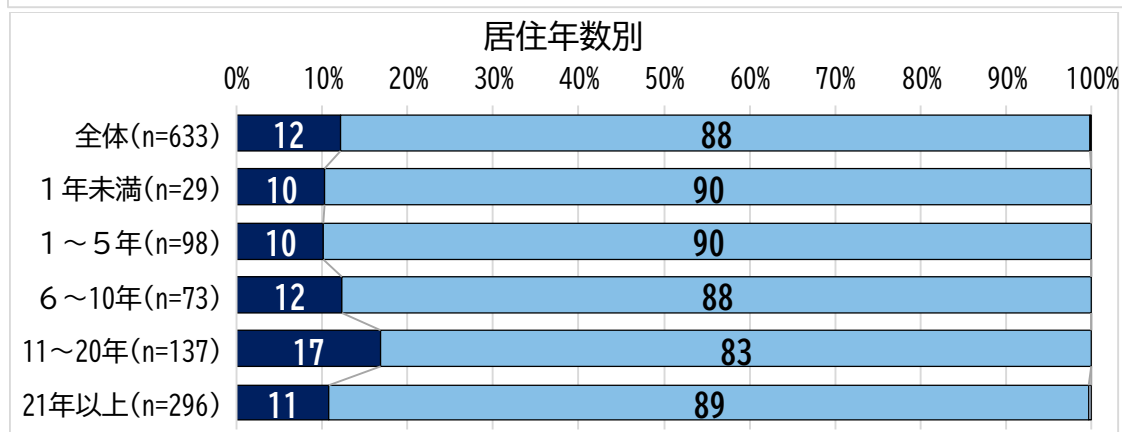
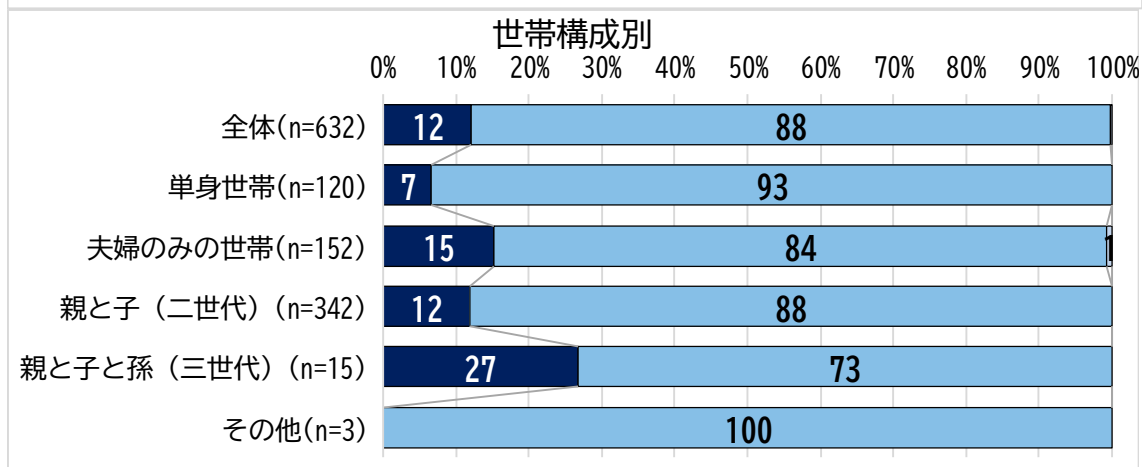
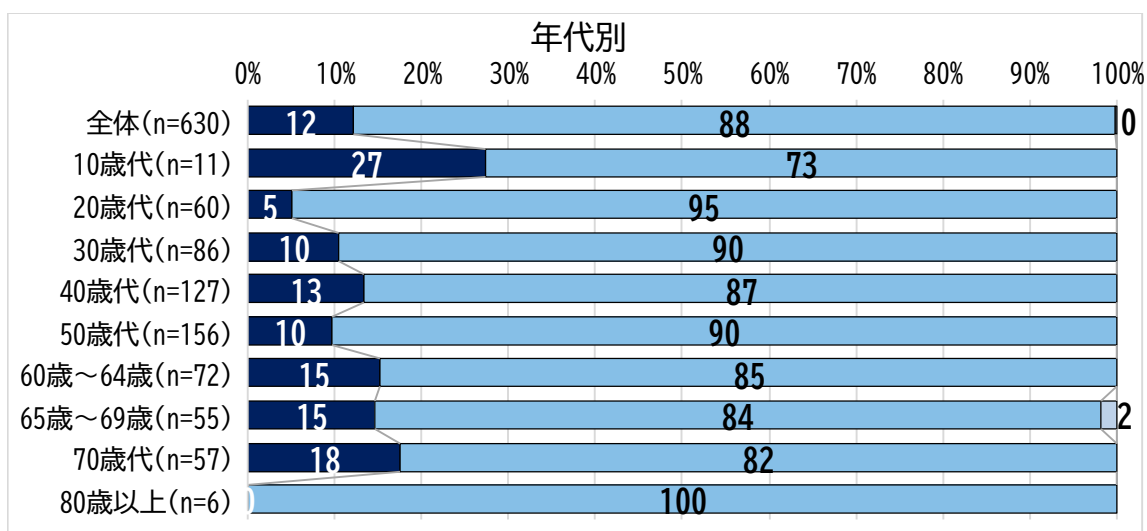
施策	2-①「防災体制の充実」
目指す姿	市民一人ひとりが高い防災意識を持ち、コンパクトである地域特性を活かした防災体制が整っています。また、災害から市民の生命や財産を守ることができる地震や台風等の災害に強い安全なまちになっています。
指標	昨年1年間に防災に関する催しに参加したことがある 市民の割合(%)は、 12.1% (「参加していた」の割合)

■施策指標の推移

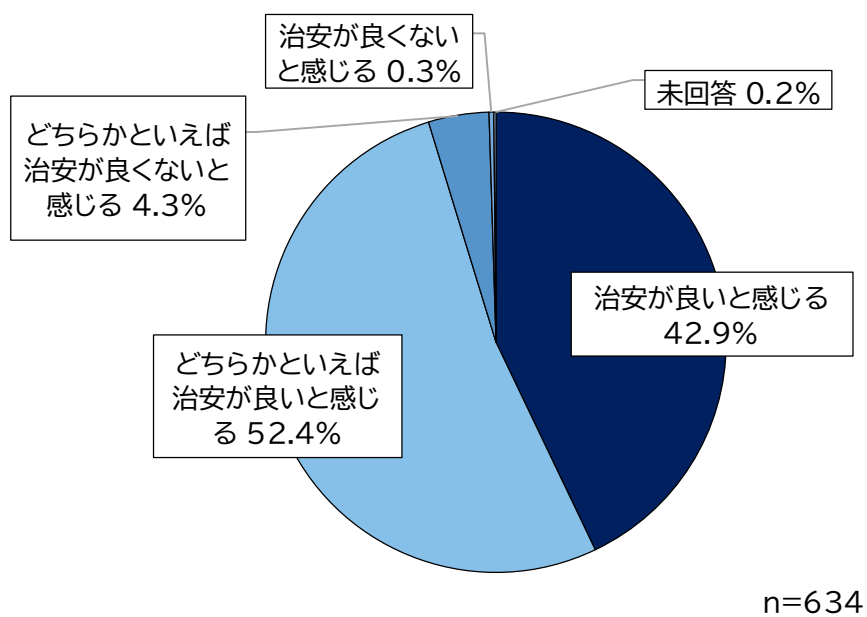


■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)





●問7 あなたは、狛江市が治安の良いまちだと感じますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



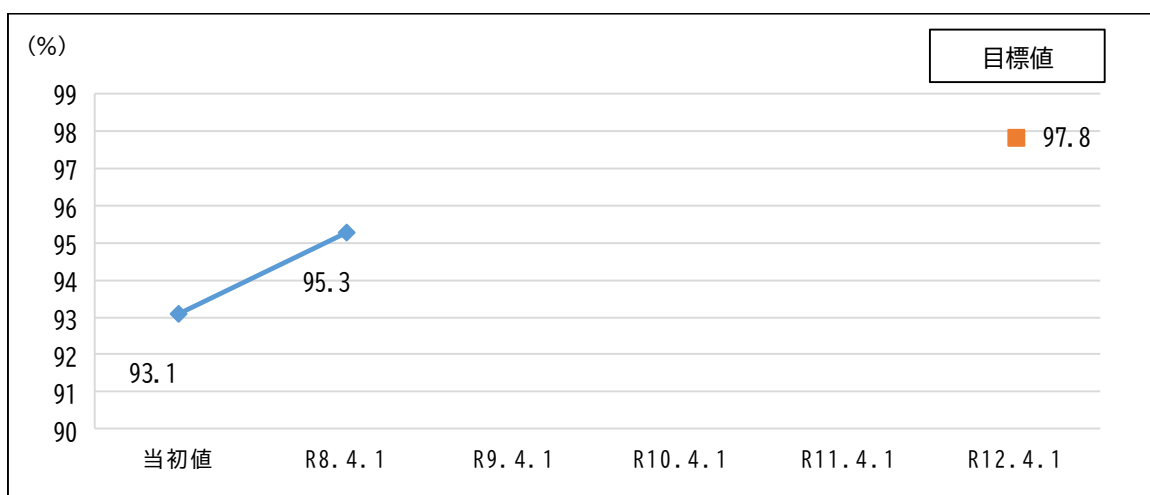
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
治安が良いと感じる	272	42.9%
どちらかといえば治安が良いと感じる	332	52.4%
どちらかといえば治安が良くないと感じる	27	4.3%
治安が良くないと感じる	2	0.3%
未回答	1	0.2%
合計	634	

■施策指標

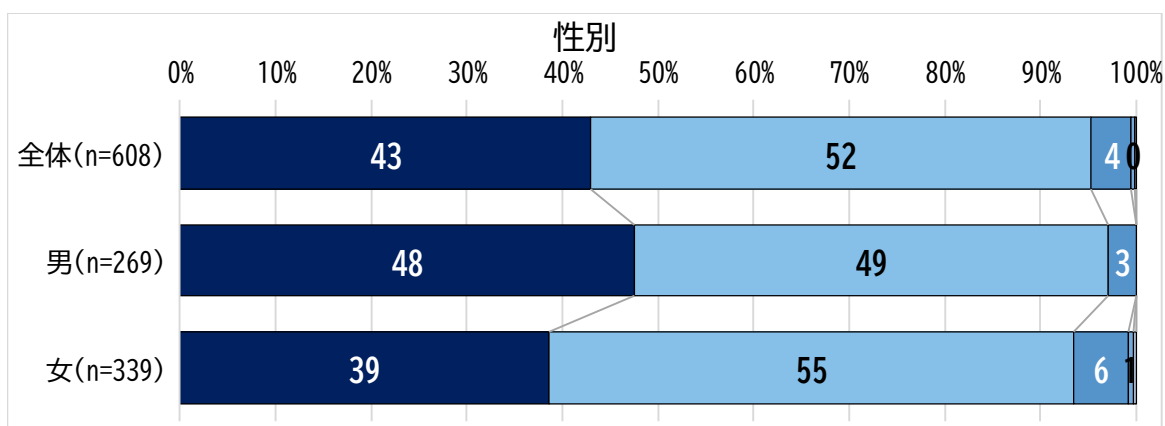
施策	2-②「防犯対策の強化」
目指す姿	市民一人ひとりの防犯意識が高まり、地域と連携した防犯活動により犯罪が未然に防止されていることで、市民が安心して安全な日常を送っています。 交通ルールの遵守や交通マナー向上により交通事故が減り、市民が安全・快適に道路を行き交うことができます。
指標	狛江市が治安の良いまちだと感じる市民の割合(%)は、 95.3% (「治安が良いと感じる」、「どちらかといえば治安が良いと感じる」の回答数の合計の割合)

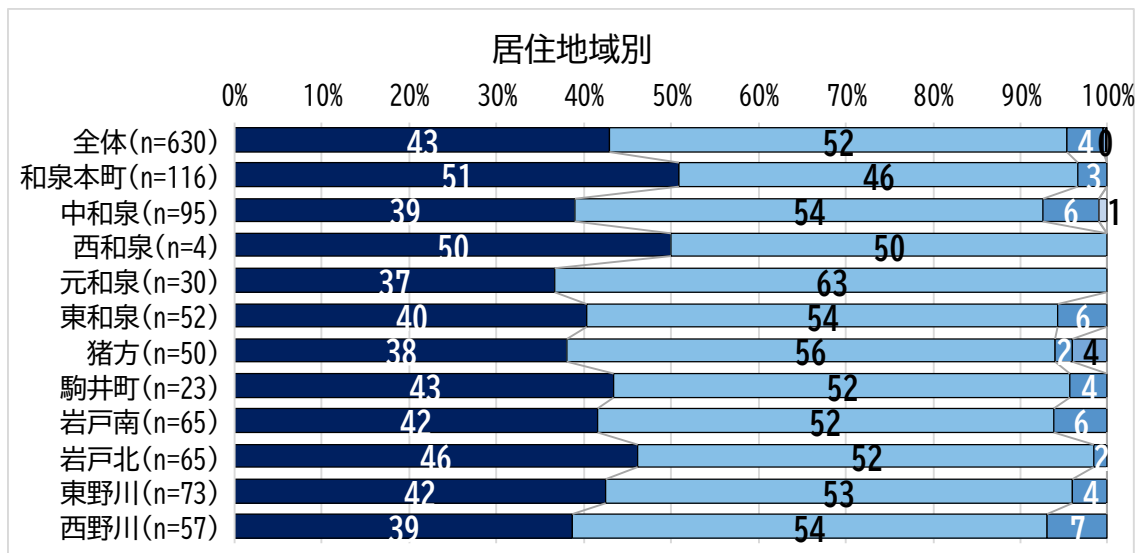
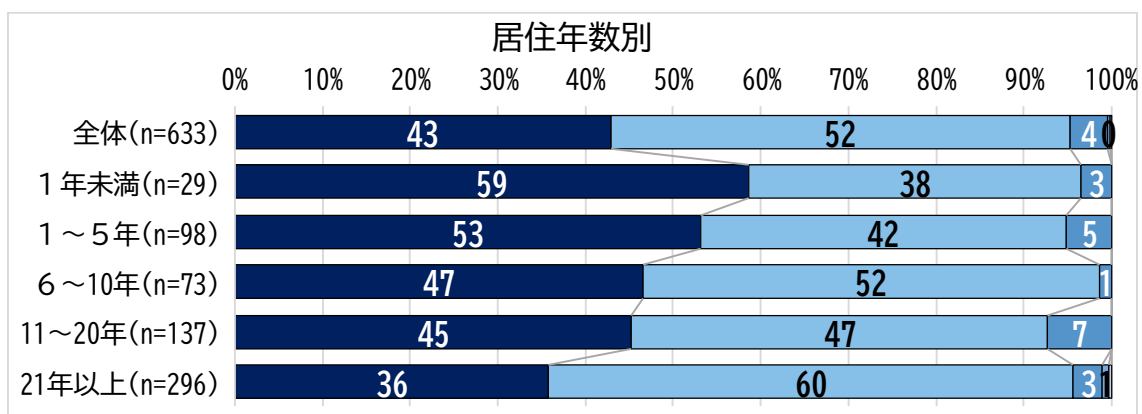
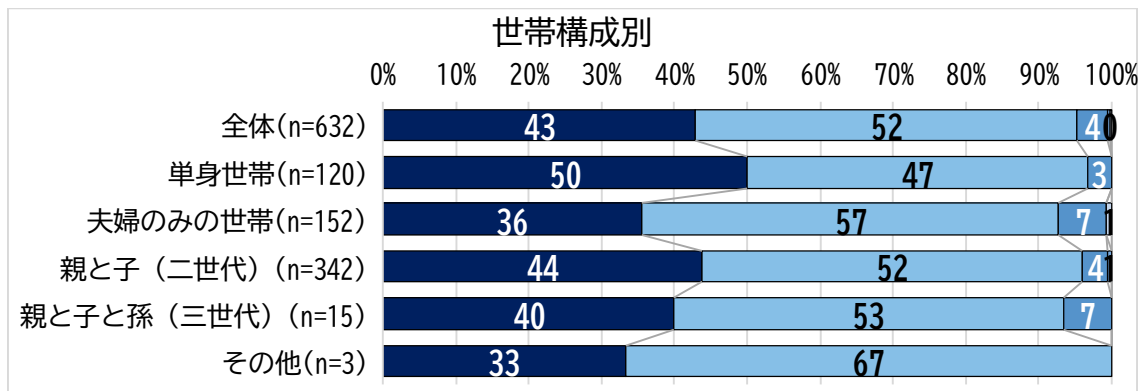
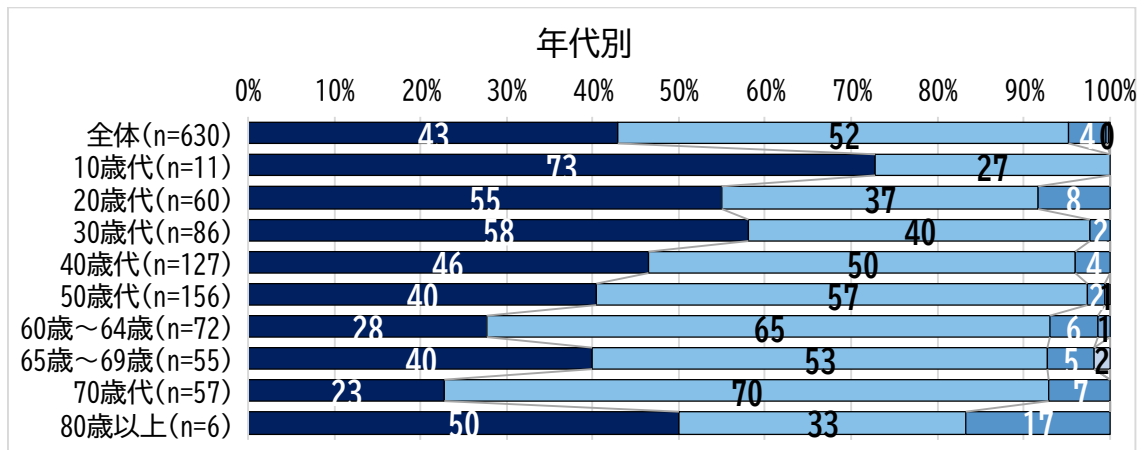
■施策指標の推移



■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

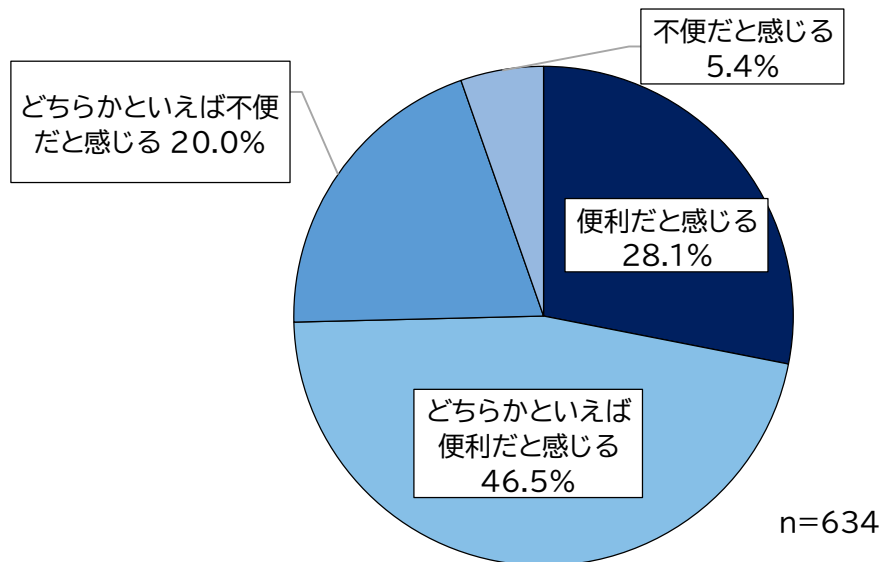
- 治安が良いと感じる
- どちらかといえば治安が良いと感じる
- どちらかといえば治安が良くないと感じる
- 治安が良くないと感じる
- わからない
- 未回答





● 商業・農業について

●問8 あなたは、狛江市内での飲食や買い物が便利だと感じますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



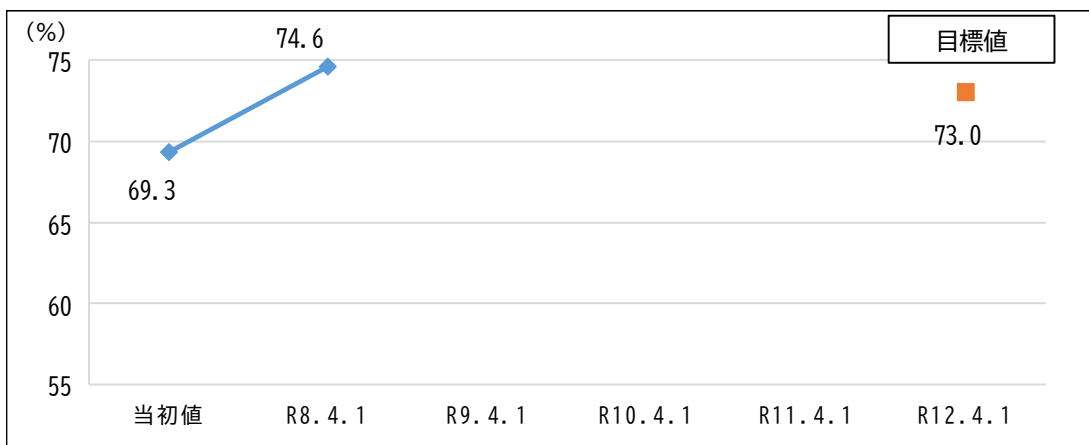
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
便利だと感じる	178	28.1%
どちらかといえば便利だと感じる	295	46.5%
どちらかといえば不便だと感じる	127	20.0%
不便だと感じる	34	5.4%
未回答	0	0.0%
合計	634	

■施策指標

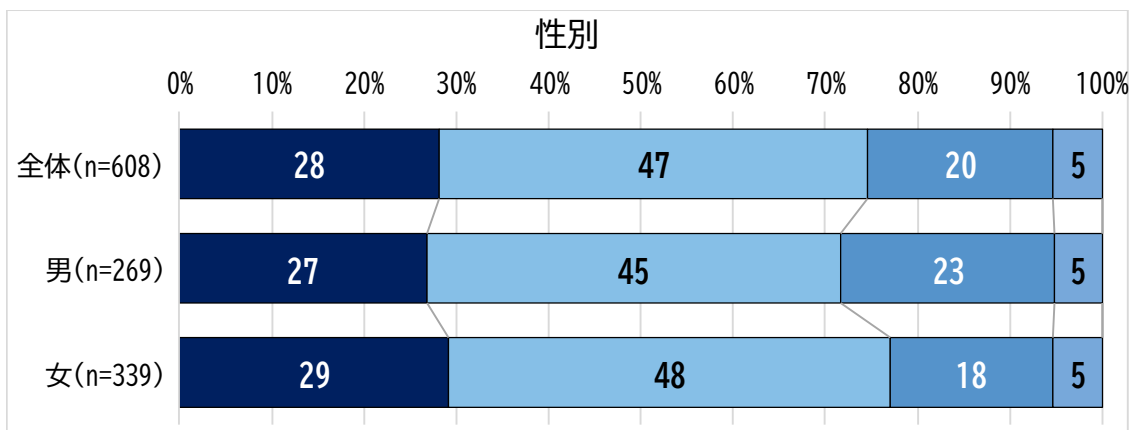
施策	3-③「商工業の振興」
目指す姿	市内の魅力的な商店・商品に関する積極的な情報発信により、消費意識が喚起されることで、市内消費が拡大され、市民の日常生活における利便性や快適性が高まっています。市内店舗の認知や市内消費が拡大することで、地域の中でつながりが生まれ、持続的なまちの成長に向けた好循環ができています。
指標	日頃の飲食や買い物が便利だと感じている市民の割合(%)は、 74.6% (「便利だと感じる」、「どちらかといえば便利だと感じる」の回答数の合計の割合)

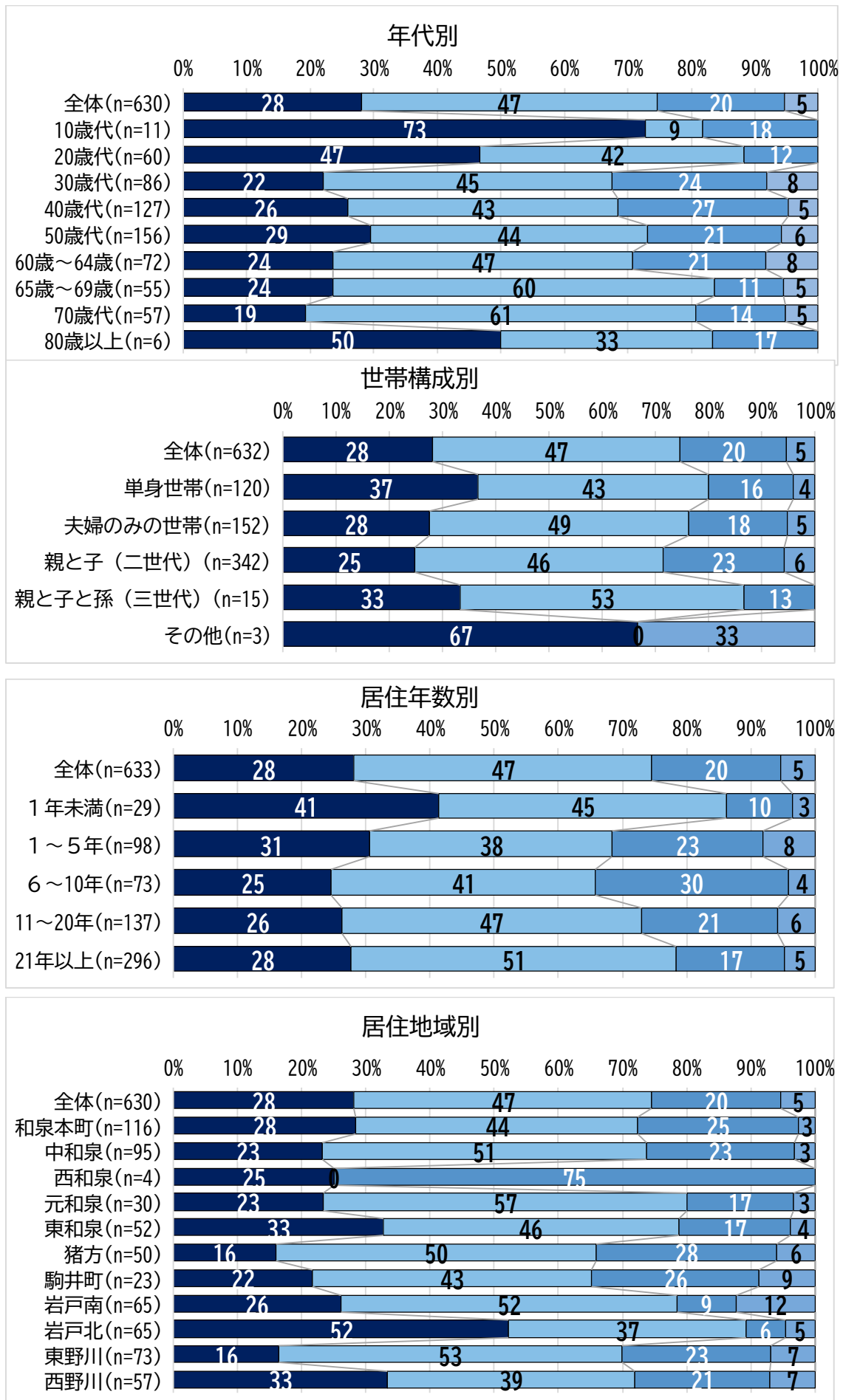
■施策指標の推移



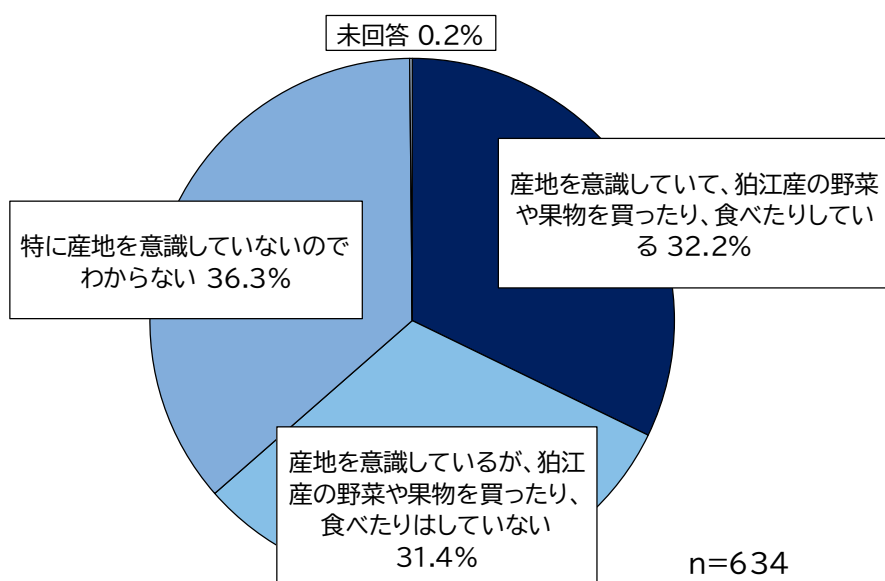
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

■ 便利だと感じる	□ どちらかといえば便利だと感じる
■ どちらかといえば不便だと感じる	■ 不便だと感じる
□ 未回答	





●問9 あなたは、日頃から狛江産の野菜や果物を意識して買ったり、食べたりしていますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



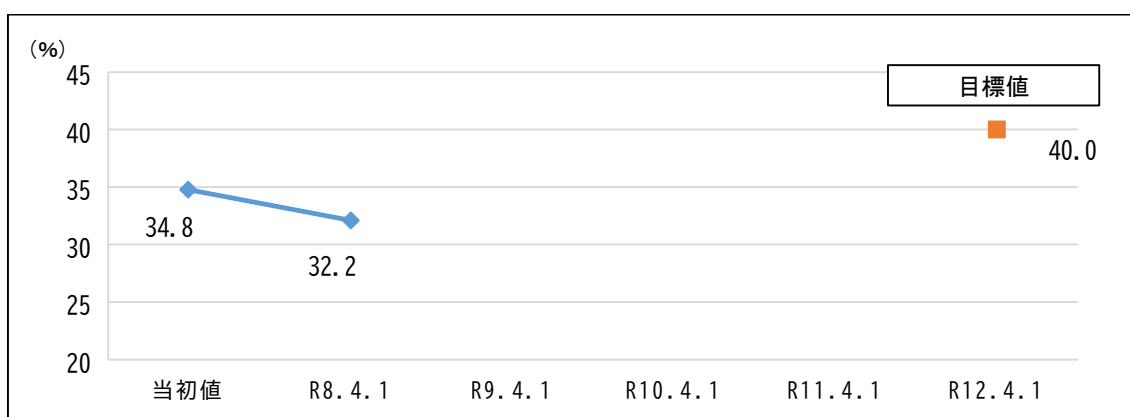
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
産地を意識していて、狛江産の野菜や果物を買ったり、食べたりしている	204	32.2%
産地を意識しているが、狛江産の野菜や果物を買ったり、食べたりはしていない	199	31.4%
特に産地を意識していないのでわからない	230	36.3%
未回答	1	0.2%
合計	634	

■施策指標

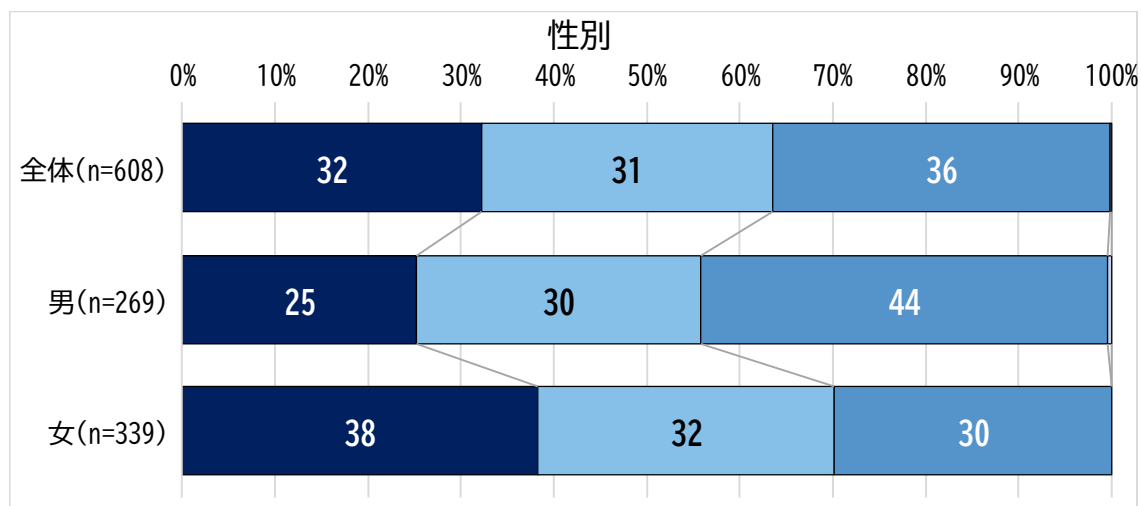
施策	3-④「都市農業の推進」
目指す姿	おいしく安全な狛江ブランド農産物や狛江産農産物が広く伝わり、多くの市民が日常的に選択・消費しています。また、ブランド力の向上による収益の確保や後継者の育成等により、農業経営基盤が安定し、農地が将来にわたり保全されています。
指標	日頃から狛江産野菜を食べている市民の割合(%)は、 32.2% (「産地を意識していて、狛江産の野菜や果物を買ったり、食べたりしている」の割合)

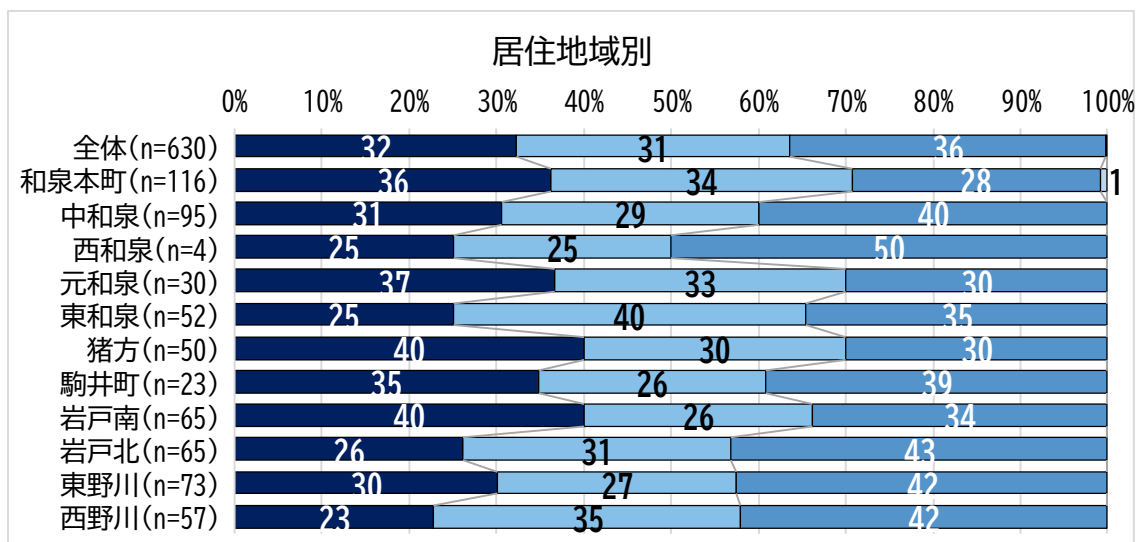
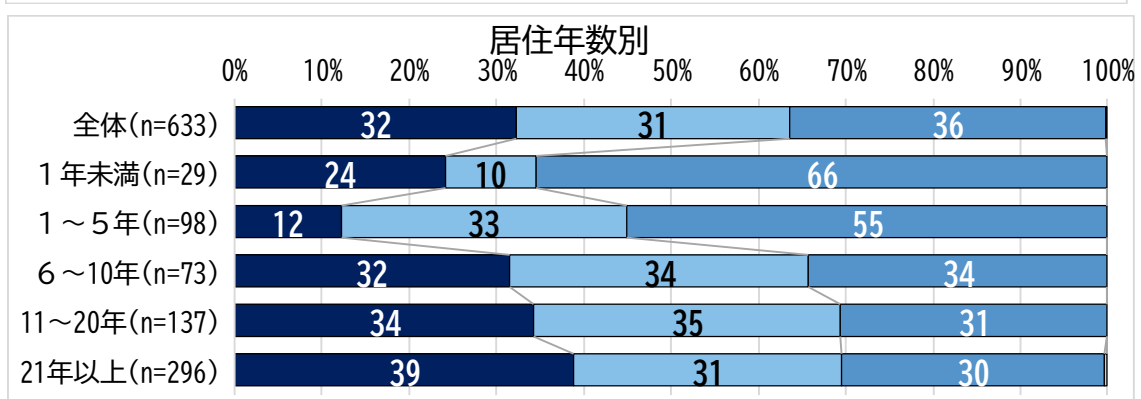
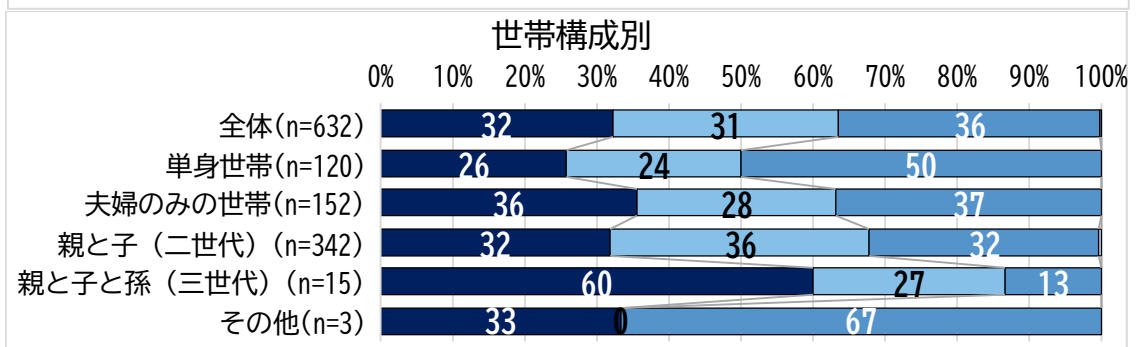
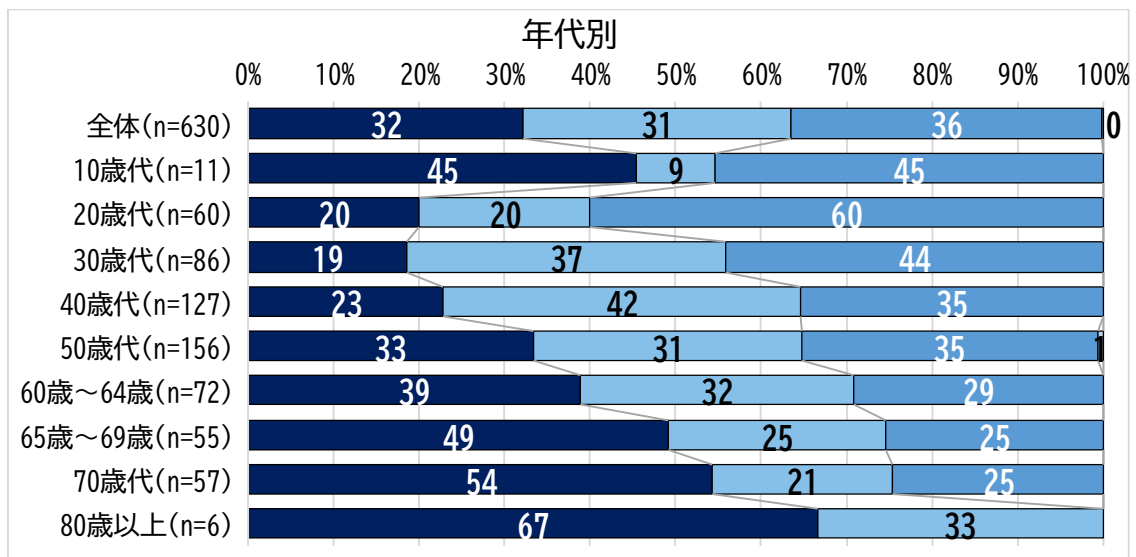
■施策指標の推移



■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

- 産地を意識していて、狛江産の野菜や果物を買ったり、食べたりしている
- 産地を意識しているが、狛江産の野菜や果物を買ったり、食べたりはしていない
- 特に産地を意識していないのでわからない
- 未回答

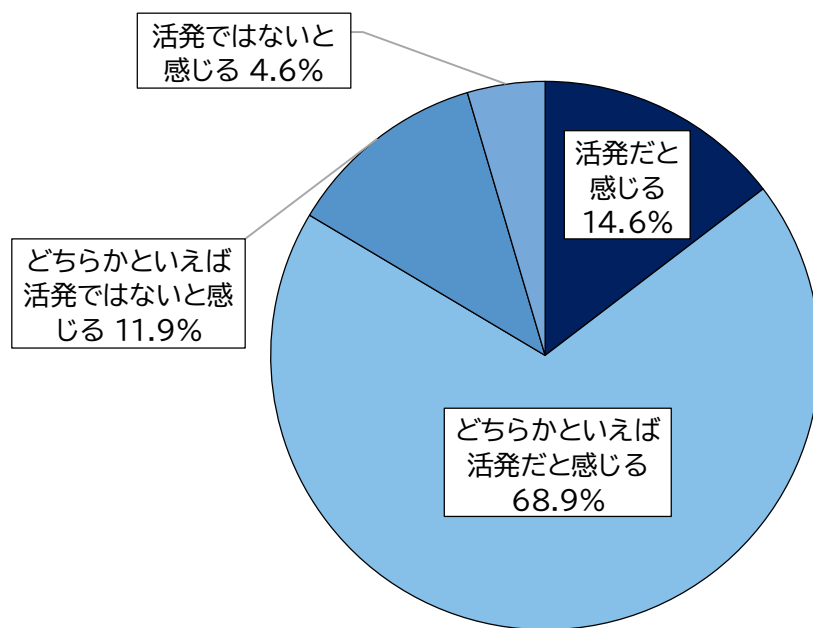




● 子育てについて

※ 18歳未満の子または孫がいる方のみお答えください。

●問10 あなたは、子育てひろばや子育て応援プログラム、プレーパーク、児童センター・児童館等、狛江市内での子育てに関する取組や活動が活発だと感じますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



n=219

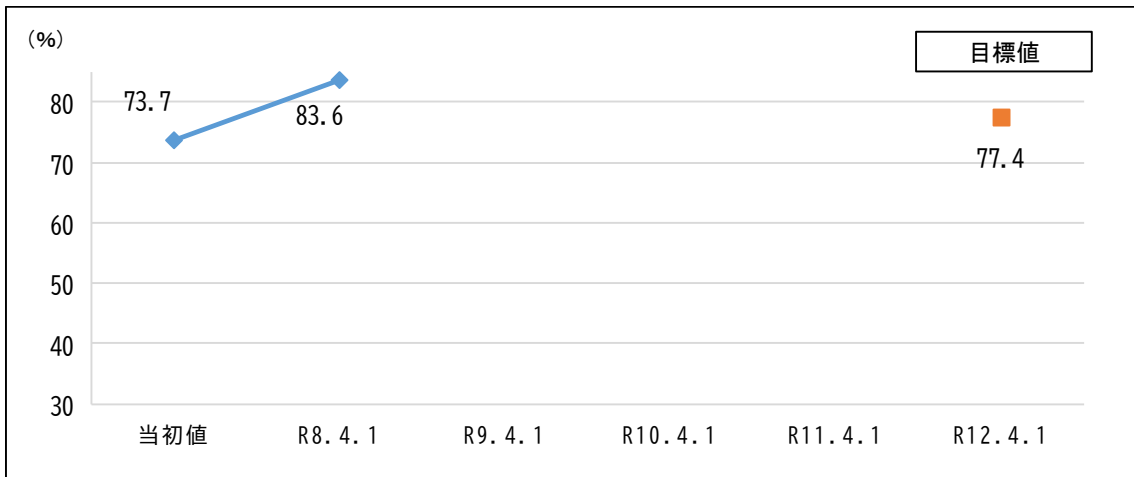
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
活発だと感じる	32	14.6%
どちらかといえば活発だと感じる	151	68.9%
どちらかといえば活発ではないと感じる	26	11.9%
活発ではないと感じる	10	4.6%
合計	219	

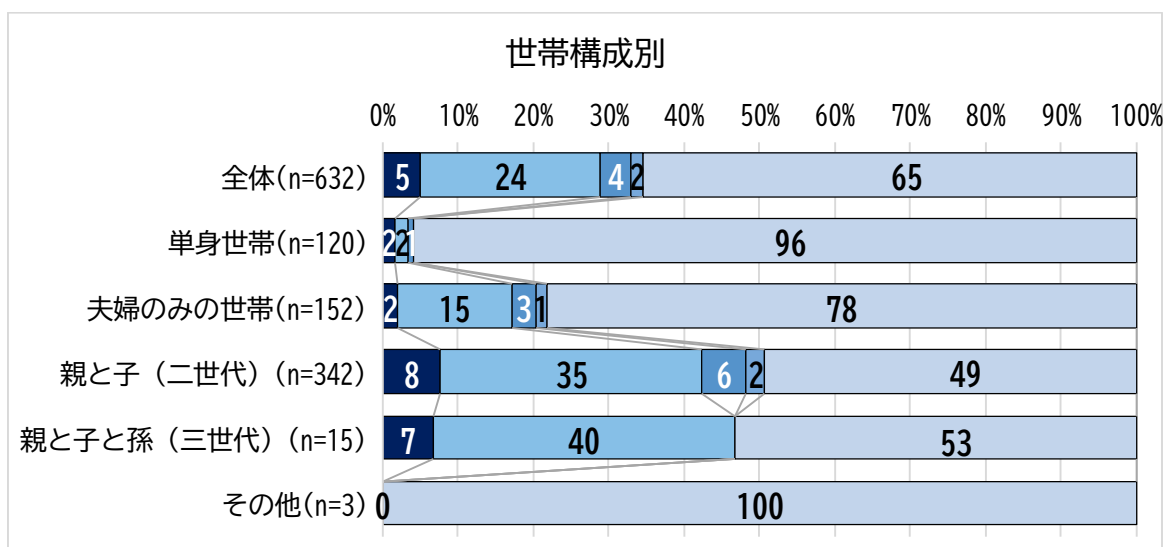
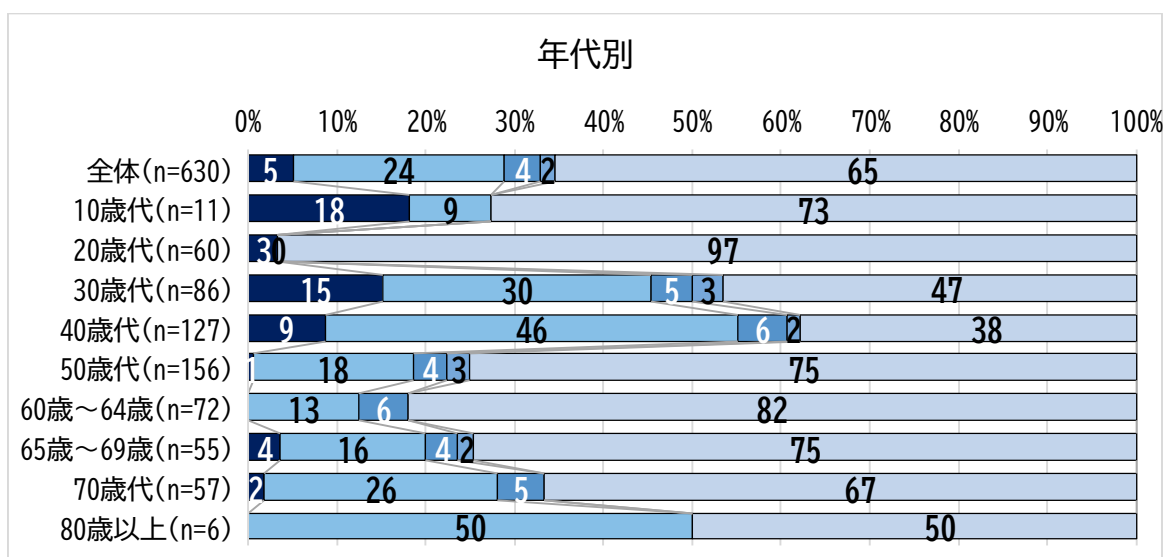
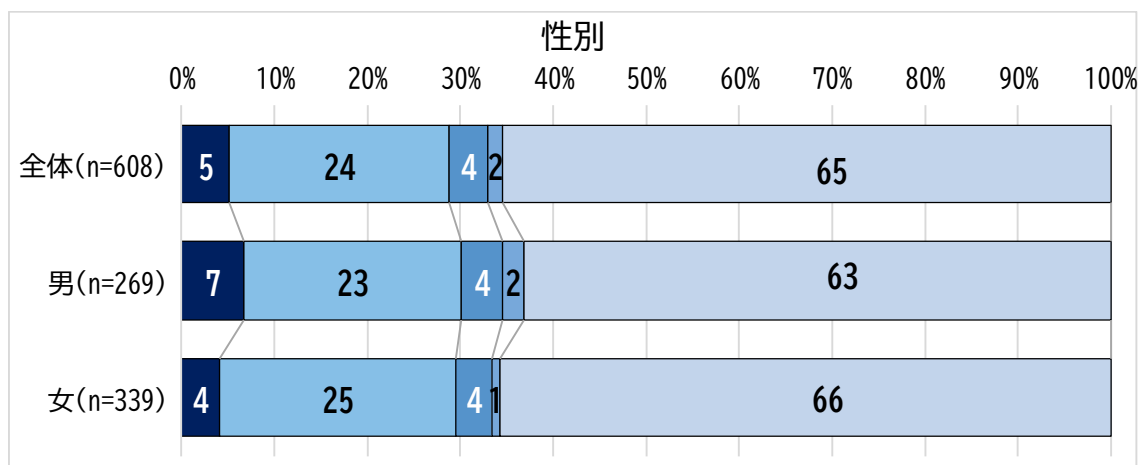
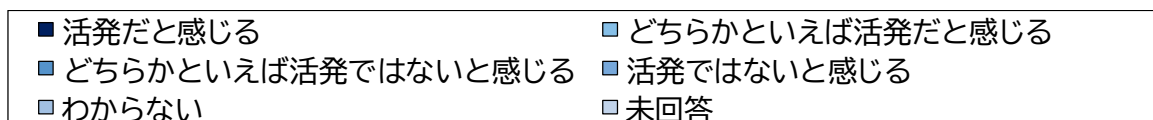
■施策指標

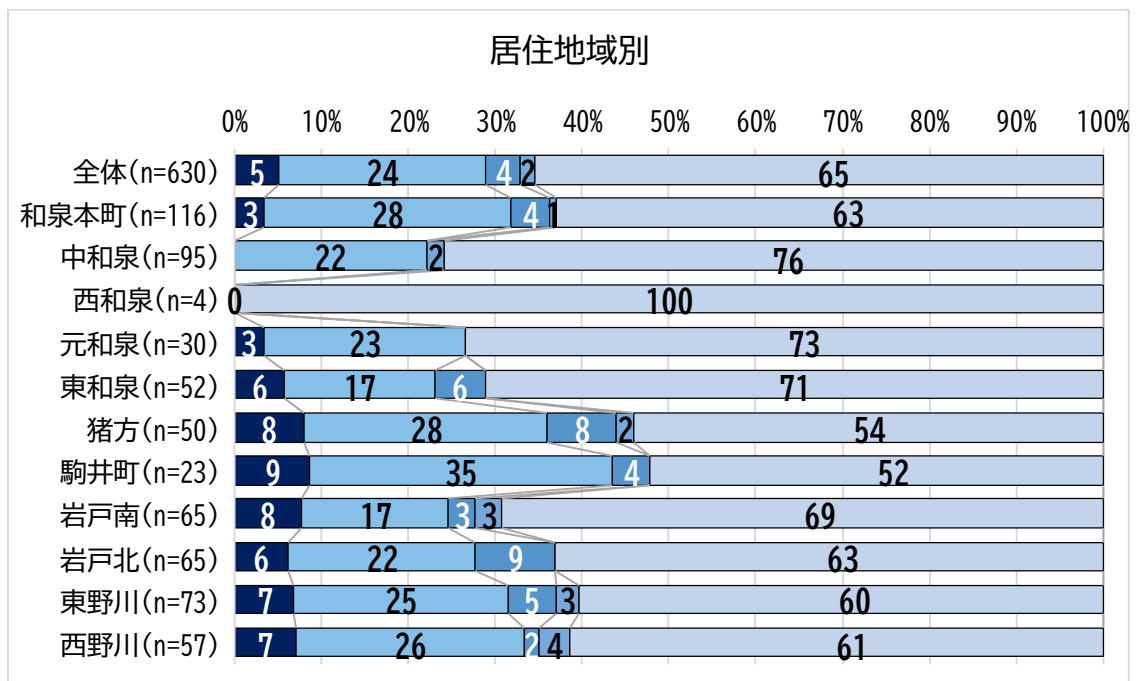
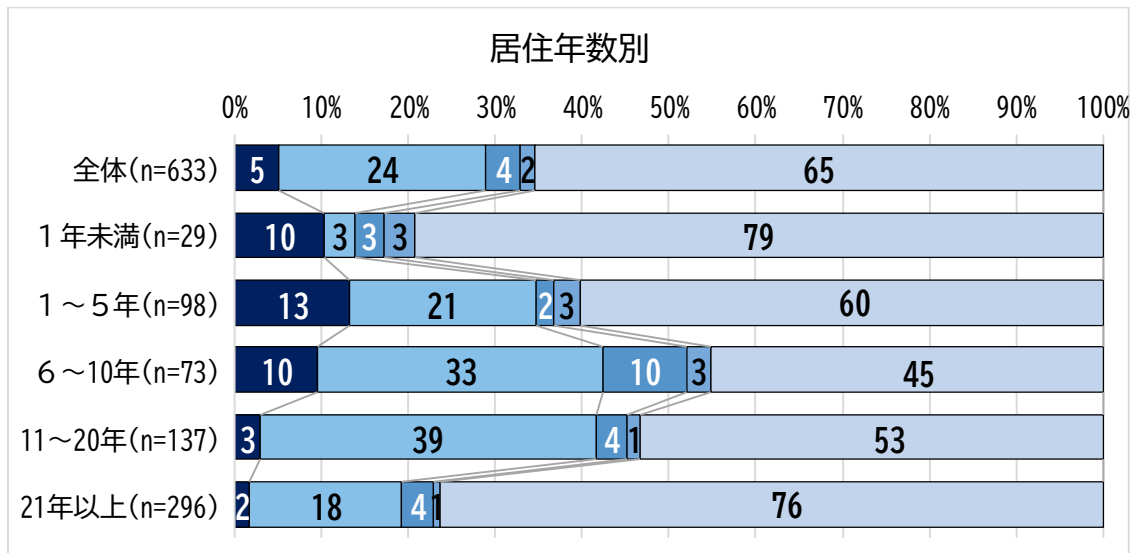
施策	4－①「地域で支える健やかな成長」
目指す姿	地域全体で子どもの成長を支える意識が醸成され、子育て家庭が悩みを抱え込むことなく、子どもが健やかに育っています。
指 標	地域の中で子どもを育てる取組・活動が活発であると 感じている市民の割合(%)は、83.6% (「活発だと感じる」、「どちらかといえば活発だと感じる」の回答数の合計の割合) (対象者を市内に18歳未満の子または孫がいる方に設定)

■施策指標の推移



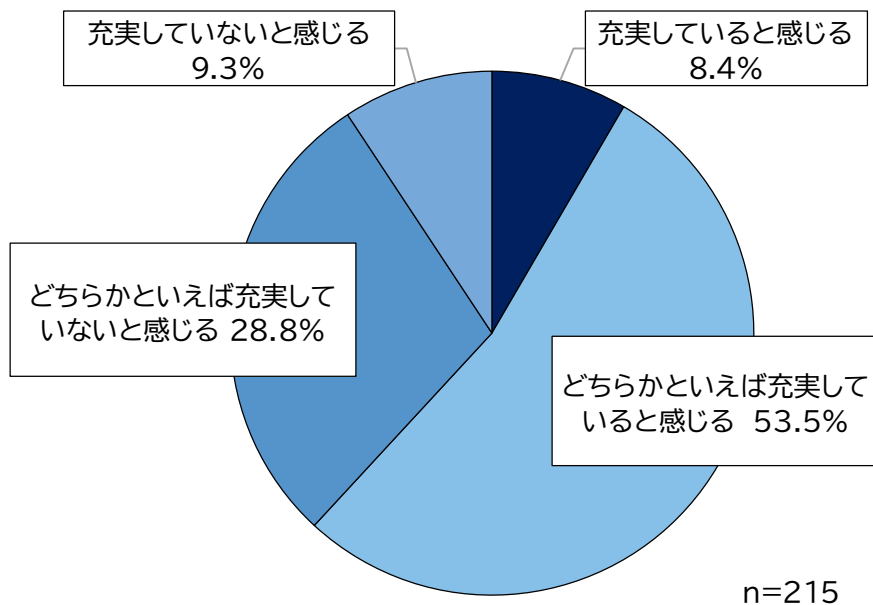
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)





※ 18歳未満の子または孫がいる方のみお答えください。

●問 11 あなたは、学校や家以外で、地域において、子どもの居場所が充実していると感じますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



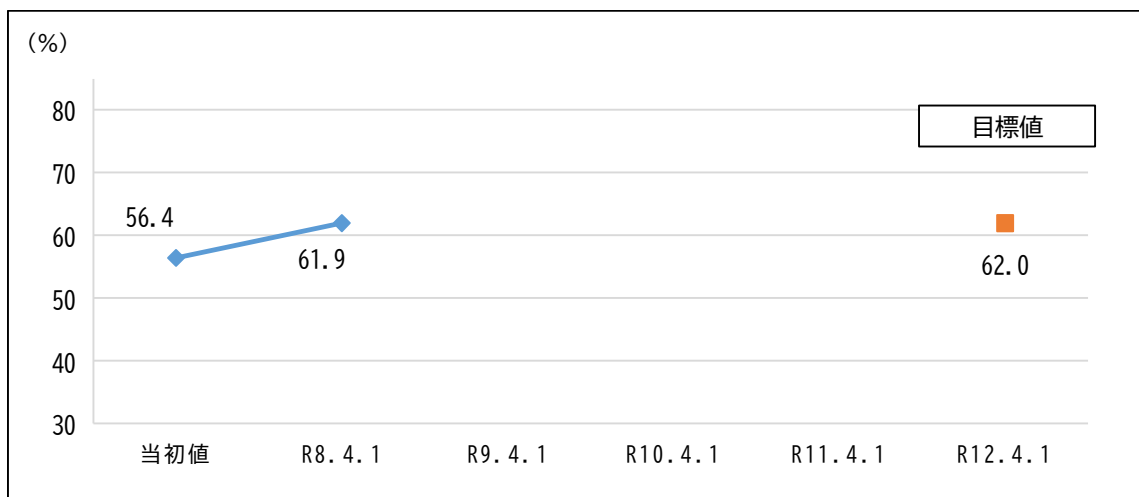
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
充実にしていると感じる	18	8.4%
どちらかといえば充実にしていると感じる	115	53.5%
どちらかといえば充実にしていないと感じる	62	28.8%
充実にしていないと感じる	20	9.3%
合計	215	

■施策指標

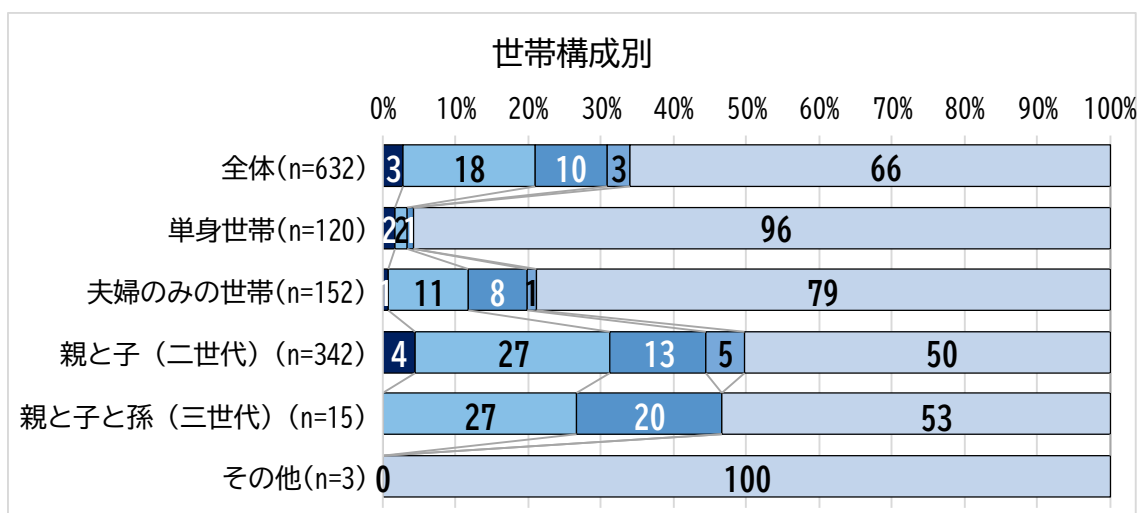
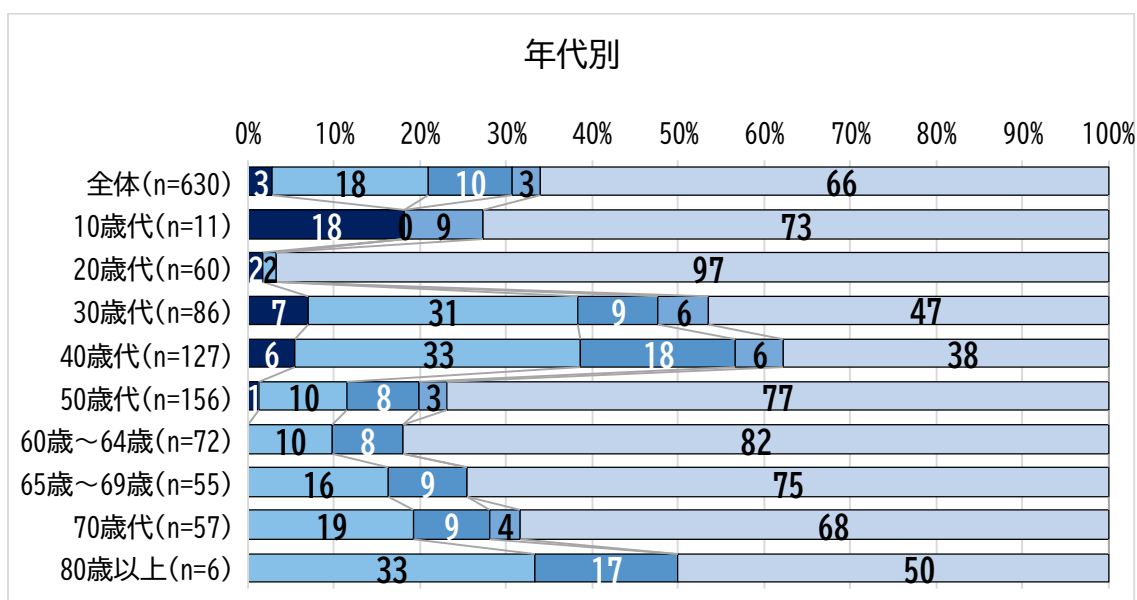
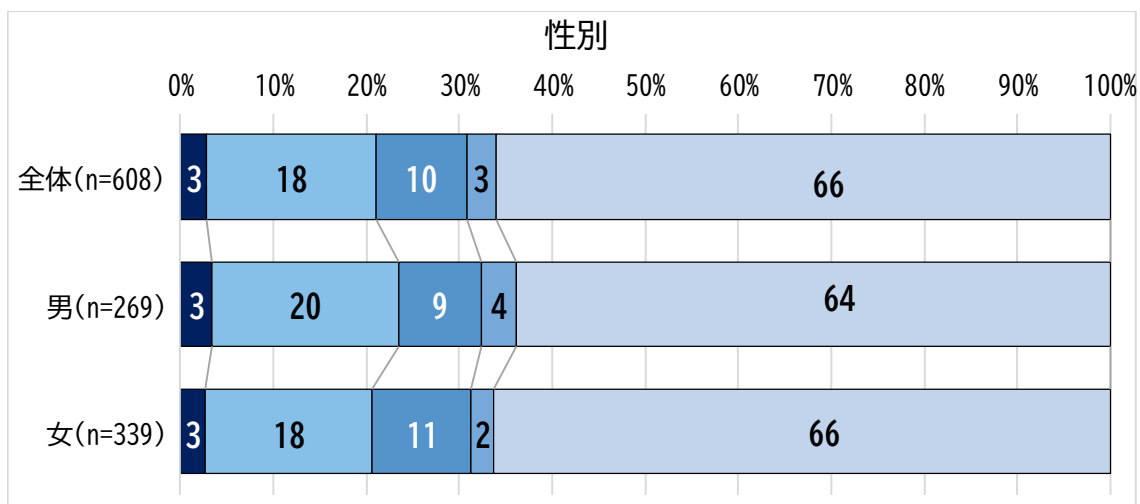
施策	4－③「子ども・若者の居場所づくりと多面的な支援」
目指す姿	子ども・若者の居場所が確保されるとともに、様々な困難を抱える場合においても気軽に交流、相談できる環境が整い、安心して過ごしています。
指標	地域における子どもの居場所が充実していると 感じている市民の割合(%)は、61.9% (「充実していると感じる」、「どちらかといえば充実していると感じる」の回答数の合計の割合) (対象者を市内に18歳未満の子又は孫がいる方に設定)

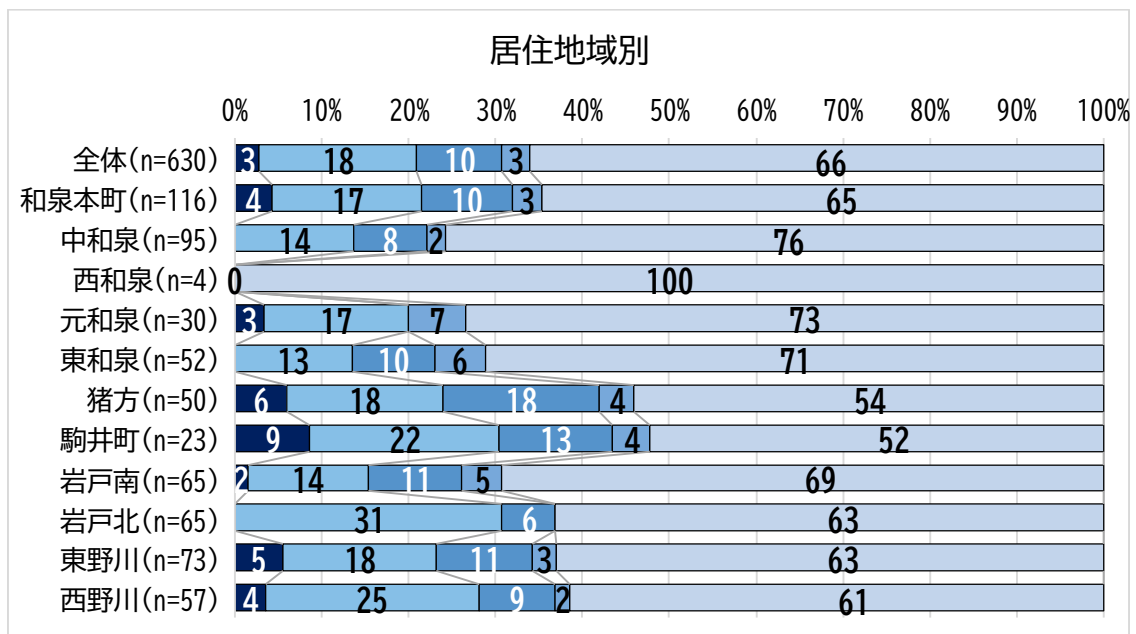
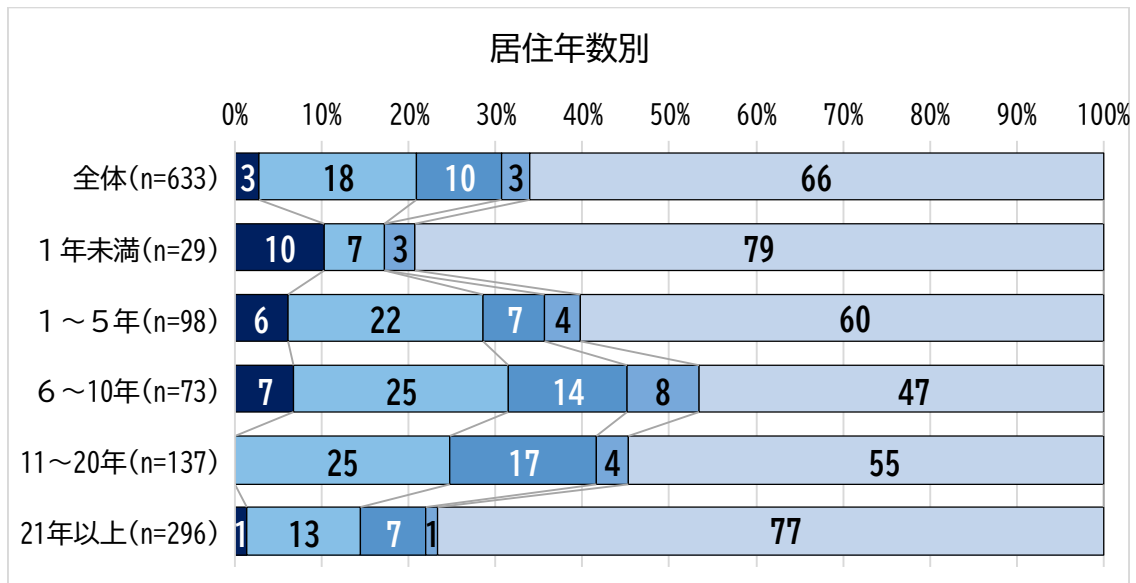
■施策指標の推移



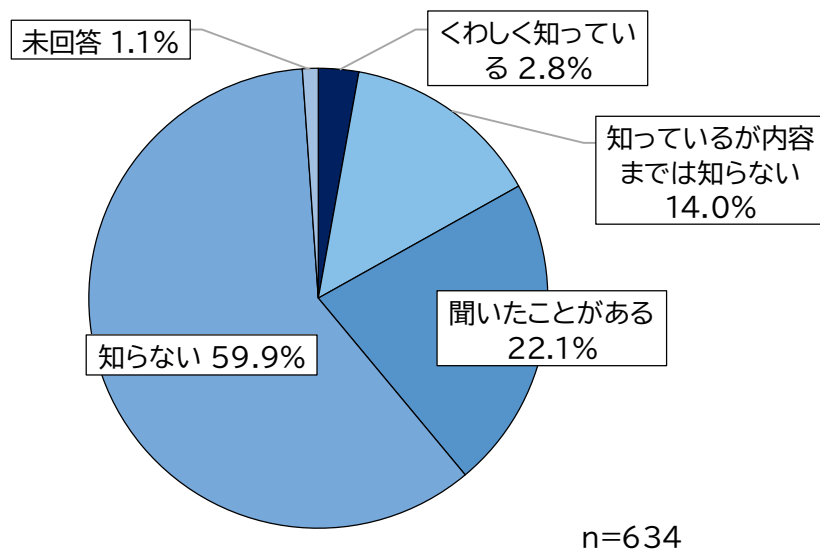
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

- 充実していると感じる
■ どちらかといえば充実していると感じる
■ どちらかといえば充実していないと感じる
■ 充実していないと感じる
■ わからない
■ 未回答





●問 12 狛江市では、狛江市子どもの権利条例を令和8年4月1日に施行しました。
あなたは、狛江市子どもの権利条例について知っていますか？
(番号を1つ選んで○を付けてください。)

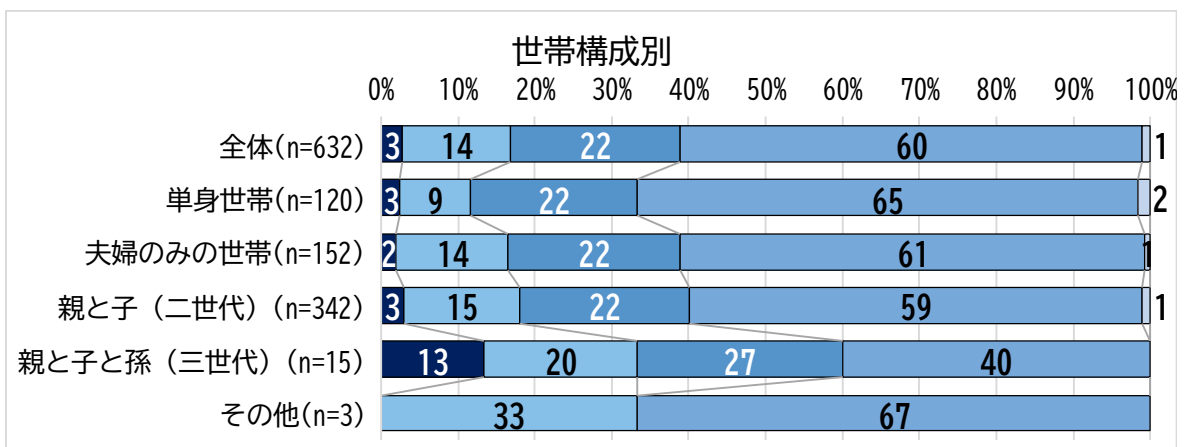
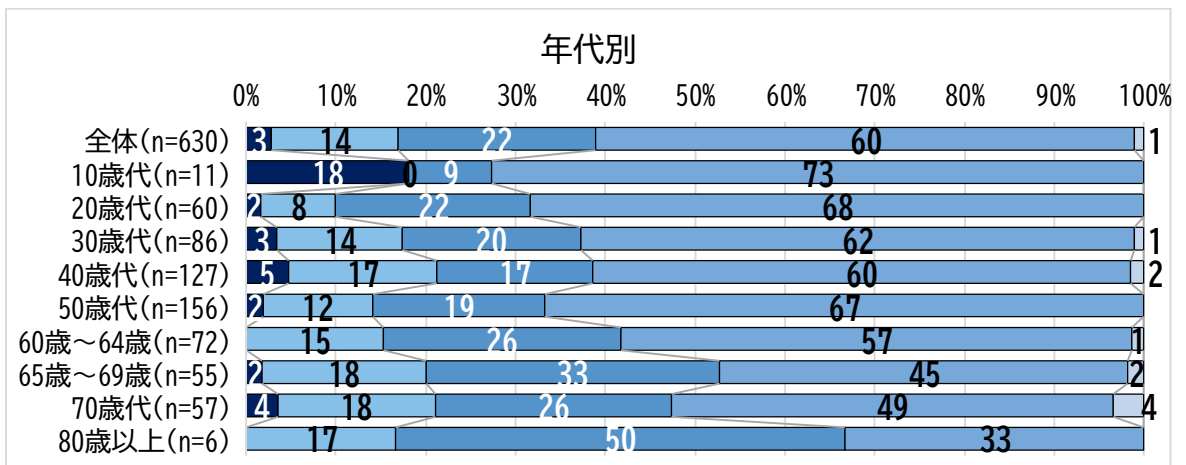
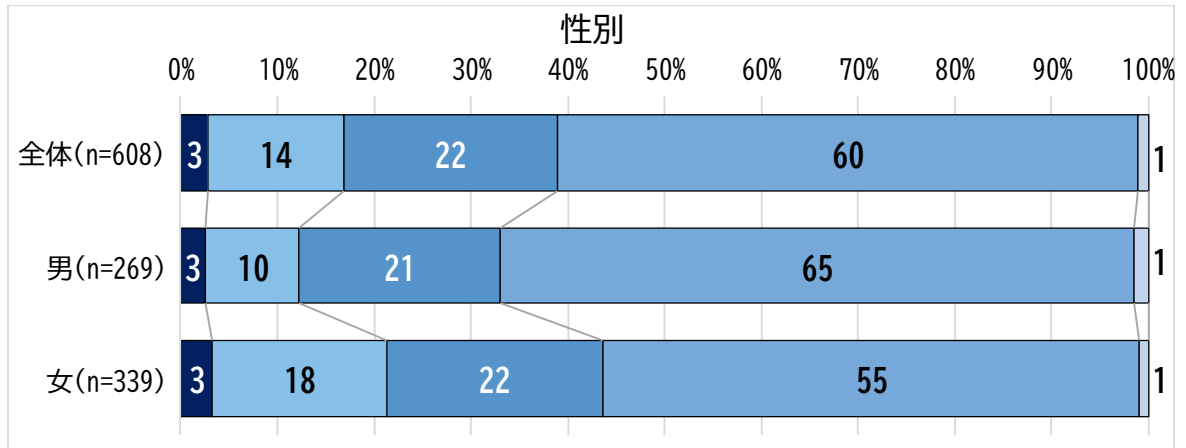


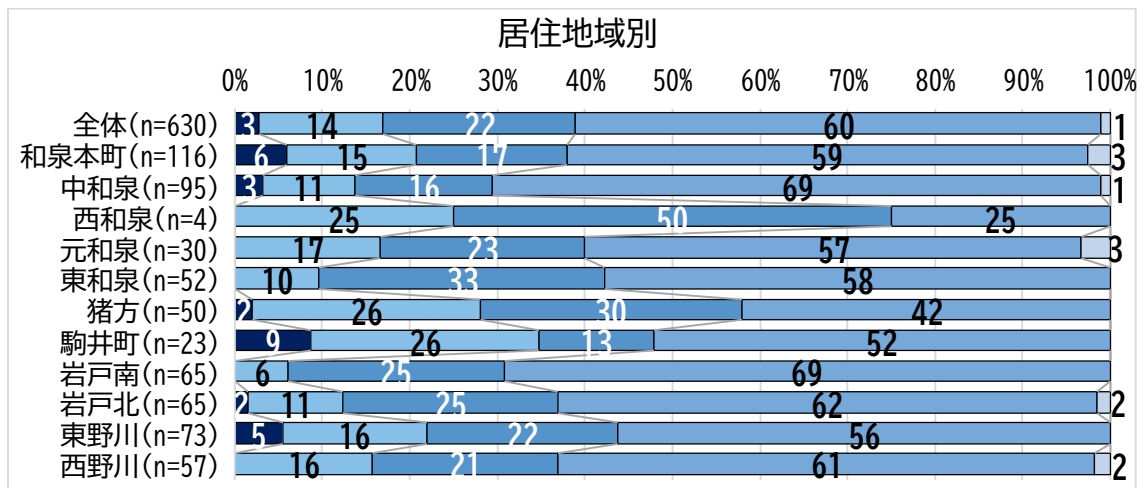
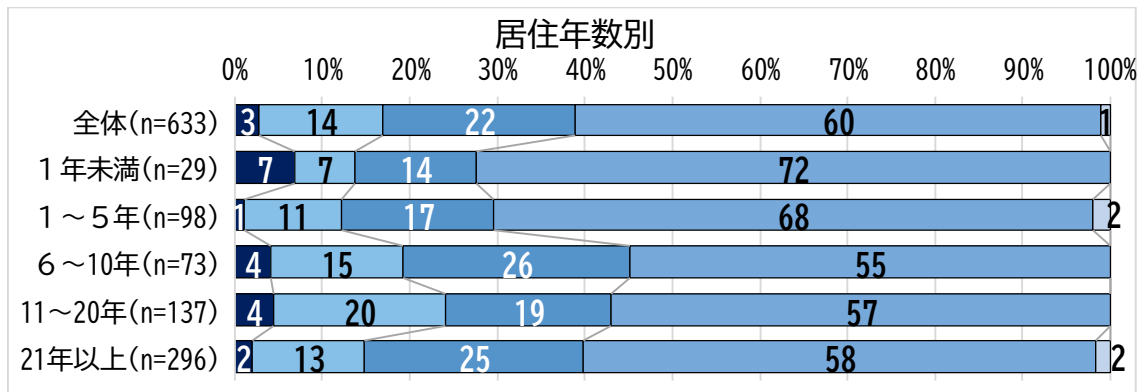
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
くわしく知っている	18	2.8%
知っているが内容までは知らない	89	14.0%
聞いたことがある	140	22.1%
知らない	380	59.9%
未回答	7	1.1%
合計	634	

■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

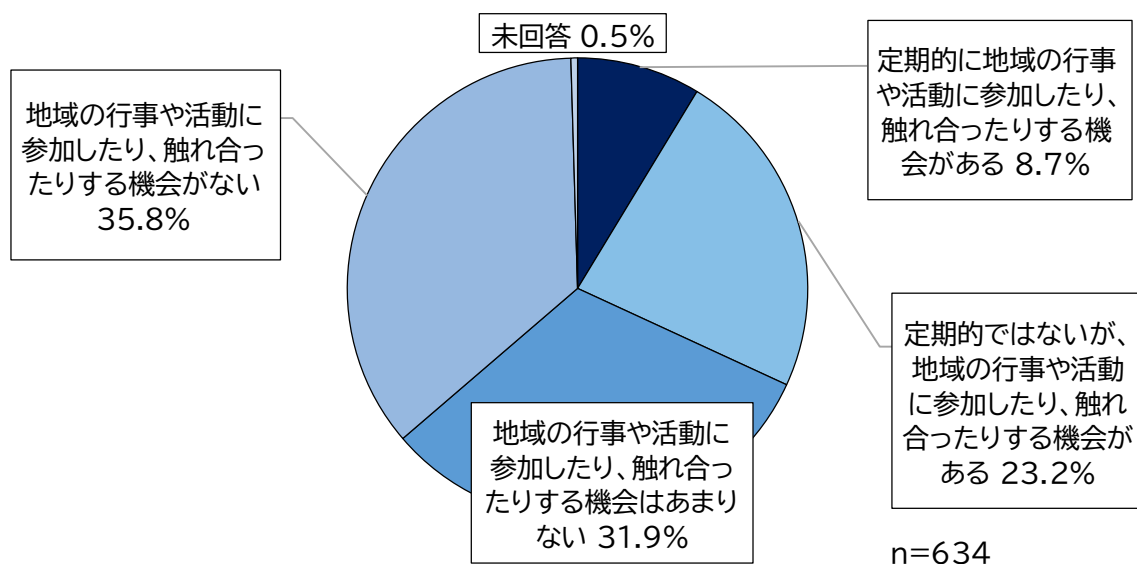
- くわしく知っている
- 知っているが内容までは知らない
- 聞いたことがある
- 知らない
- 未回答





● 地域活動、健康づくりについて

●問 13 あなたには、日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人と触れ合ったりする機会がありますか。(全年齢対象)
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



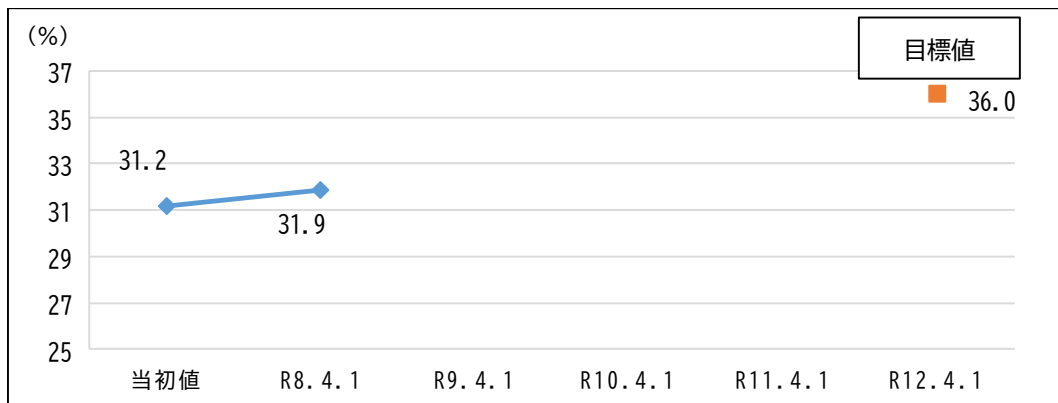
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
定期的に参加したり、触れ合ったりする機会がある	55	8.7%
定期的ではないが、地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がある	147	23.2%
地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会はまだ少ない	202	31.9%
地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がない	227	35.8%
未回答	3	0.5%
合計	634	

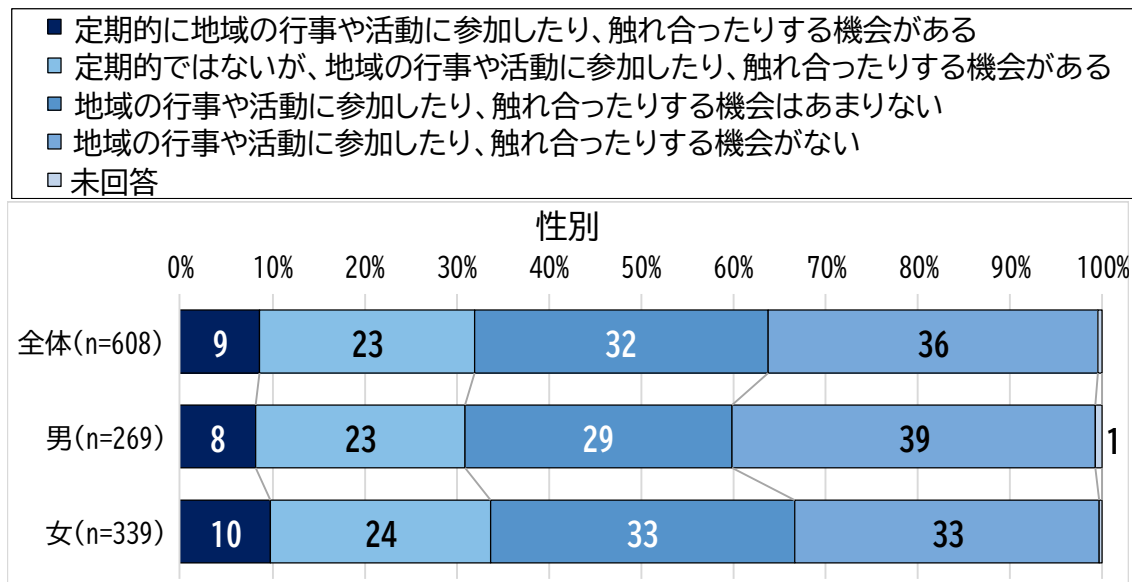
■施策指標

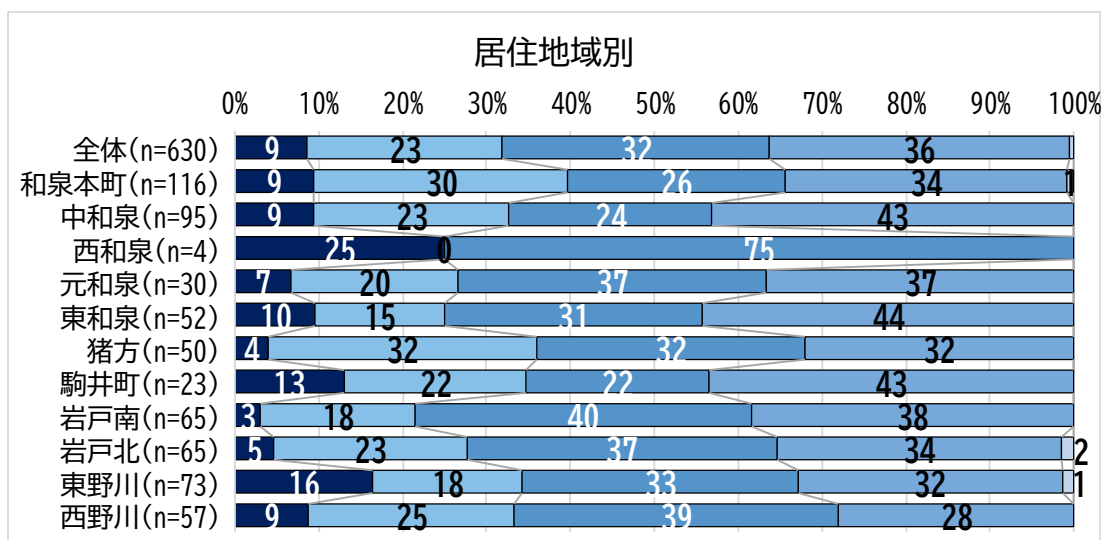
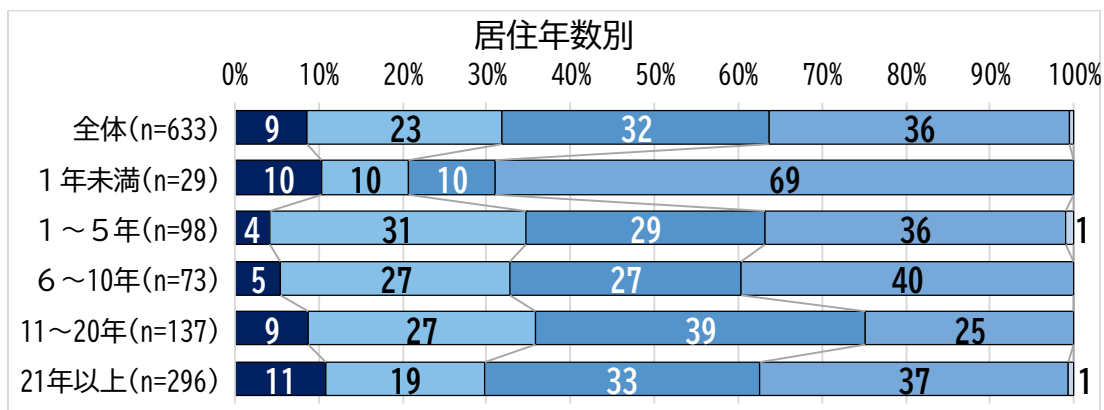
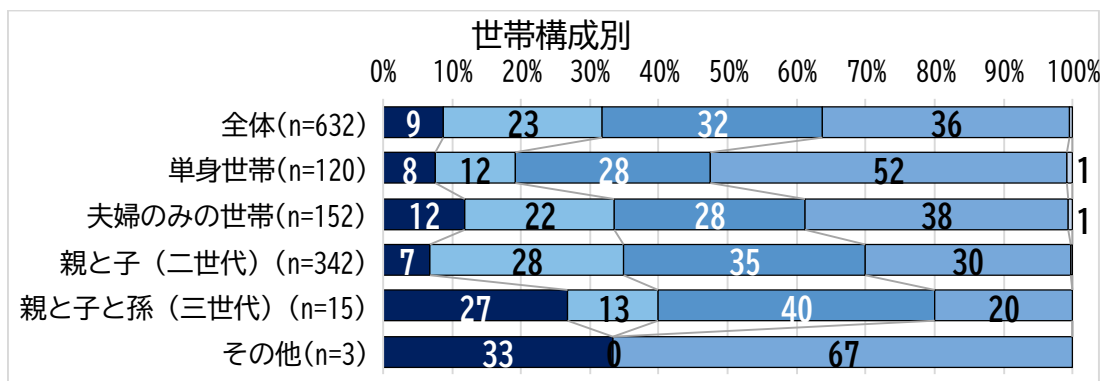
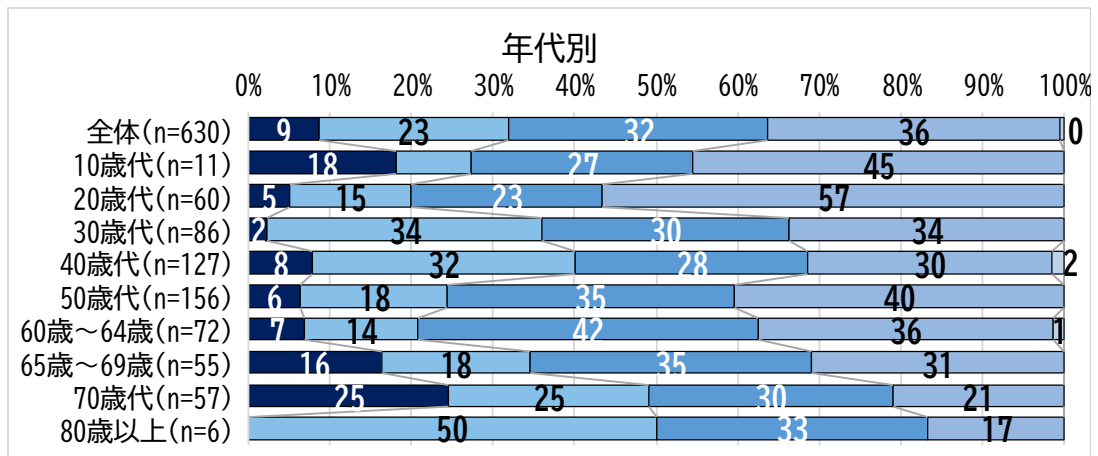
施策	5-①「地域共生社会づくりの推進」
目指す姿	全ての市民が、生涯にわたり個人として人間性が尊重され、生きがいをもって、共に生きる豊かな地域共生社会が構築されています。
指標	地域活動に参加している市民の割合(%)は、31.9% (「定期的に地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がある」、「定期的ではないが、地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がある」の回答数の合計の割合)

■施策指標の推移

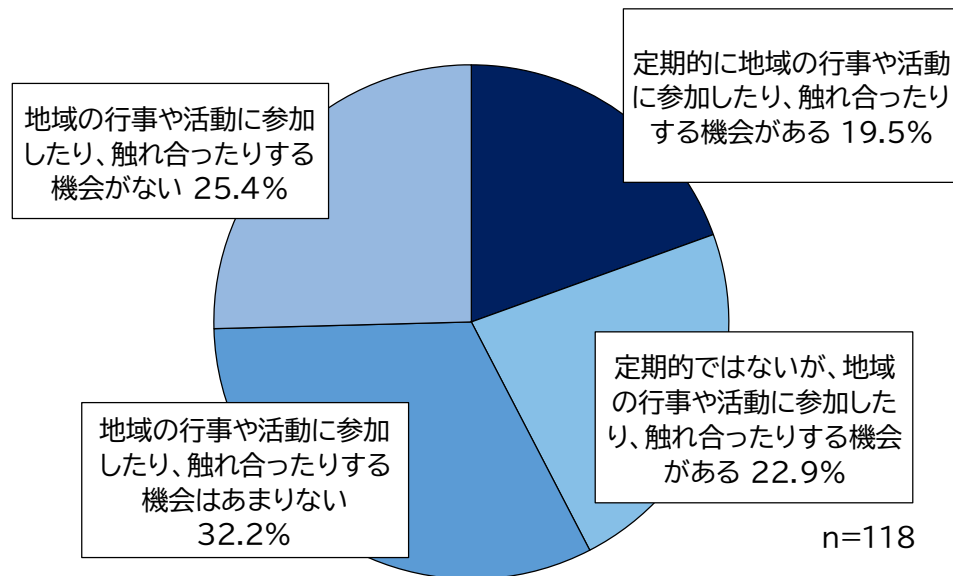


■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)





●問 13 あなたには、日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人と触れ合ったりする機会がありますか。(65 歳以上の方対象)
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



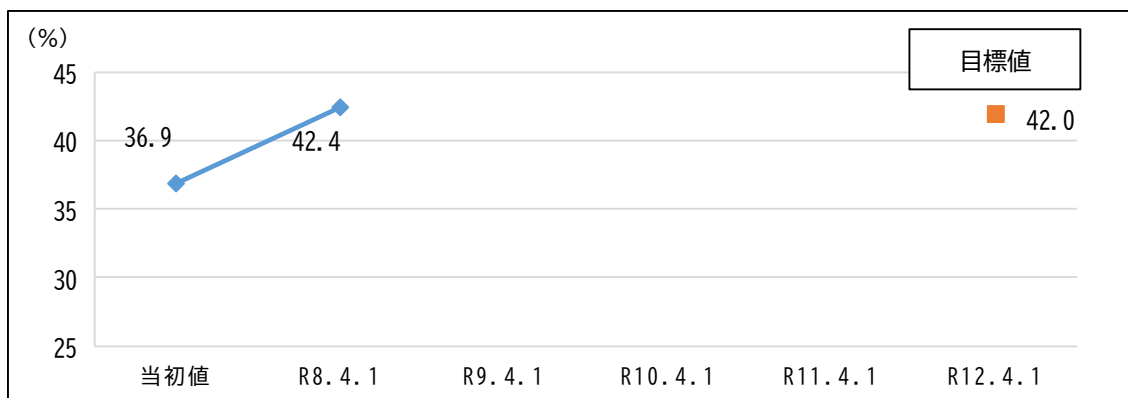
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
定期的に参加したり、触れ合ったりする機会がある	23	19.5%
定期的ではないが、地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がある	27	22.9%
地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会はない	38	32.2%
定期的に参加したり、触れ合ったりする機会があまりない	30	25.4%
未回答	0	0.0%
合計	118	

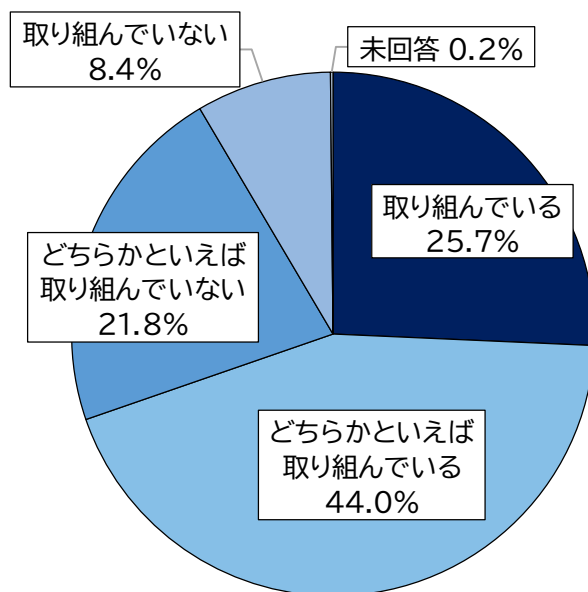
■施策指標

施策	5-③「高齢者への支援」
目指す姿	お互いを認め支え合い、高齢者一人ひとりが自分らしい生活を送ることができています。
指 標	地域活動に参加している高齢者の割合(%)は、42.4% (「定期的に地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がある」、「定期的ではないが、地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がある」の回答数の合計の割合(65歳以上))

■施策指標の推移



●問 14 あなたは、日頃から健康づくりに取り組んでいますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



n=634

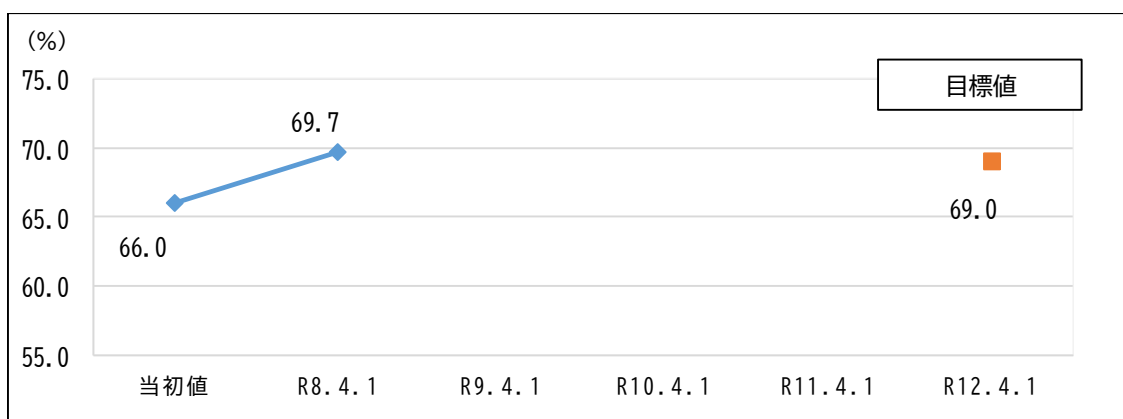
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
取り組んでいる	163	25.7%
どちらかといえば取り組んでいる	279	44.0%
どちらかといえば取り組んでいない	138	21.8%
取り組んでいない	53	8.4%
未回答	1	0.2%
合計	634	

■施策指標

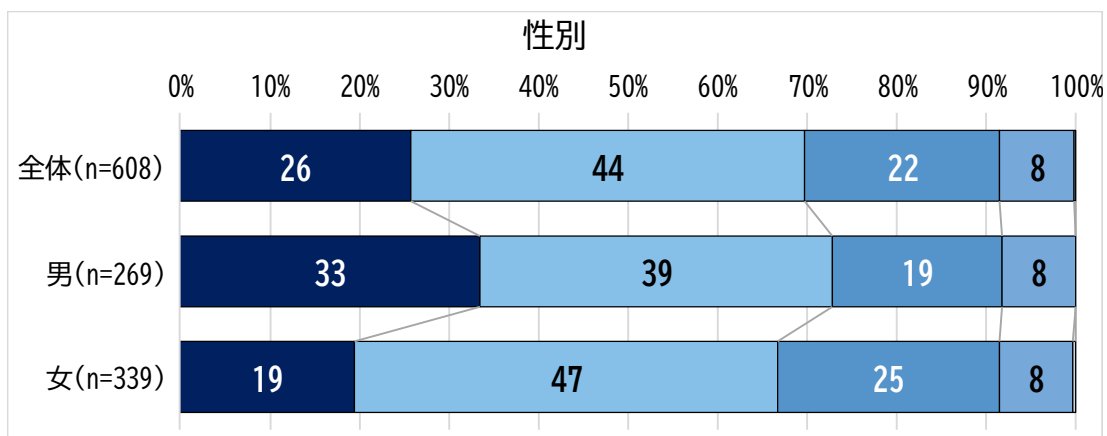
施策	5-②「健康づくりの支援」
目指す姿	全ての世代が共に支え合いながら、健康づくりや福祉の課題に取り組み、生き生きと日常生活を過ごしています。
指 標	健康づくりに取り組んでいる市民の割合(%)は、 69.7% (「取り組んでいる」、「どちらかといえば取り組んでいる」の回答数の合計の割合)

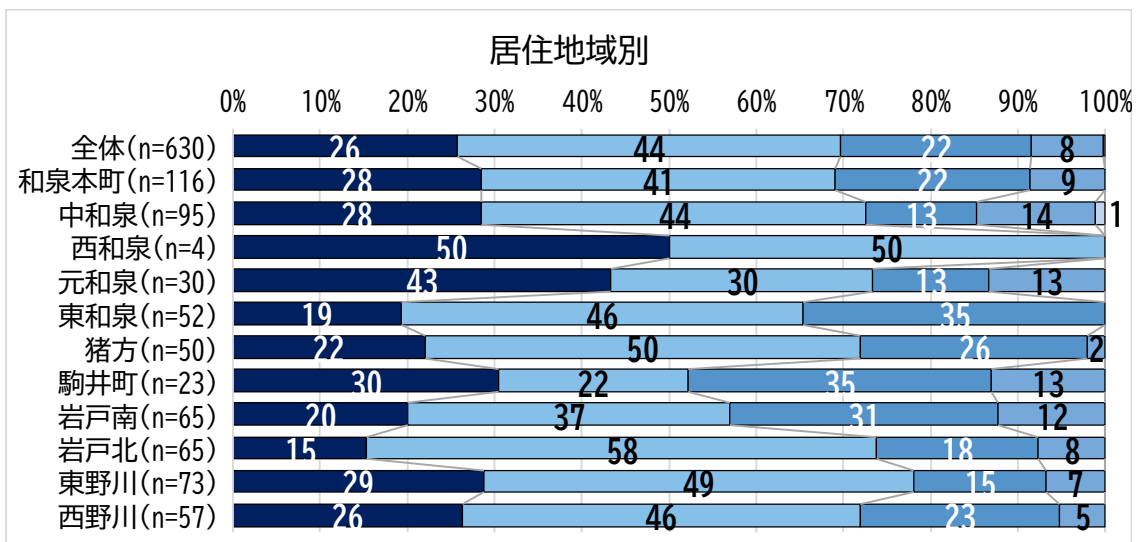
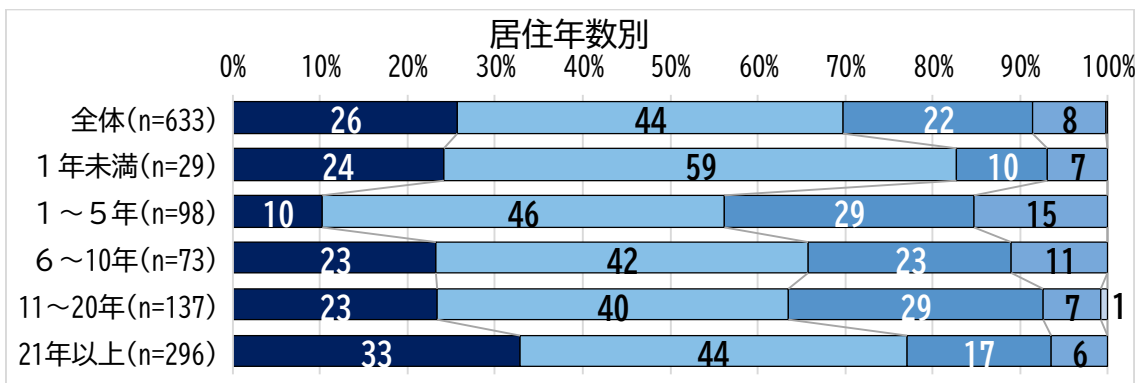
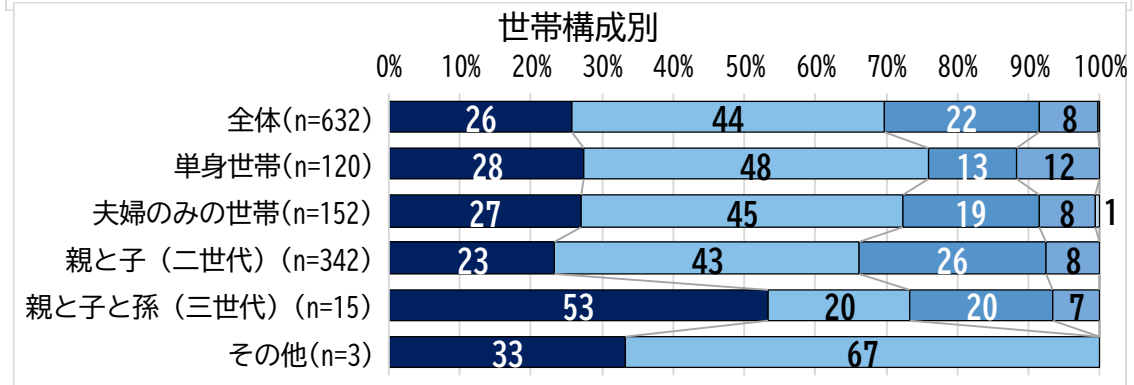
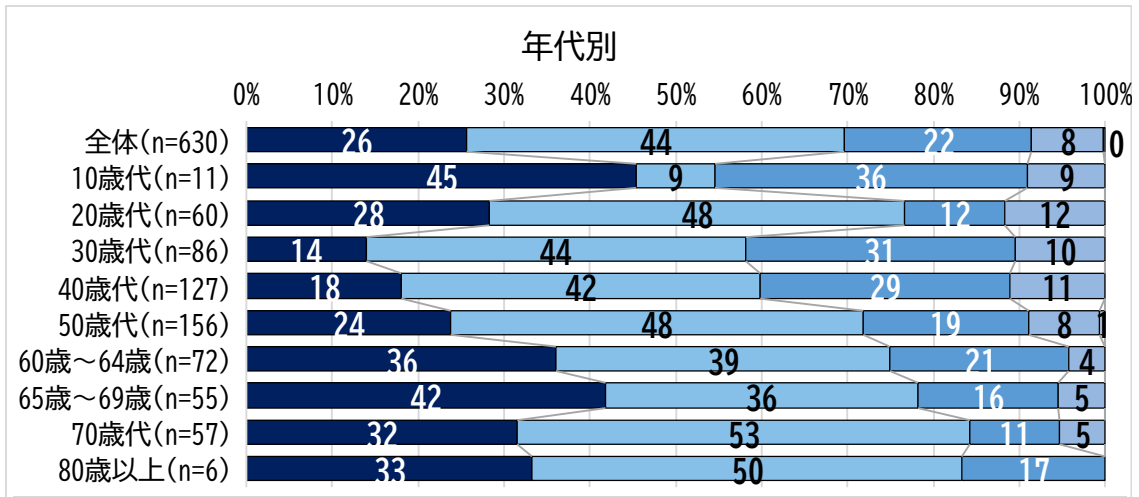
■施策指標の推移



■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

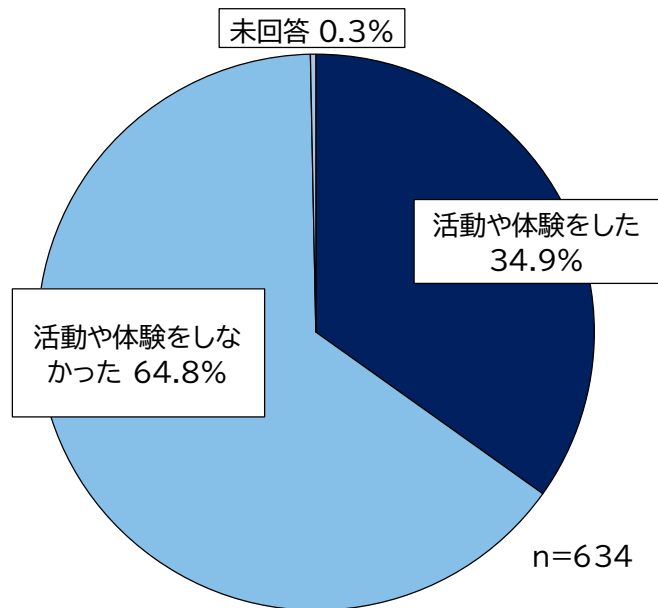
■ 取り組んでいる	■ どちらかといえば取り組んでいる
■ どちらかといえば取り組んでいない	■ 取り組んでいない
■ 未回答	





● 生涯学習について

- 問 15 あなたは、令和7年4月1日から令和8年3月 31 日までの間に、図書館で調べ物をしたり、公民館の講座や講演会に参加したり、その他趣味の活動やレクリエーション活動等、学びに関する活動や体験をしていましたか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



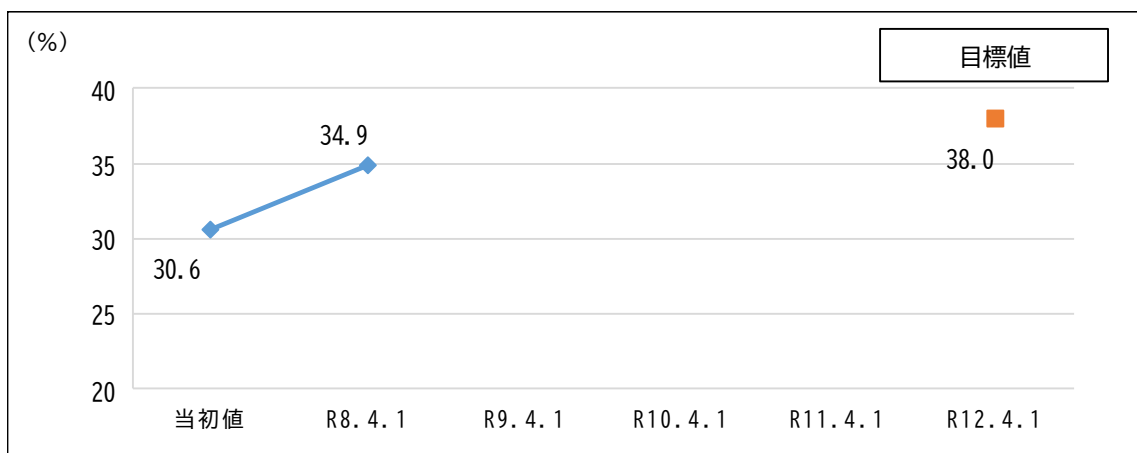
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
活動や体験をした	221	34.9%
活動や体験をしなかった	411	64.8%
未回答	2	0.3%
合計	634	

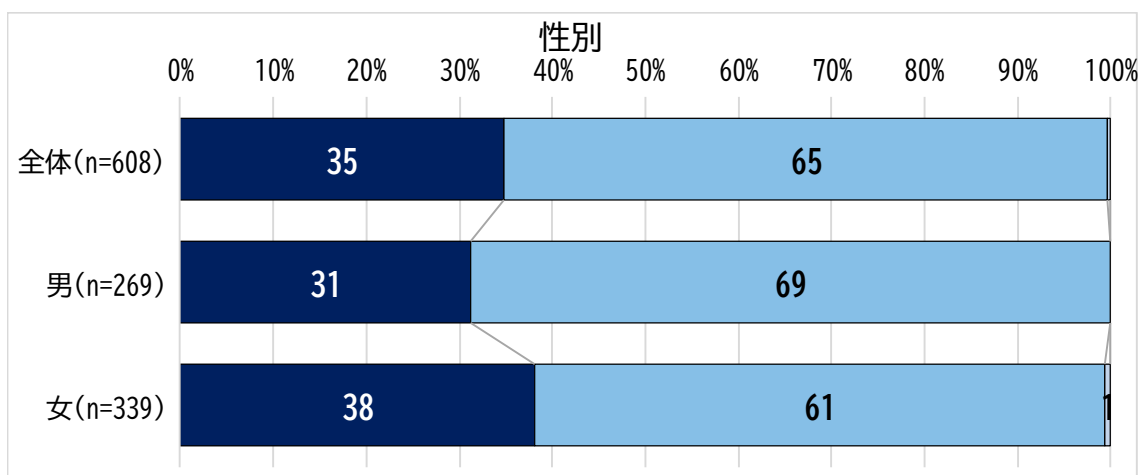
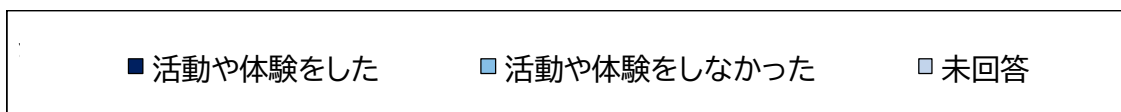
■施策指標

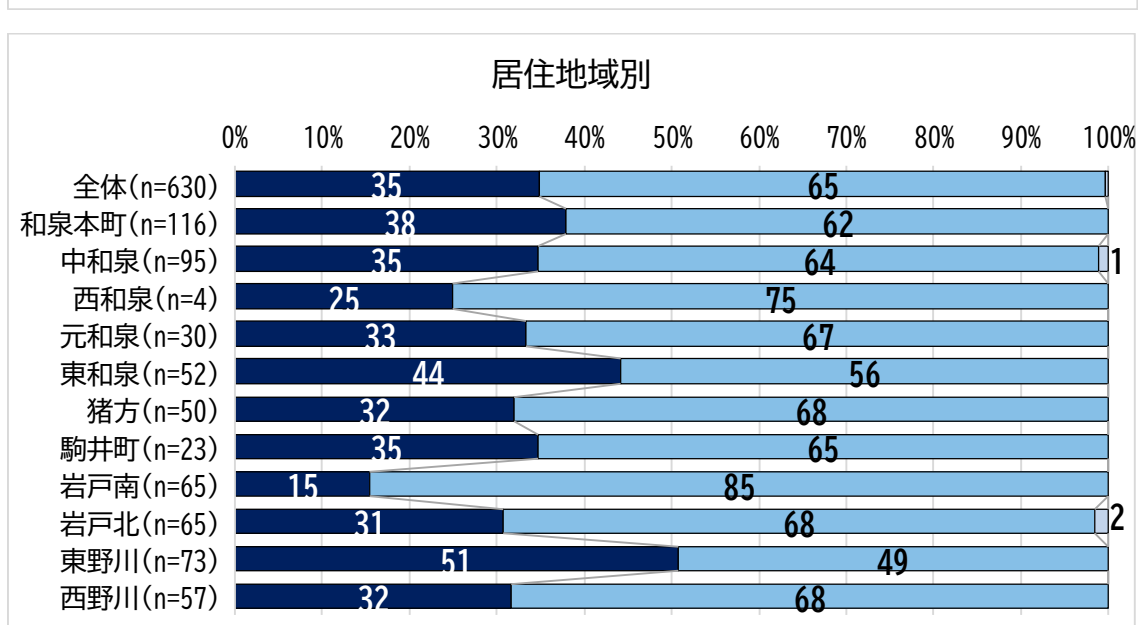
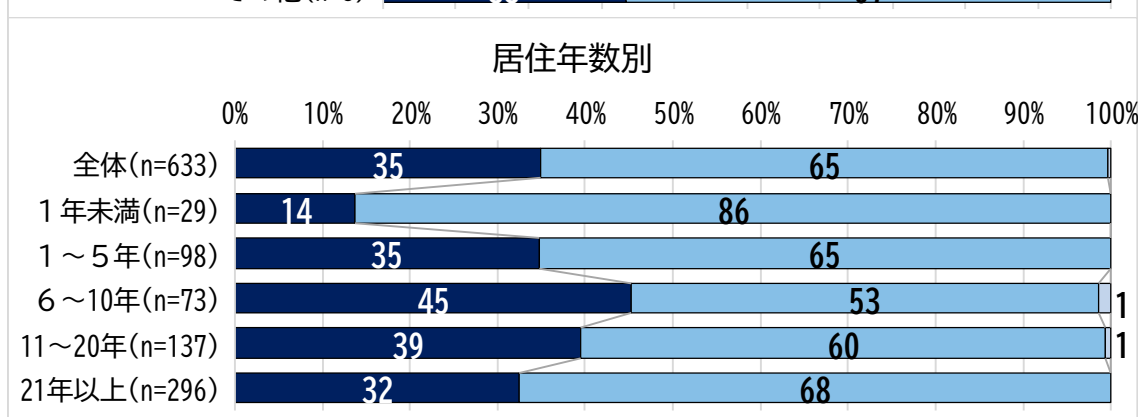
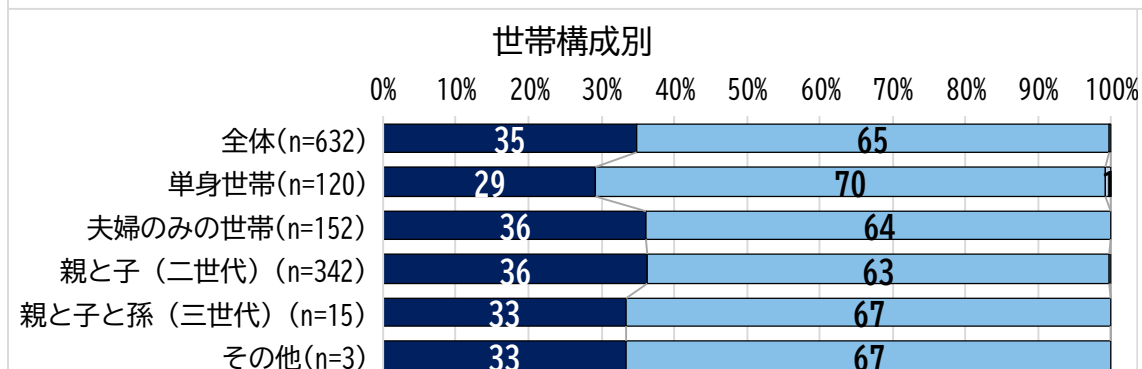
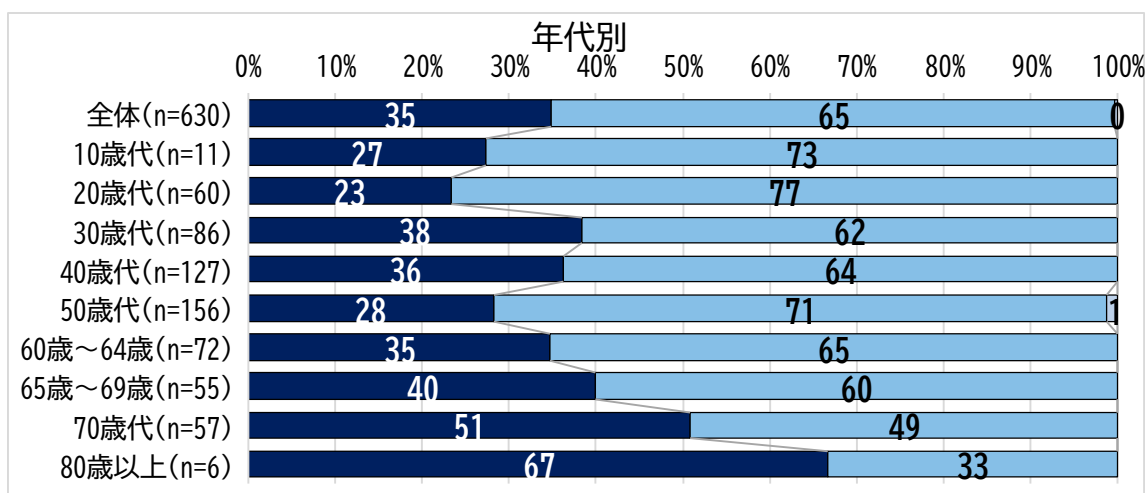
施策	6-①「生涯を通じた学びの充実」
目指す姿	誰もが生涯を通じて学べる環境が整っており、一人ひとりが自分にあった学びを楽しめるとともに市民同士の交流活動が行われています。
指 標	昨年1年間に学びの活動・体験をした市民の割合(%)は、 34.9% (「活動や体験をした」の割合)

■施策指標の推移



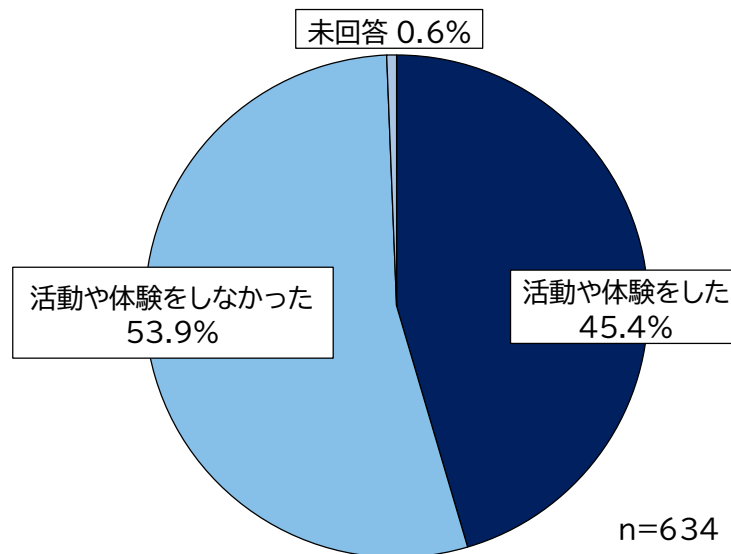
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)





● 芸術文化について

- 問 16 あなたは、令和7年4月1日から令和8年3月 31 日までの間に、コンサートホールや美術館・ギャラリー等で音楽や芸術を鑑賞していたり、自ら芸術文化活動に取り組んだりする機会がありましたか。(自宅や通勤・通学途中で音楽を聴くといったことは含まないでください。)
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



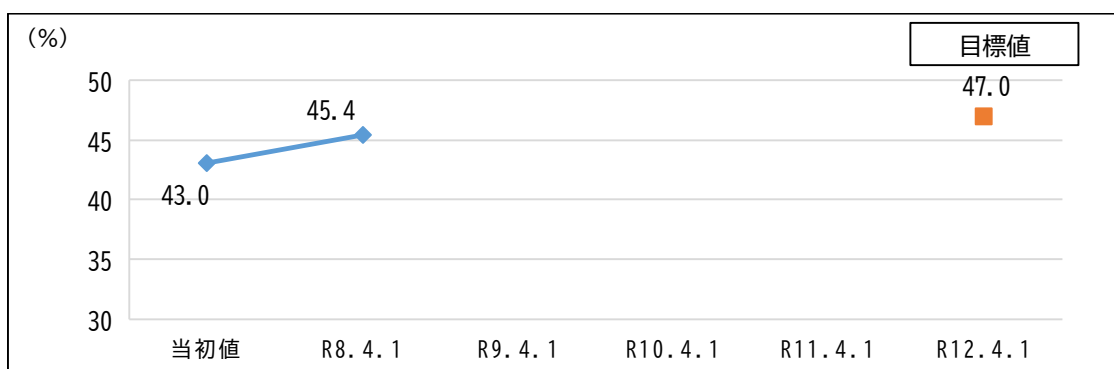
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
活動や体験をした	288	45.4%
活動や体験をしなかった	342	53.9%
未回答	4	0.6%
合計	634	

■施策指標

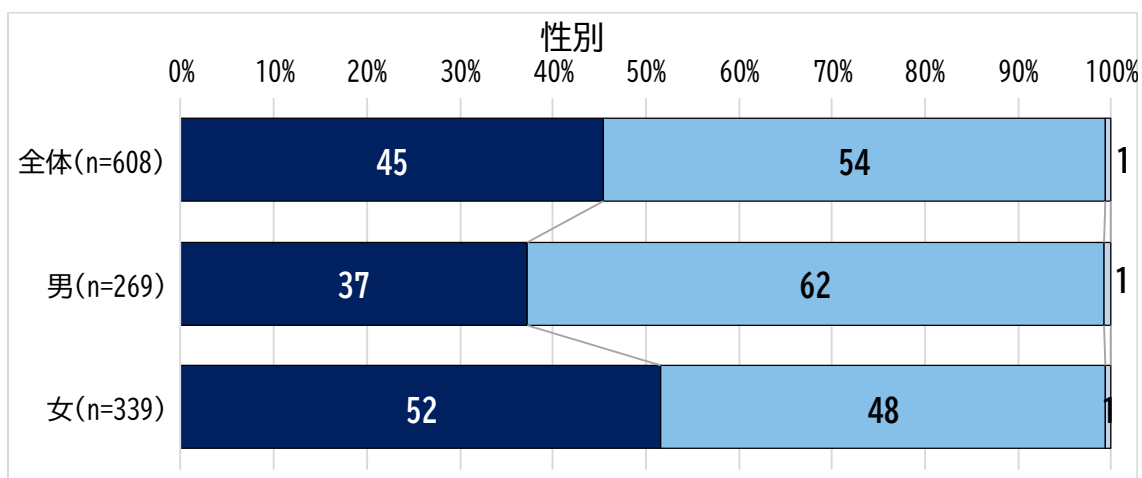
施策	6-②「芸術文化・スポーツの推進」
目指す姿	地域資源を活かした芸術文化に触れられるとともに自身にあったスポーツ活動に親しみ心身ともに健やかな生活を送ることができています。
指 標	昨年1年間に芸術文化活動を行ったり、鑑賞したりしたことのある市民の割合(%)は、45.4% (「活動や体験をした」の割合)

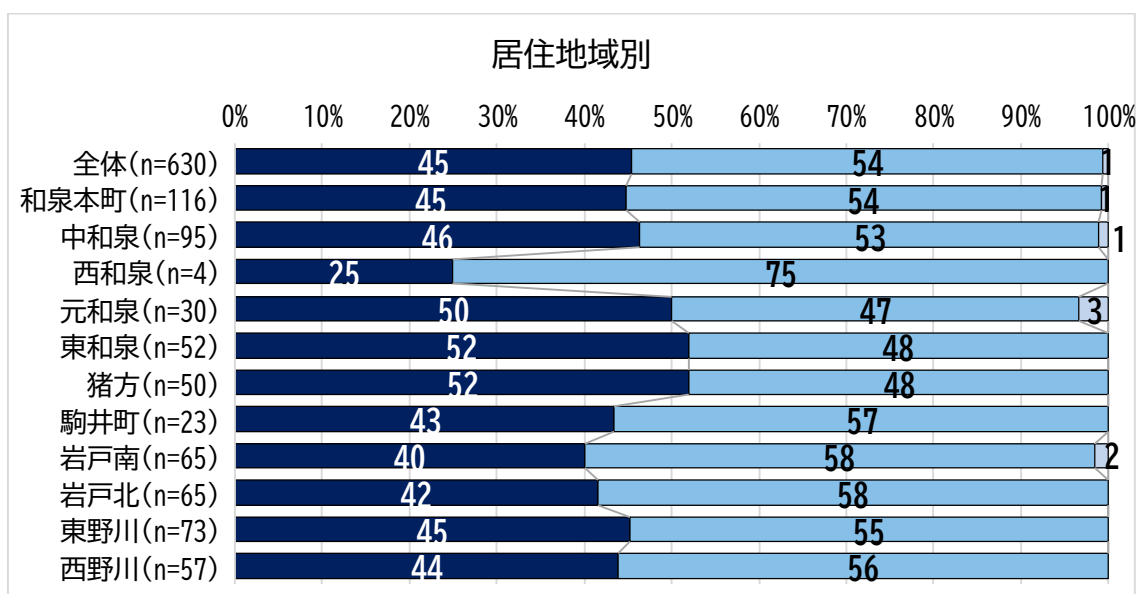
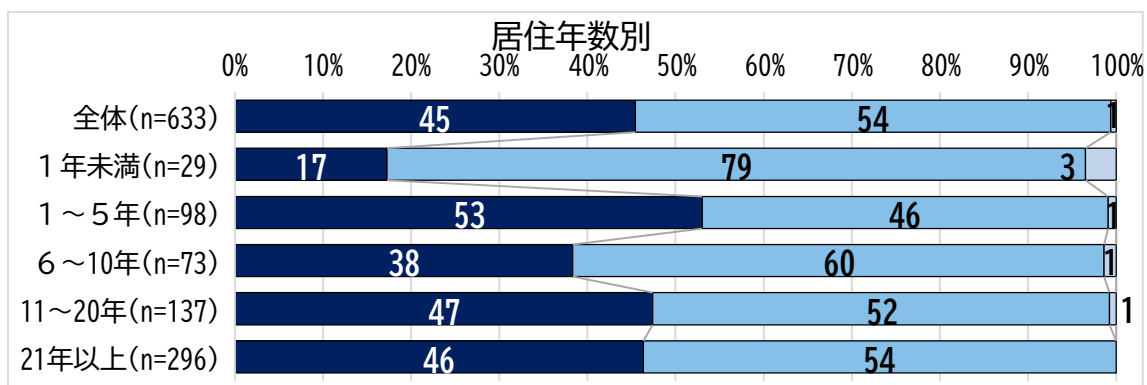
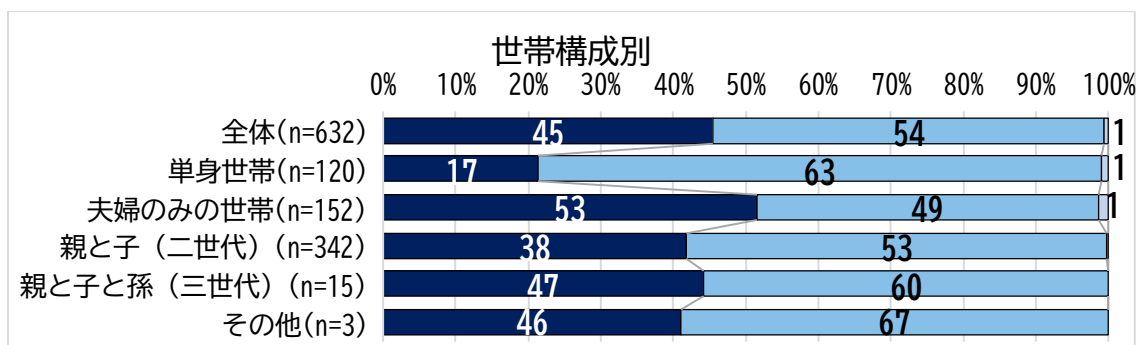
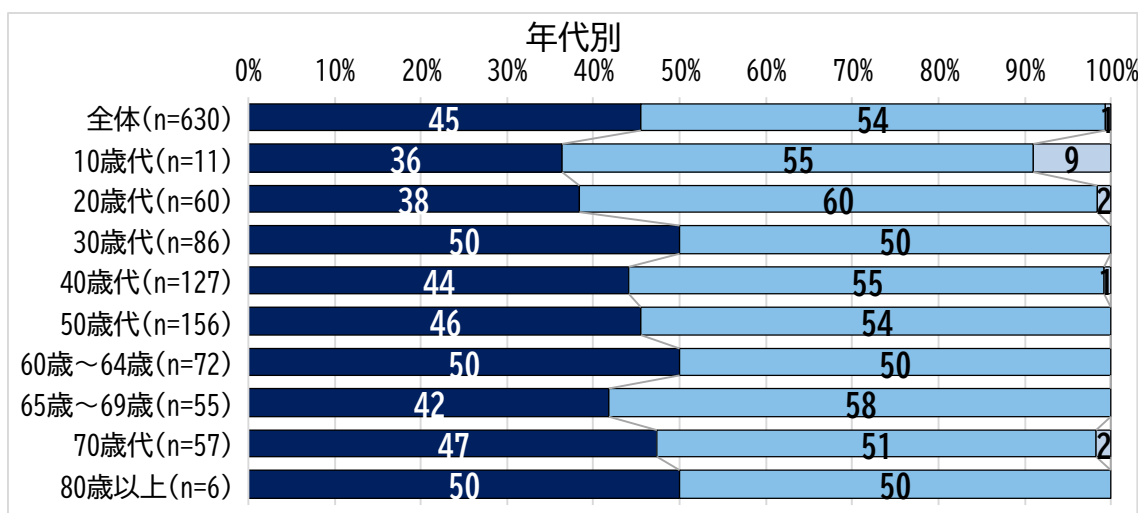
■施策指標



■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

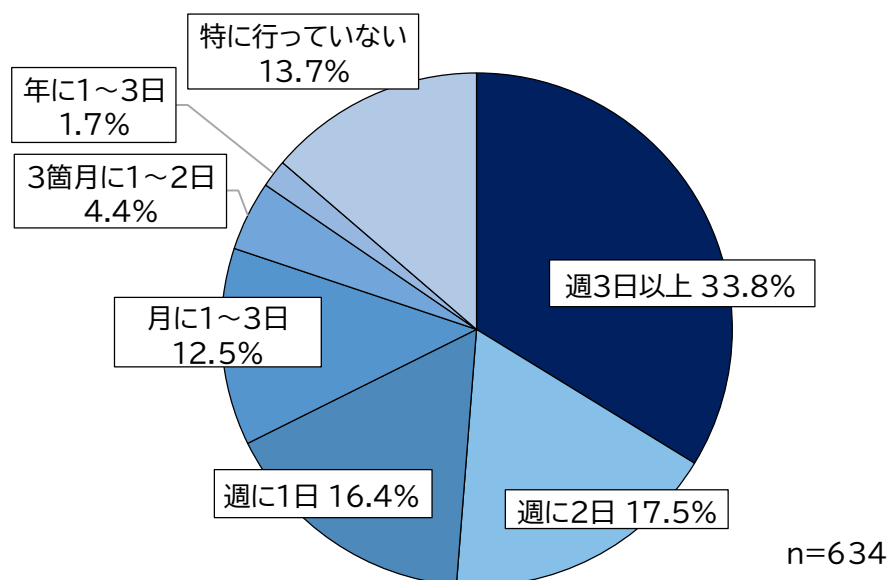
■ 活動や体験をした	■ 活動や体験をしなかった	□ 未回答
------------	---------------	-------





● スポーツや運動について

- 問 17 あなたは、ウォーキングや散歩(散策やペットの散歩、意識的な階段の利用等を含む)、体操(ラジオ体操や職場体操、ストレッチ、ヨガ等を含む)、ランニング、野球、サッカー等のスポーツや運動をどれくらいの頻度で行っていますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



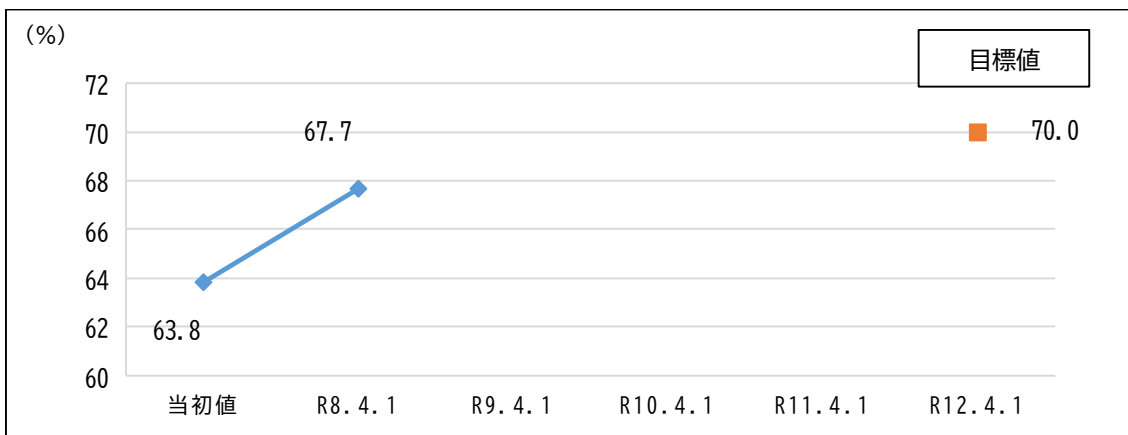
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
週3日以上(年 151 日以上)	214	33.8%
週に2日(年 101 日~150 日)	111	17.5%
週に1日(年 51 日~100 日)	104	16.4%
月に1~3日(年 12 日~50 日)	79	12.5%
3箇月に1~2日(年4日~11 日)	28	4.4%
年に1~3日	11	1.7%
特に行っていない	87	13.7%
合計	634	

■施策指標

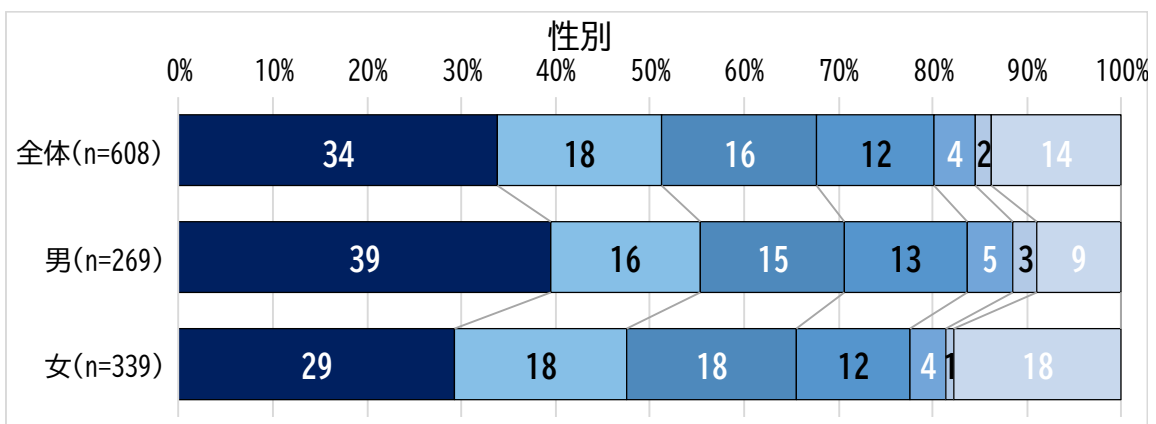
施策	6-②「芸術文化・スポーツの推進」
目指す姿	地域資源を活かした芸術文化に触れられるとともに自身にあったスポーツ活動に親しみ心身ともに健やかな生活を送ることができています。
指 標	週1回以上、何らかの運動やスポーツをしている 市民の割合(%)は、 67.7% (「週3日以上(年 151 日以上)」、「週に2日(年 101 日～150 日)」、「週に1日(年 51 日～100 日)」の回答数の合計の割合)

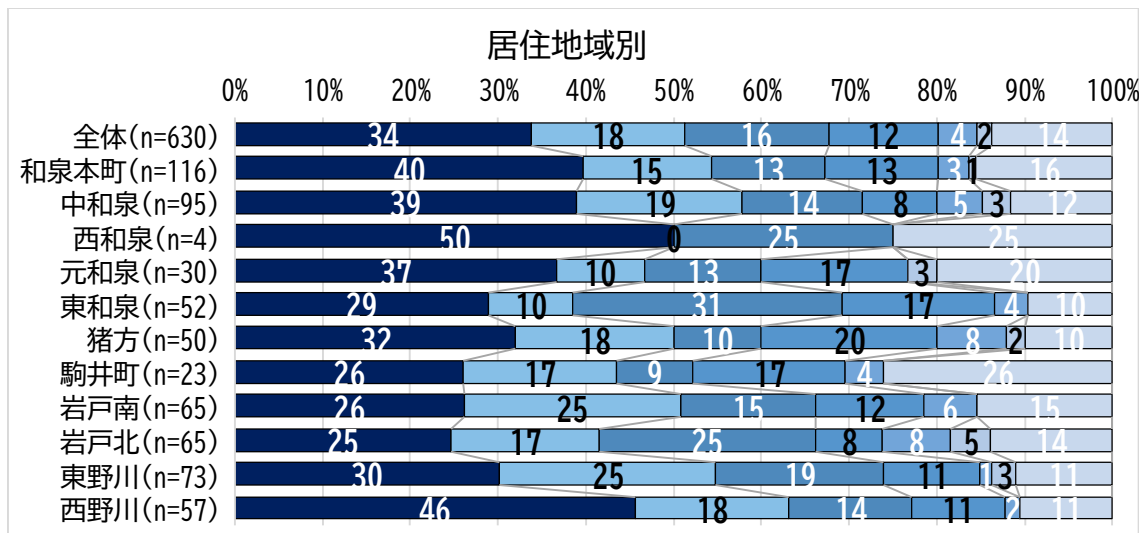
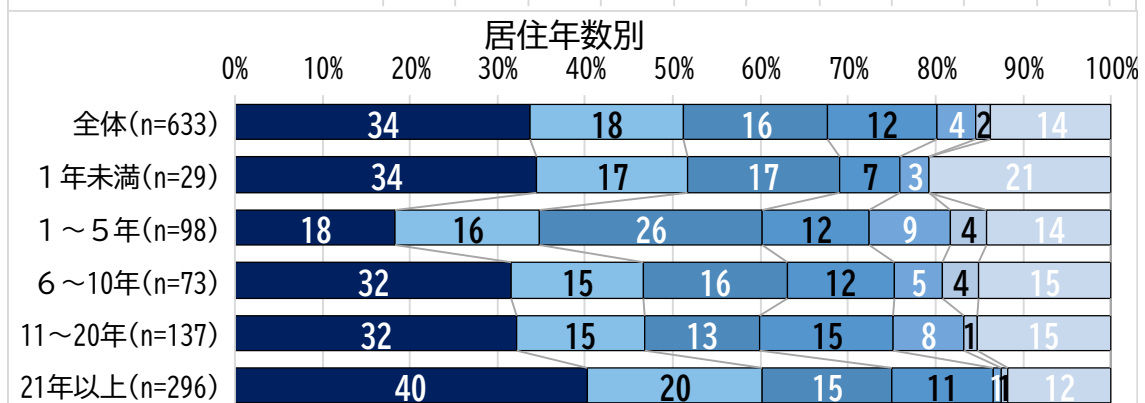
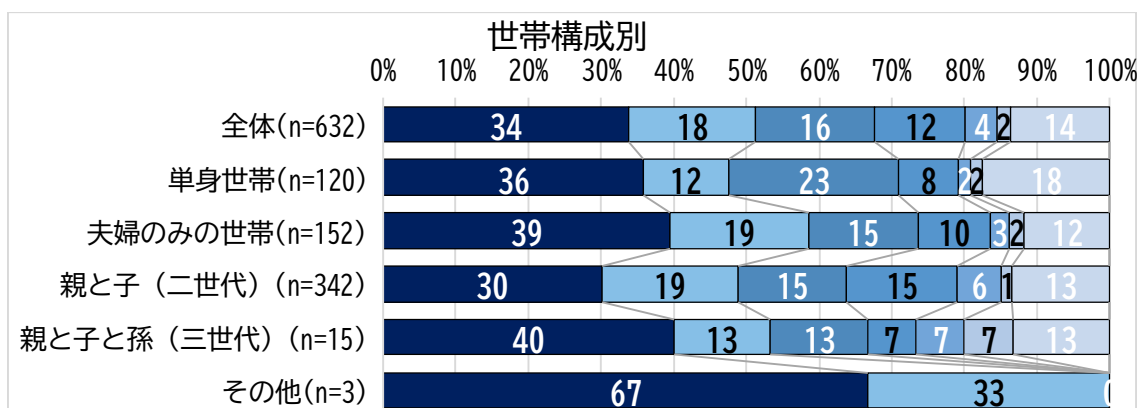
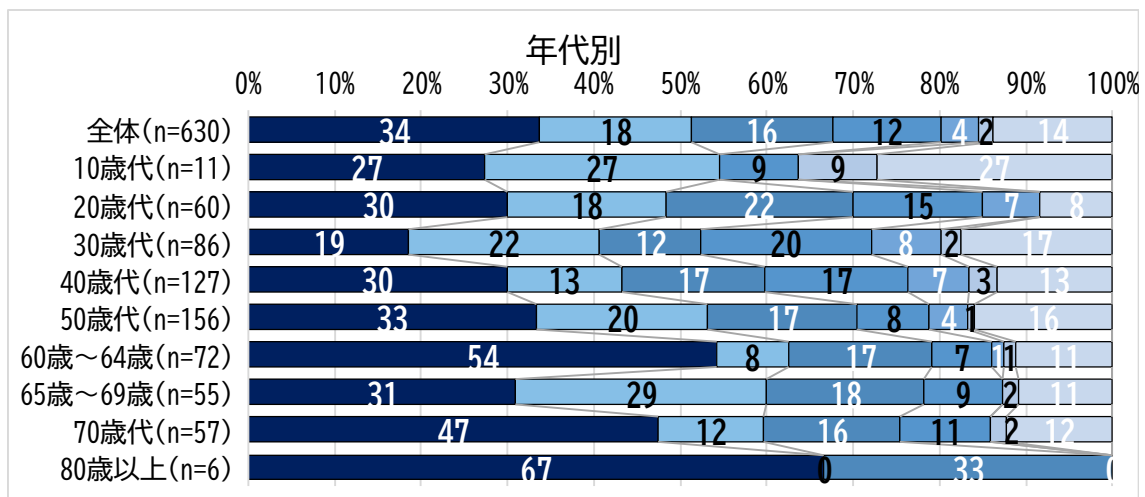
■施策指標の推移



■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

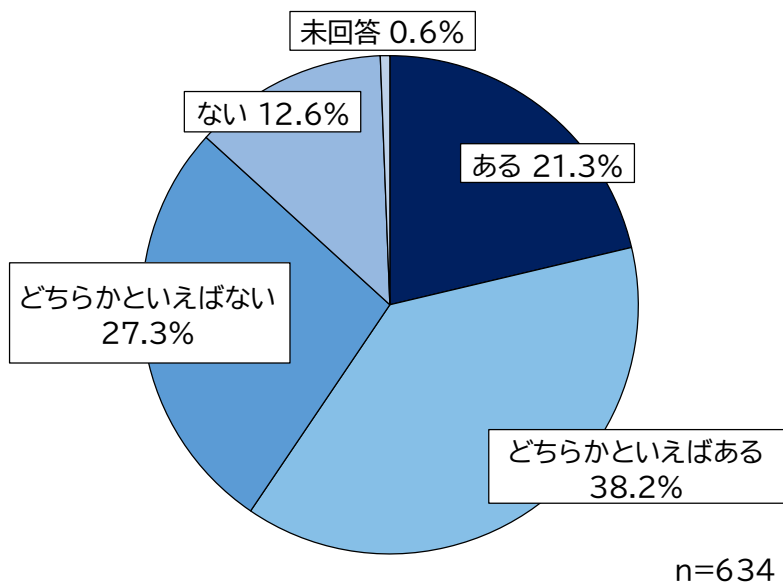
■ 週3日以上(年151日以上)	■ 週に2日(年101日～150日)
■ 週に1日(年51日～100日)	■ 月に1～3日(年12日～50日)
■ 3箇月に1～2日(年4日～11日)	■ 年に1～3日
■ 特に行っていない	■ 未回答





● 歴史・伝統について

●問 18 あなたは、狛江市の歴史や伝統について、関心を持ったり、見聞きしたりしたことがありますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



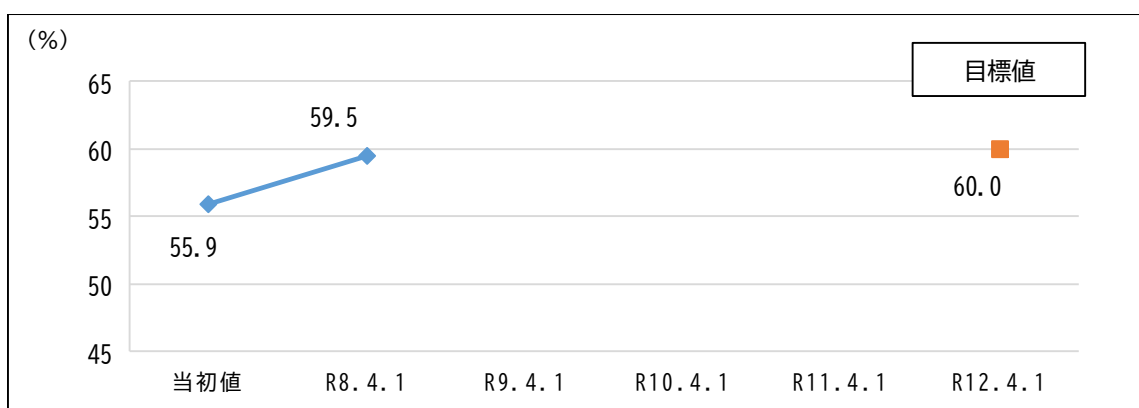
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
ある	135	21.3%
どちらかといえばある	242	38.2%
どちらかといえばない	173	27.3%
ない	80	12.6%
未回答	4	0.6%
合計	634	

■施策指標

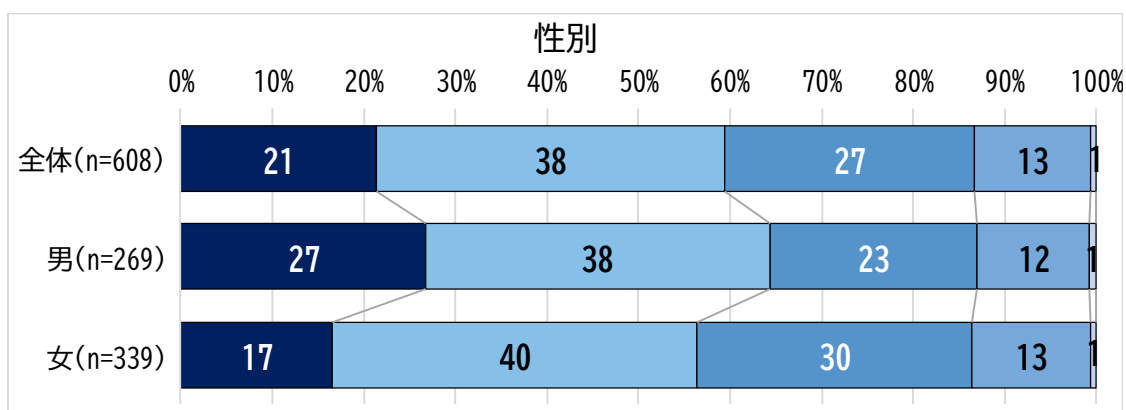
施策	6-③「歴史・文化の理解と継承」
目指す姿	粕江に伝わる史跡や文化財に触れ、歴史や文化を身近に感じ、理解を深めることで地域への愛着が育まれ、歴史や文化が次世代に継承されています。
指標	市の歴史や伝統に関心のある市民の割合(%)は、 59.5% (「ある」、「どちらかといえばある」の回答数の合計の割合)

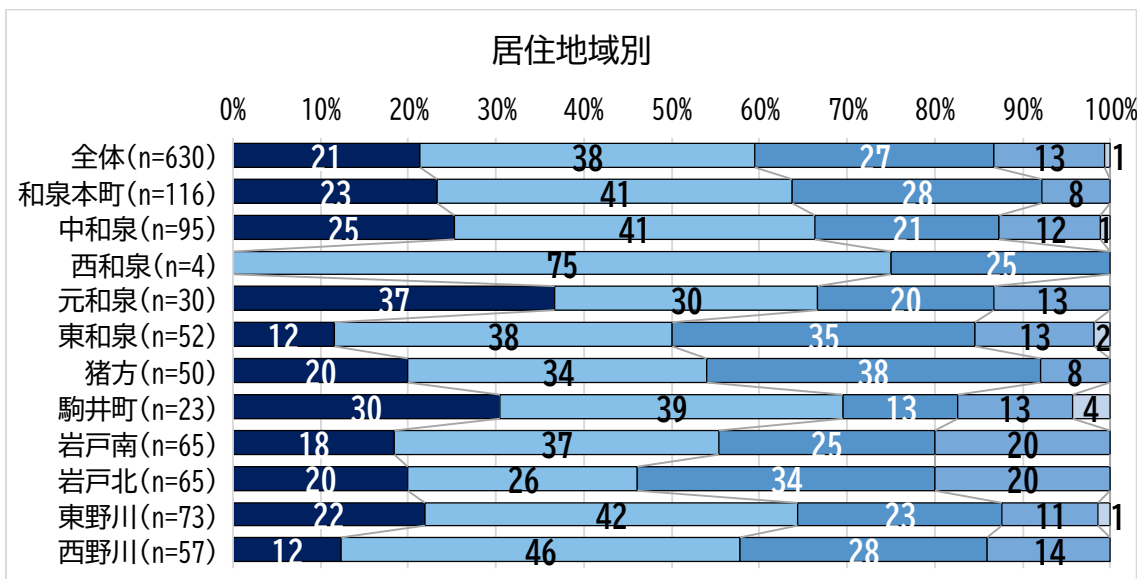
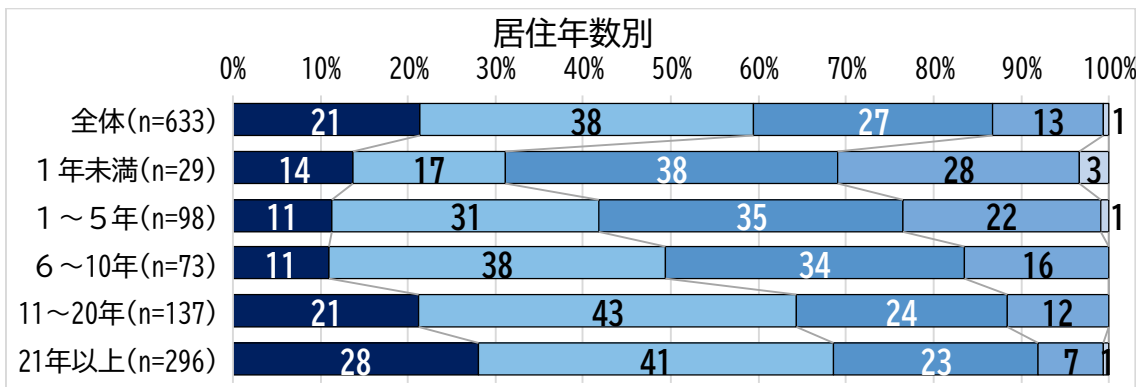
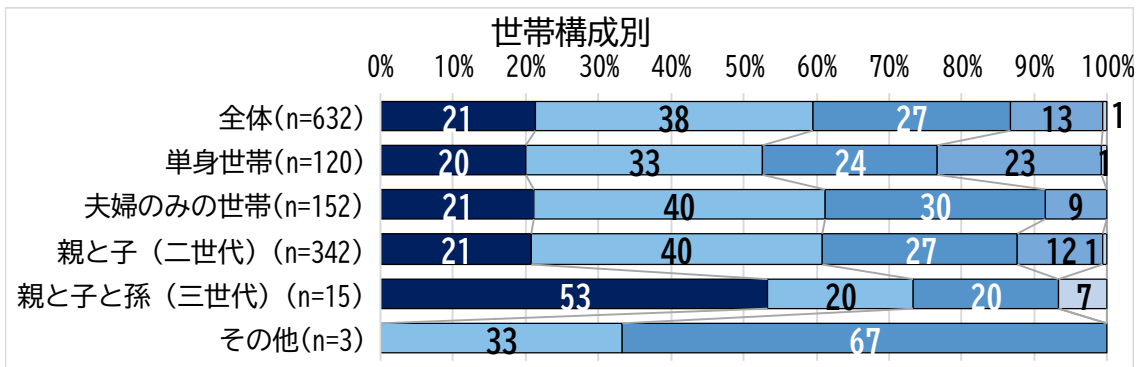
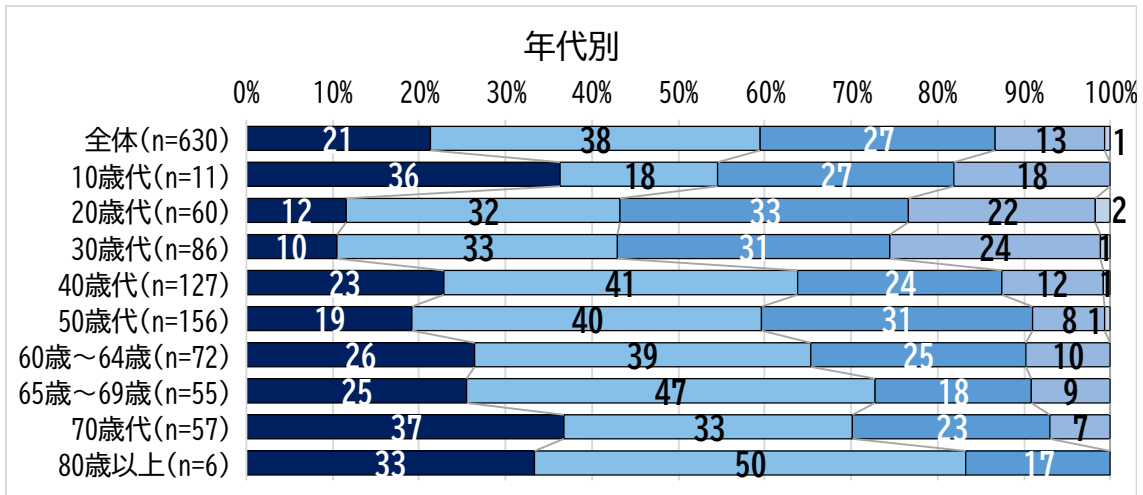
■施策指標の推移



■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

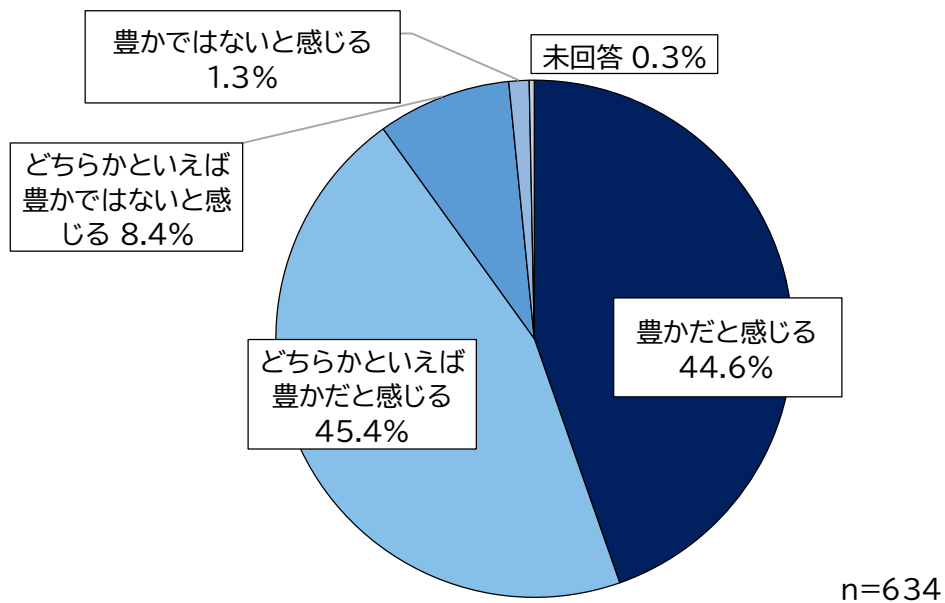
■ ある ■ どちらかといえばある ■ どちらかといえばない ■ ない □ 未回答





● 環境について

●問 19 あなたは、狛江市内の緑が豊かだと感じますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



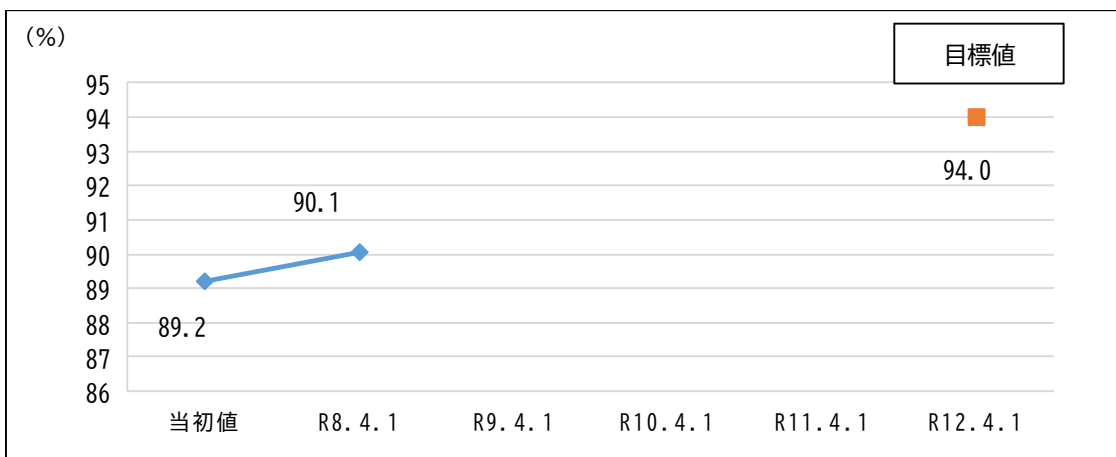
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
豊かだと感じる	283	44.6%
どちらかといえば豊かだと感じる	288	45.4%
どちらかといえば豊かではないと感じる	53	8.4%
豊かではないと感じる	8	1.3%
未回答	2	0.3%
合計	634	

■施策指標

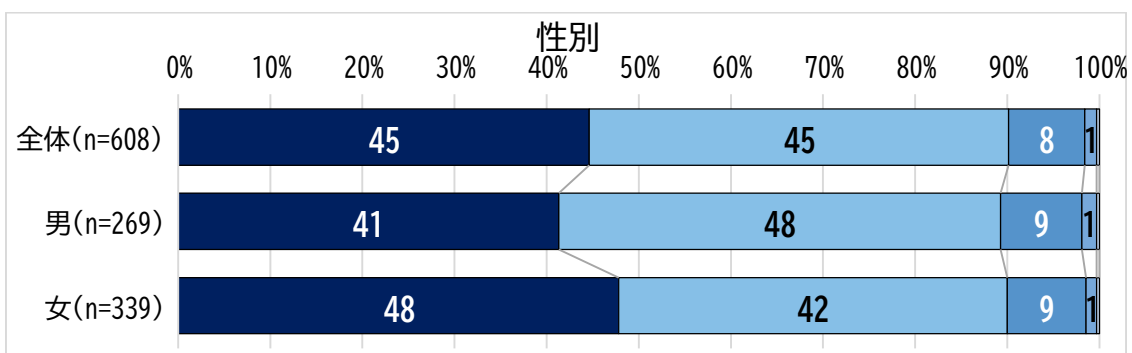
施策	7-①「水と緑の快適空間づくり」
目指す姿	身近な緑や多摩川を始め豊かな自然環境が守られ、人々が豊かな環境を享受し、それが次世代に引き継がれ、人と生きものが共生しています。また、憩いや交流、自然鑑賞等様々な目的や地域性を踏まえた公園が整備されており、市民に親しまれています。
指標	市内の緑が豊かだと感じている市民の割合(%)は、 90.1% (「豊かだと感じる」、「どちらかといえば豊かだと感じる」の回答数の合計の割合)

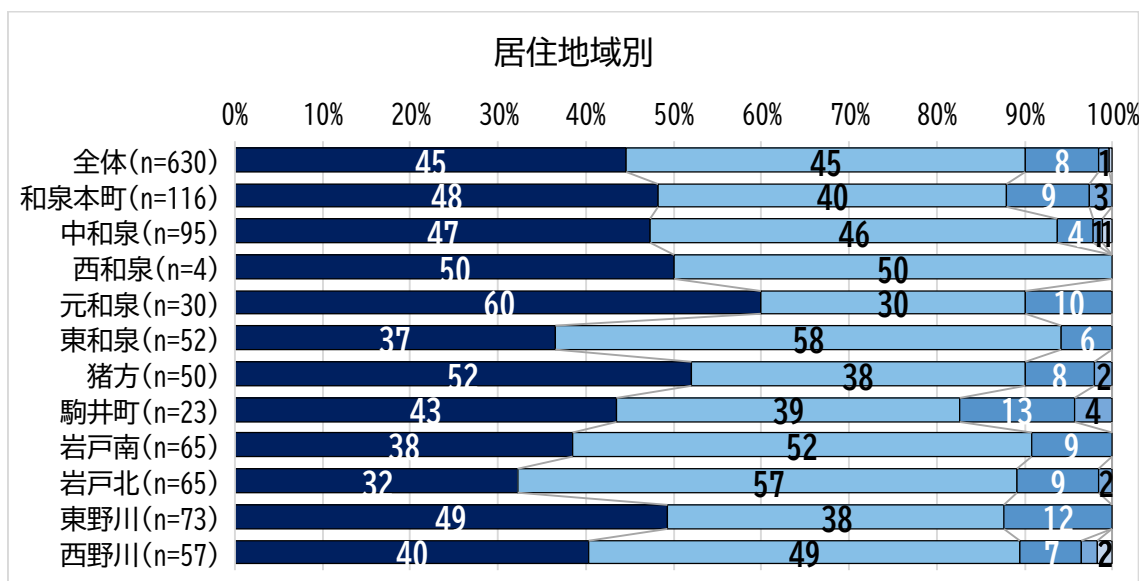
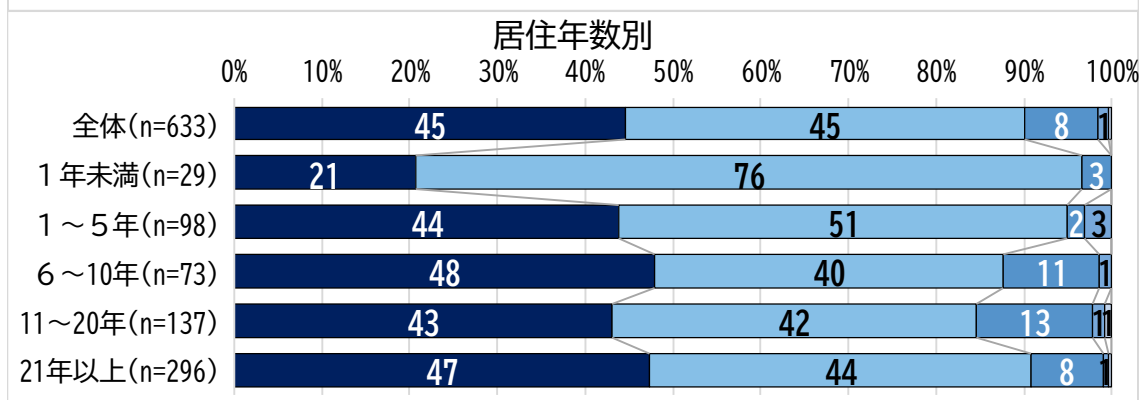
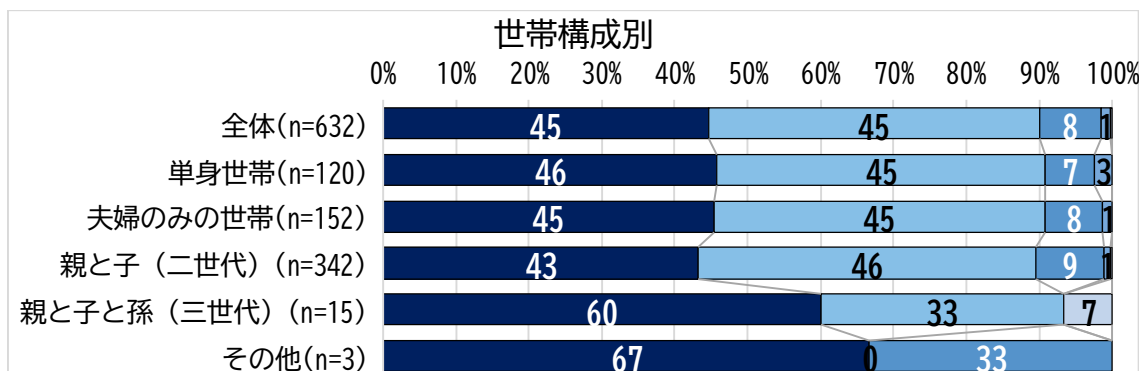
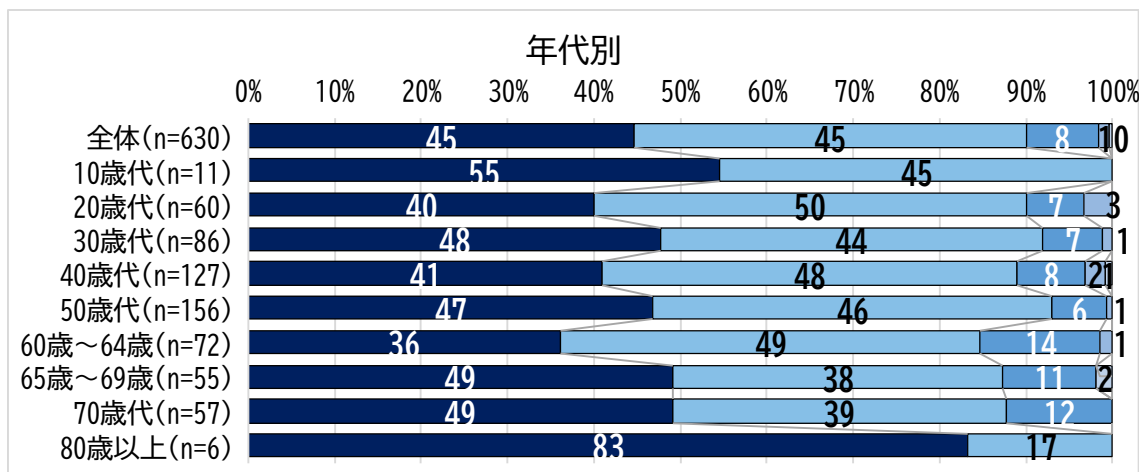
■施策指標の推移



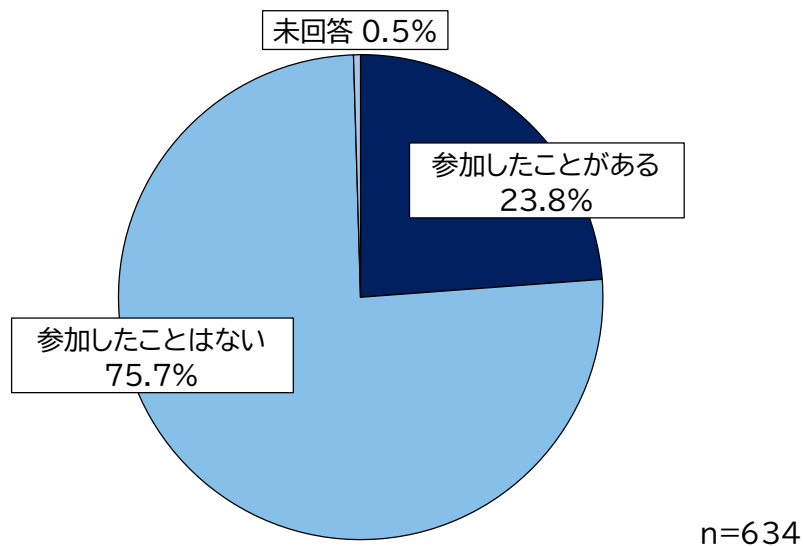
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住地域、居住年数別)

■ 豊かだと感じる
■ どちらかといえば豊かだと感じる
■ どちらかといえば豊かではないと感じる
■ 豊かではないと感じる
■ 未回答





●問 20 あなたは、多摩川統一清掃や野川美化清掃、クリーン大作戦、町会・自治会や団体による狛江市内の美化活動に参加したことがありますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



■回答数及び構成比

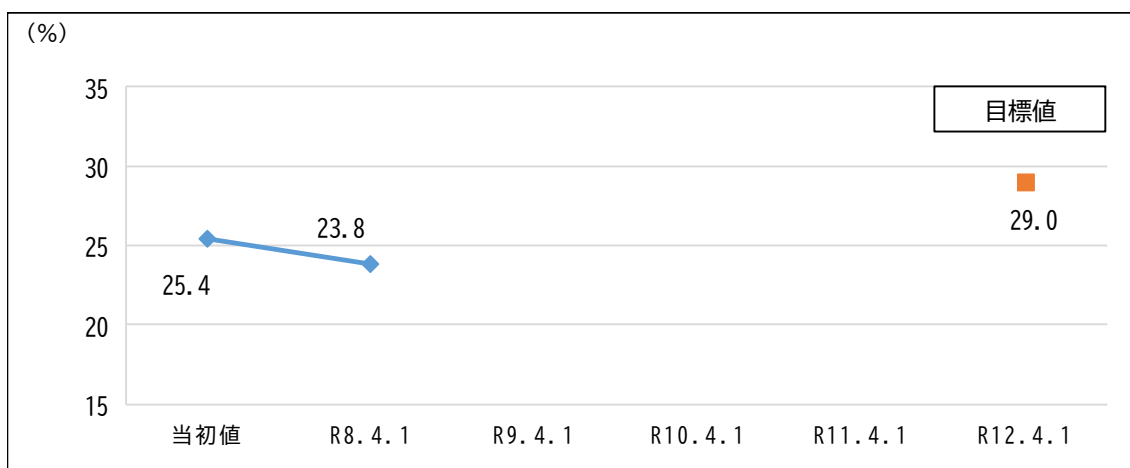
	回答数	構成比
参加したことがある	151	23.8%
参加したことはない	480	75.7%
未回答	3	0.5%
合計	634	

■施策指標

施策	7-②「地球にやさしい快適なまちづくり」
目指す姿	気候変動による影響に向き合い、適応したレジリエント(強靱)なまち*になっています。 また、地球温暖化という課題に向き合い、自然環境との調和を図りながら、市を挙げてゼロカーボンシティの実現に取り組むことで、地球にやさしいまちになっています。大気汚染や騒音等がない良好な生活環境が確保され、誰もが気持ちよく快適に暮らしています。
指標	市内の美化活動に参加したことがある市民の割合(%)は、 23.8% (「参加したことがある」の割合)

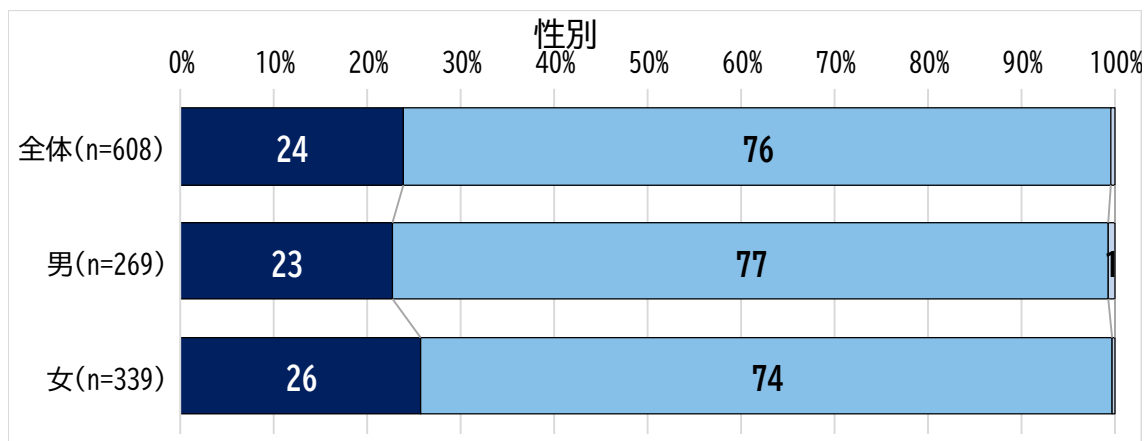
*自然災害等が発生した場合に影響を最小限に留め、速やかに復旧・回復できるまち

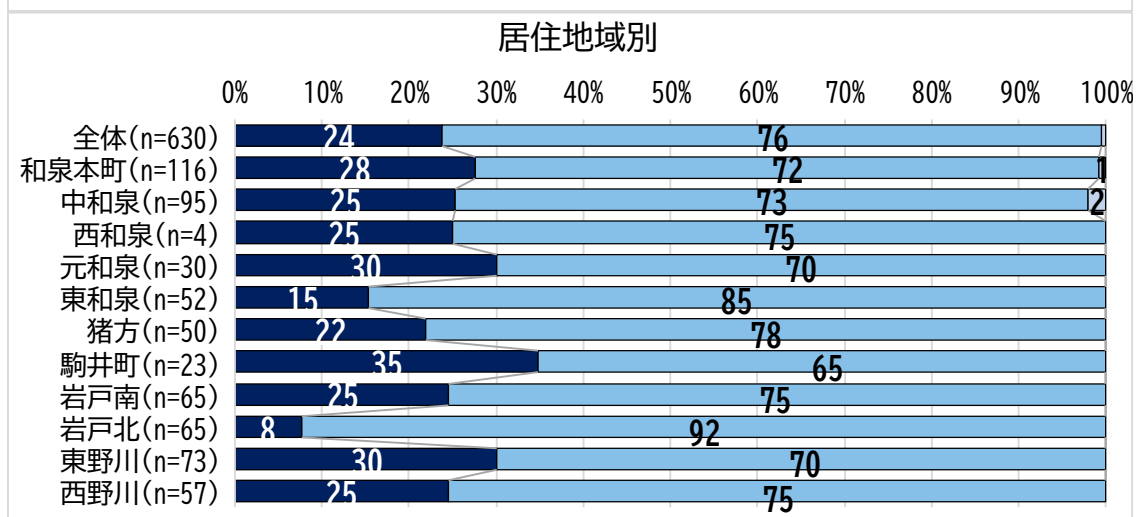
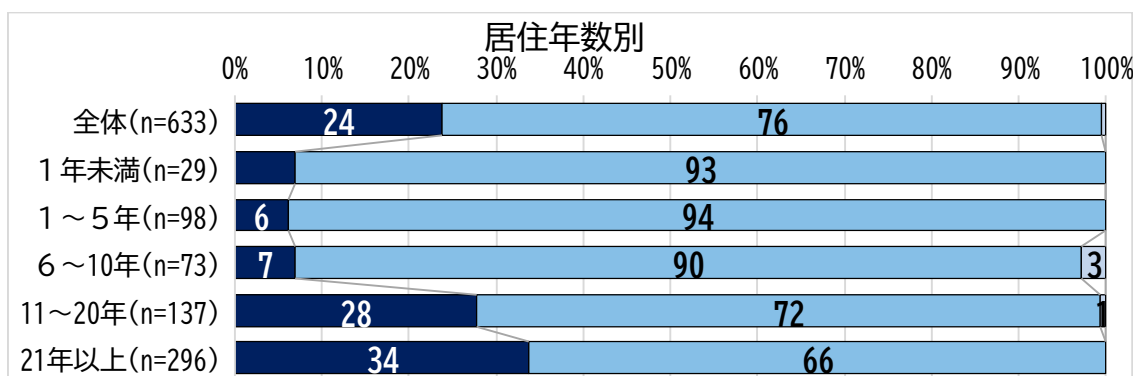
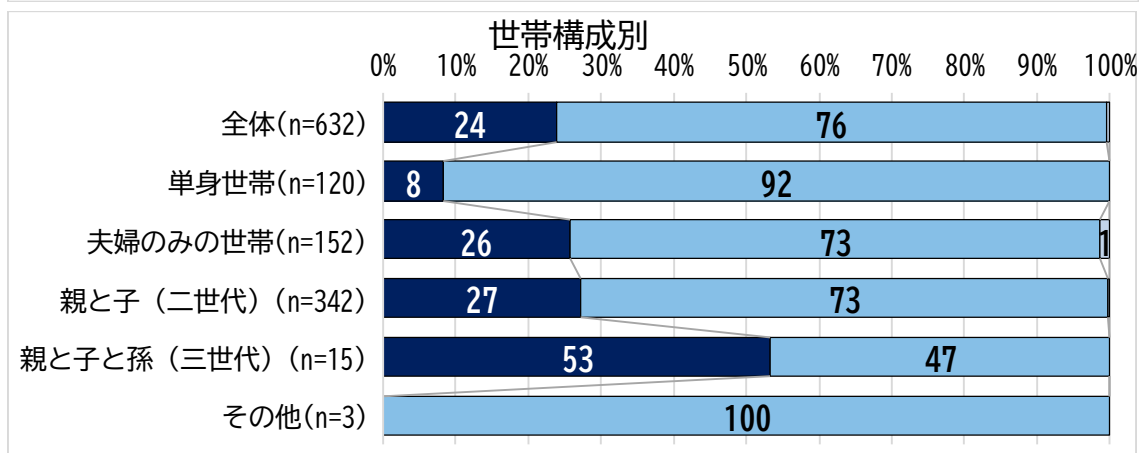
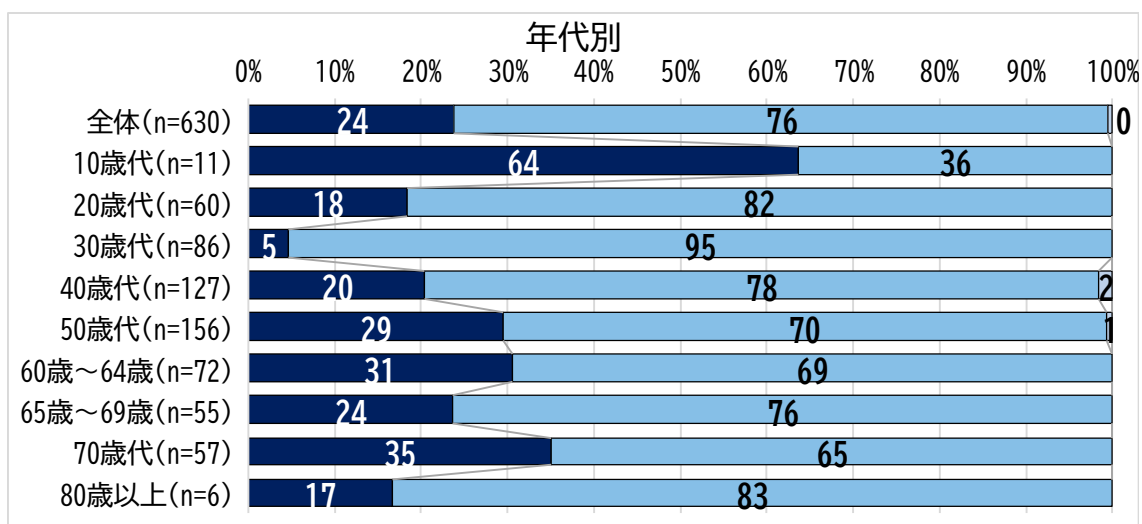
■施策指標の推移



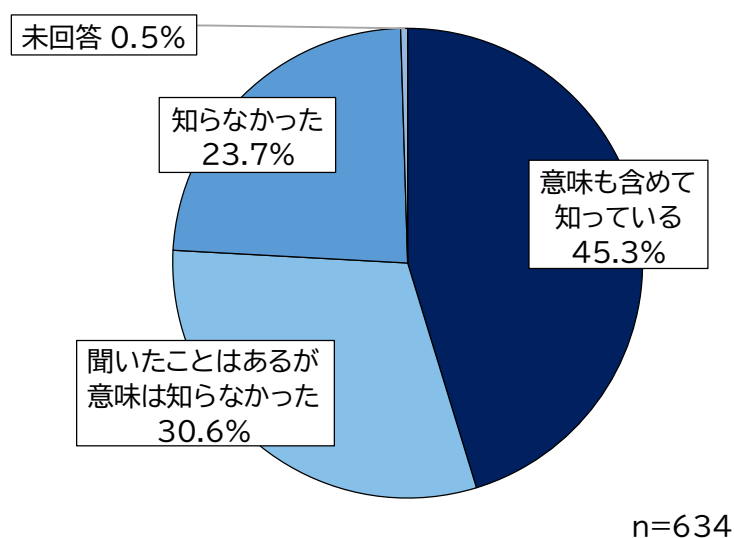
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

■ 参加したことがある ■ 参加したことはない □ 未回答





●問 21 「生物多様性※」という言葉について知っていますか。
 (番号を1つ選んで○を付けてください。)



※生物多様性とは

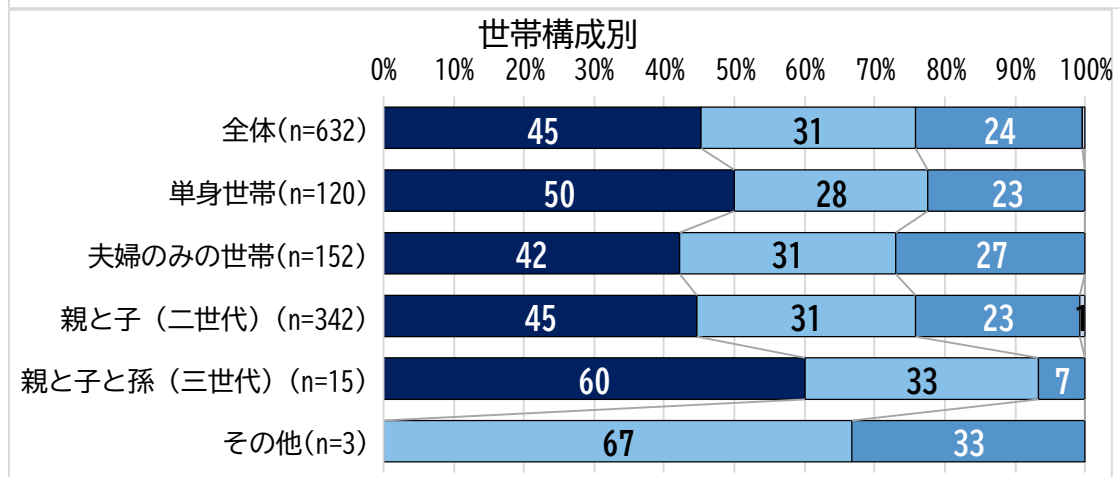
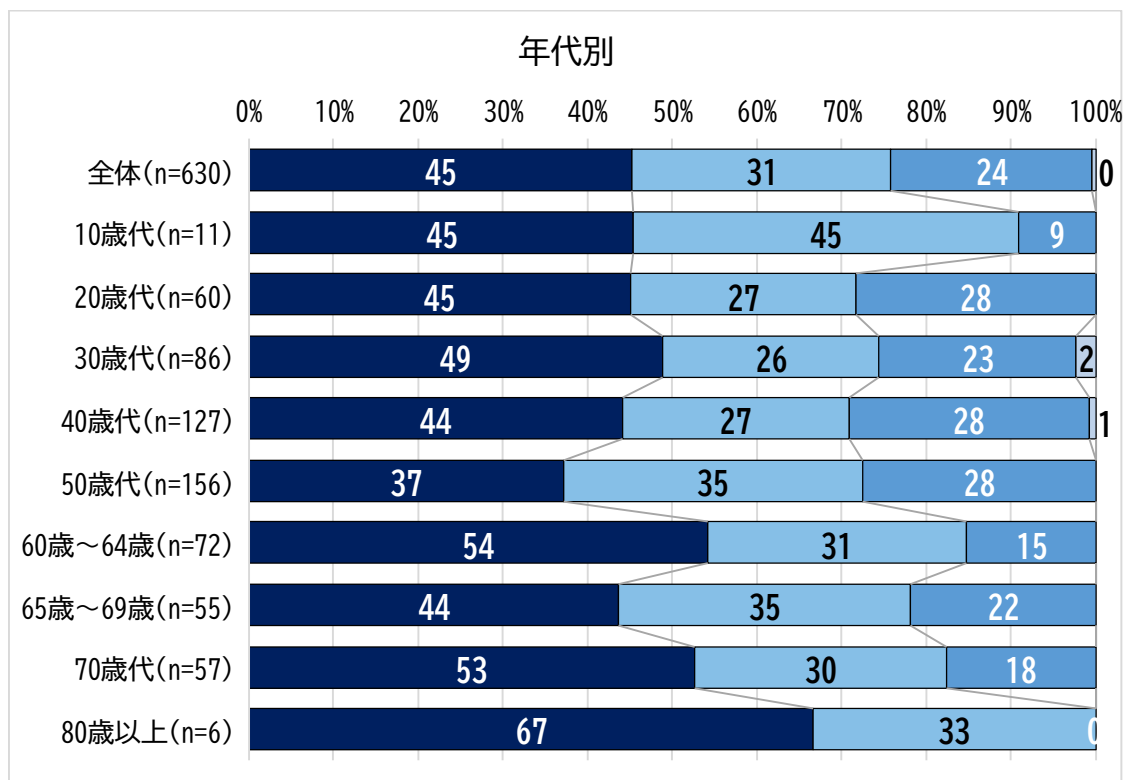
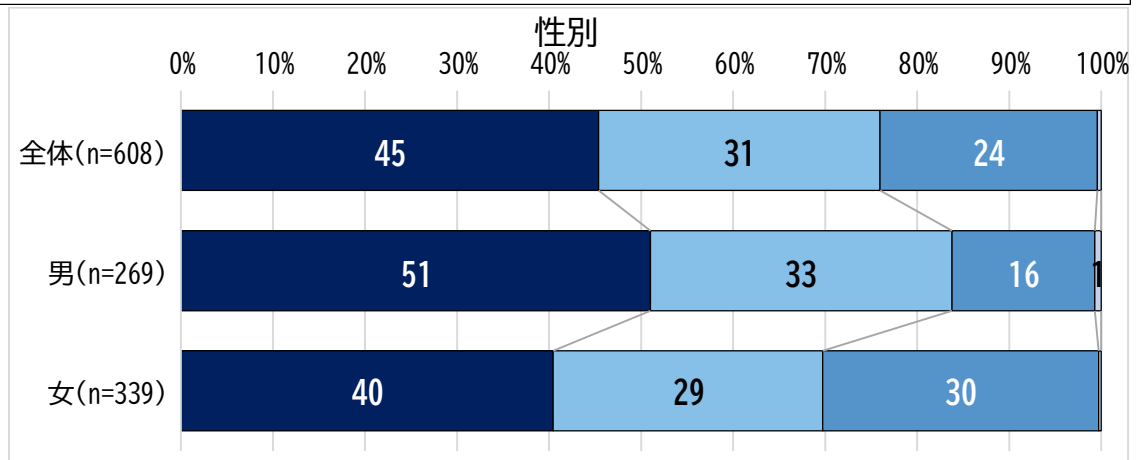
全ての生きものに違いがあり、お互いにつながりあって、支えあいながら生きていることをいう。

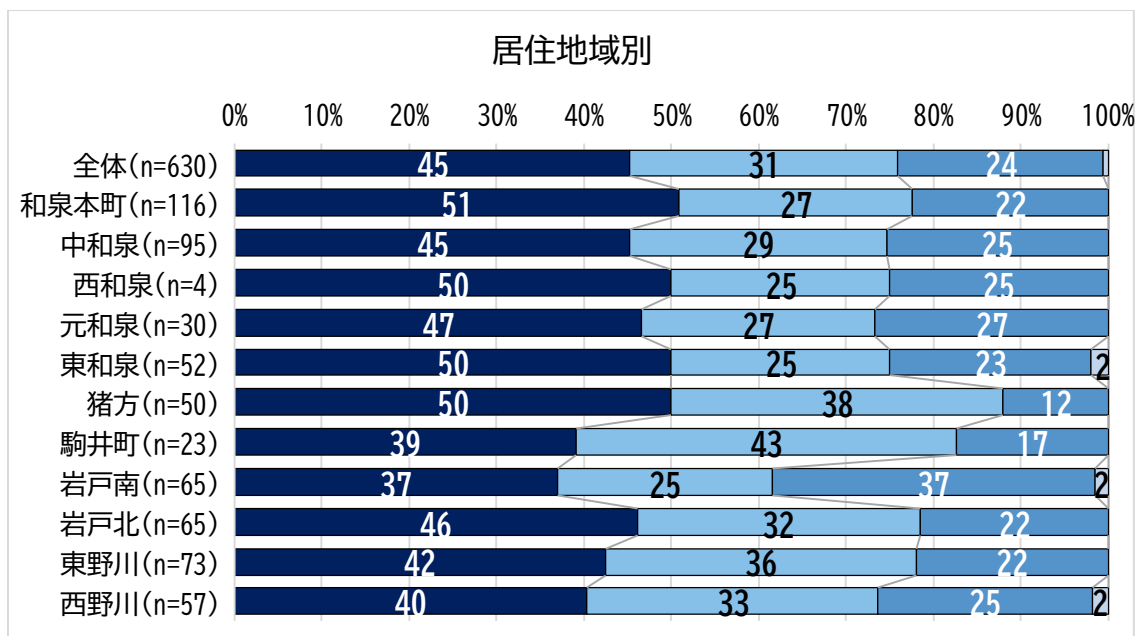
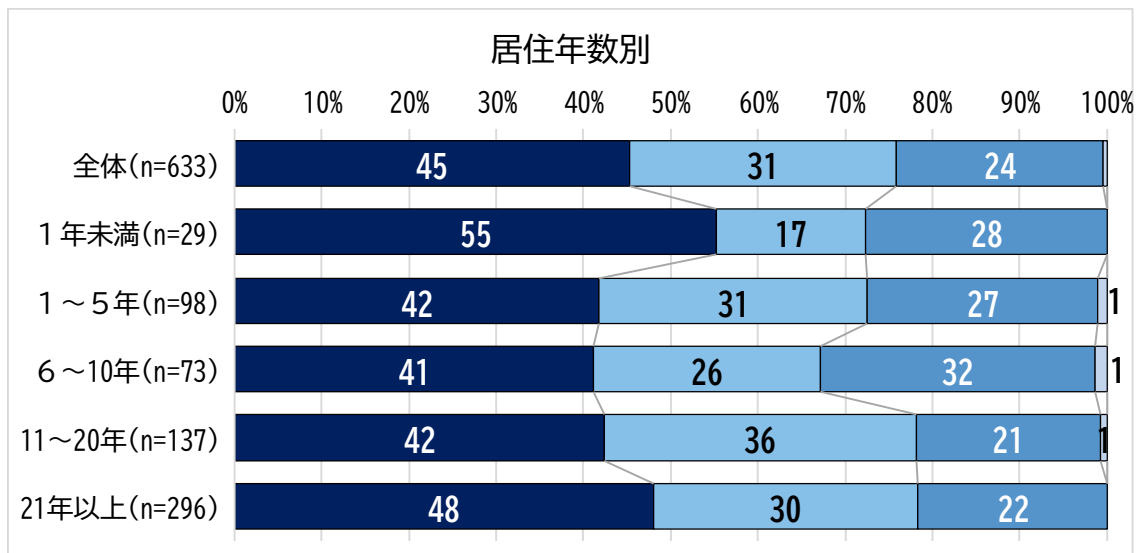
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
意味も含めて知っている	287	45.3%
聞いたことはあるが意味は知らなかった	194	30.6%
知らなかった	150	23.7%
未回答	3	0.5%
合計	634	

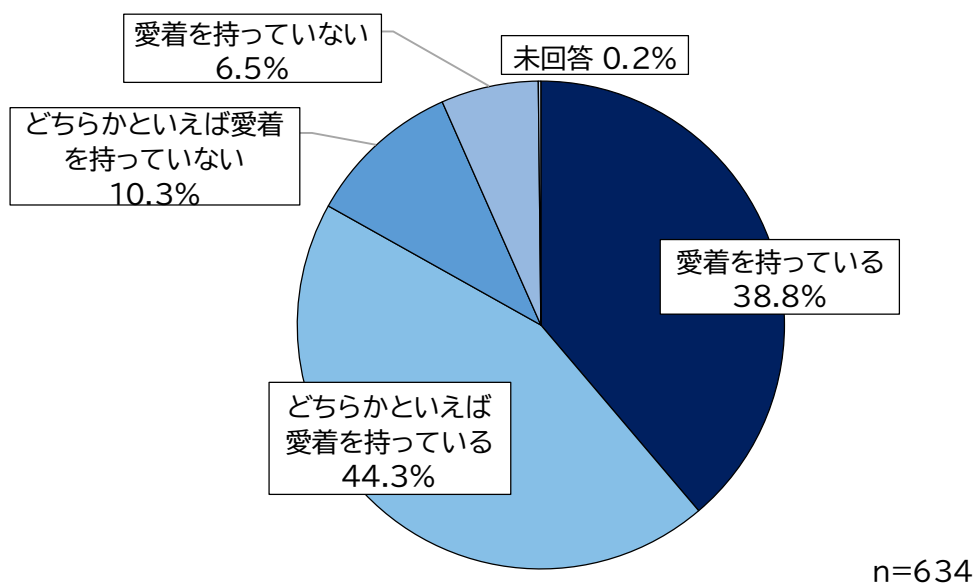
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

■ 意味も含めて知っている ■ 聞いたことはあるが意味は知らなかった
 ■ 知らなかった ■ 未回答





●問 22 あなたは、多摩川に対して愛着を持っていますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)

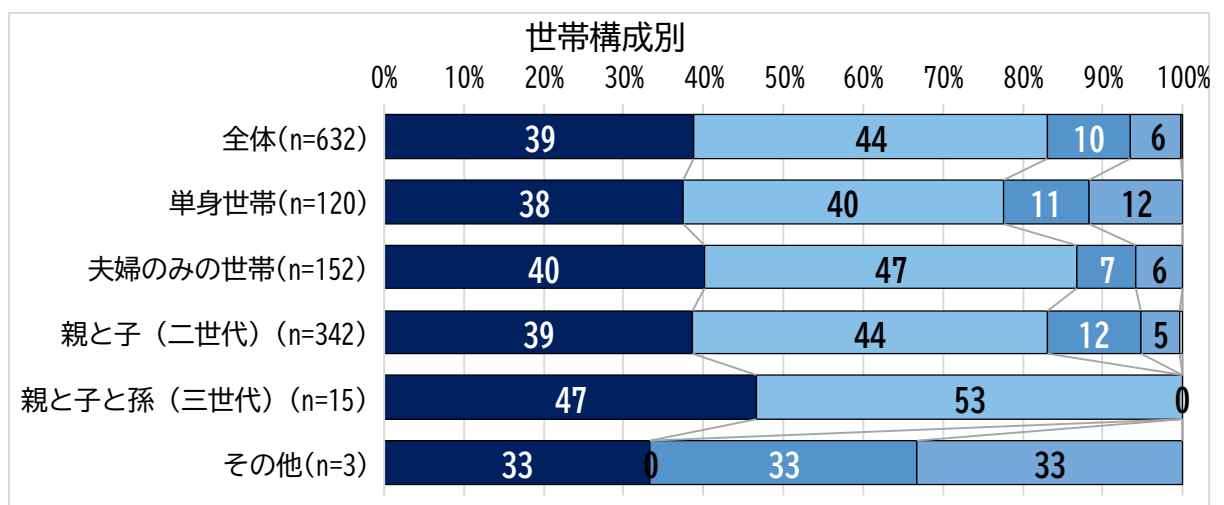
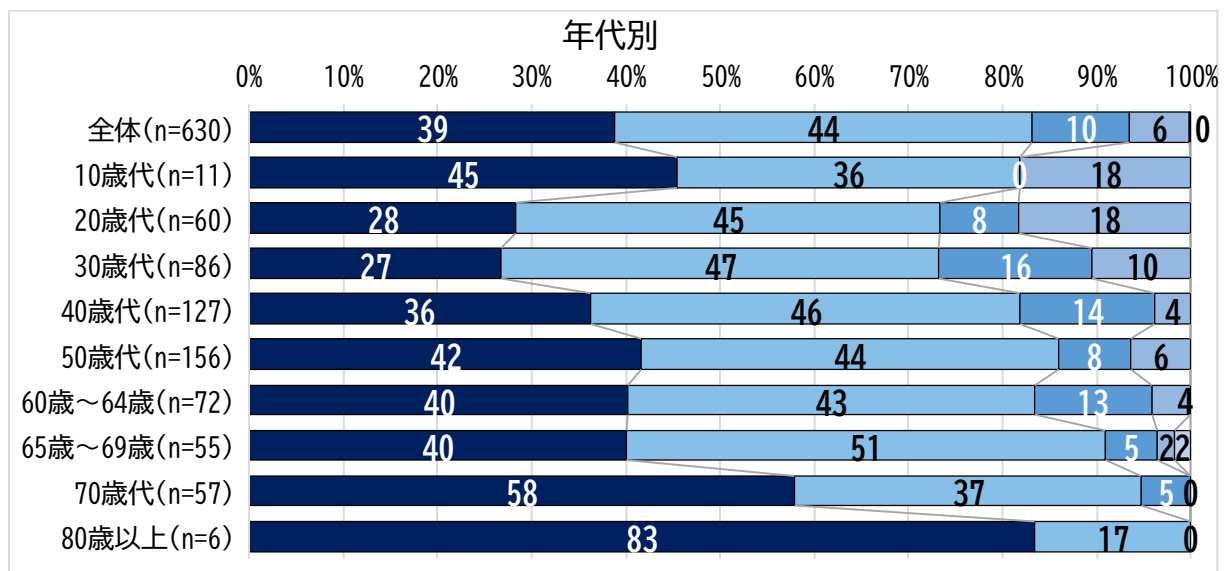
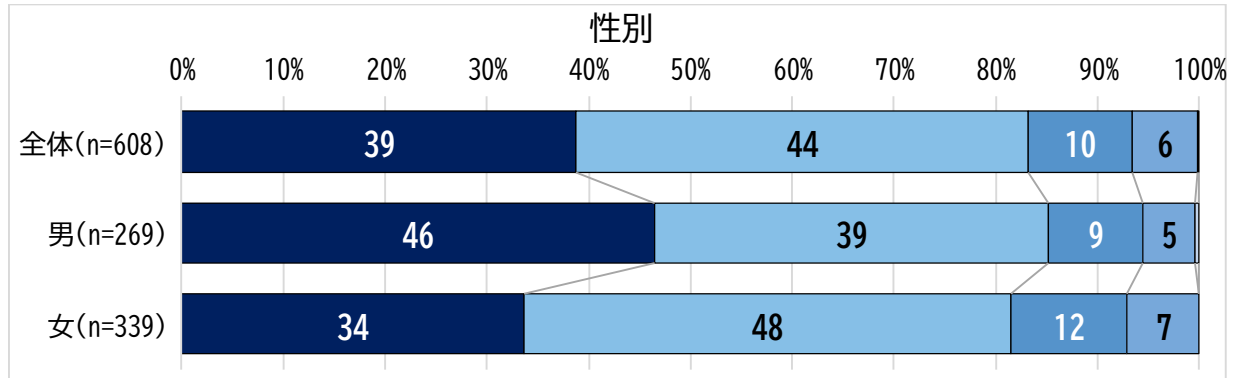


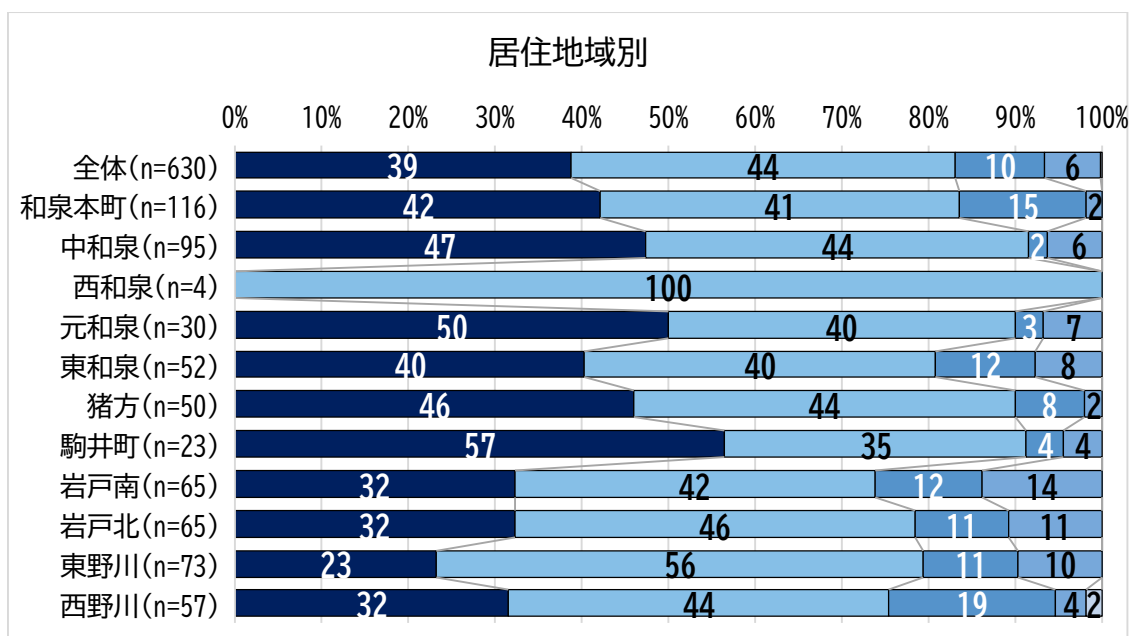
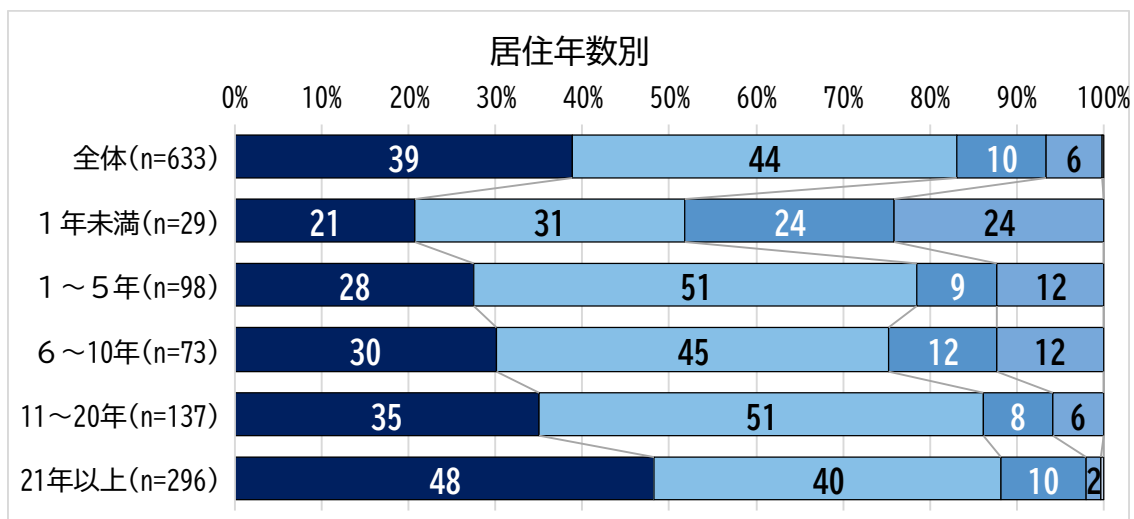
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
愛着を持っている	246	38.8%
どちらかといえば愛着を持っている	281	44.3%
どちらかといえば愛着を持っていない	65	10.3%
愛着を持っていない	41	6.5%
未回答	1	0.2%
合計	634	

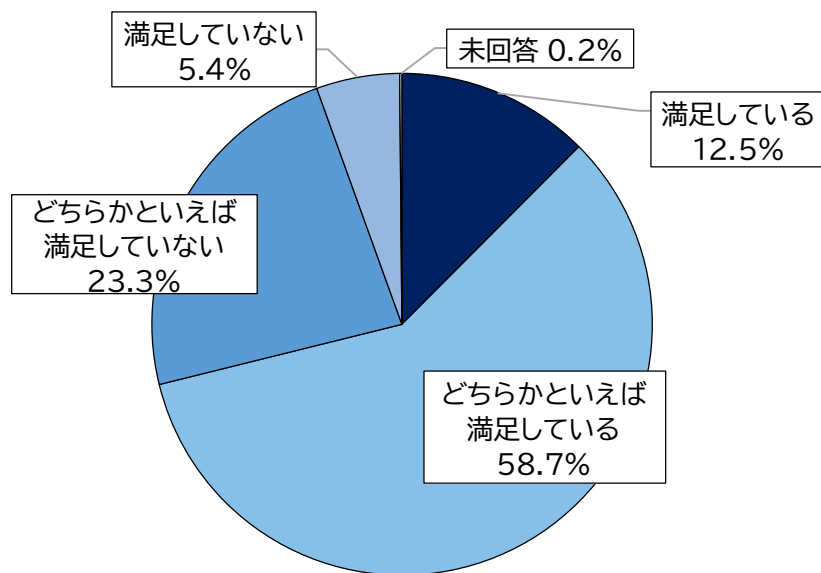
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

- 愛着を持っている
- どちらかといえば愛着を持っている
- どちらかといえば愛着を持っていない
- 愛着を持っていない
- 未回答





●問 23 あなたは多摩川河川敷の整備や活用などに対して満足していますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)

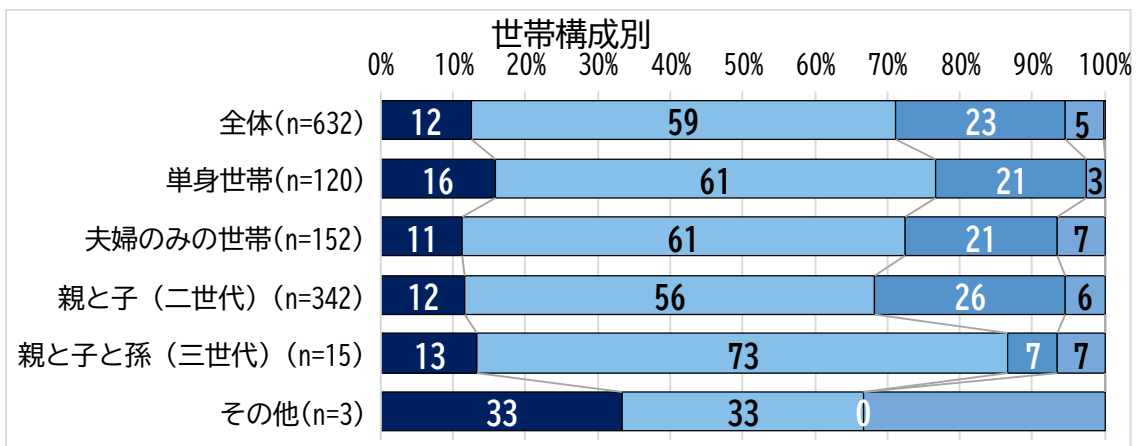
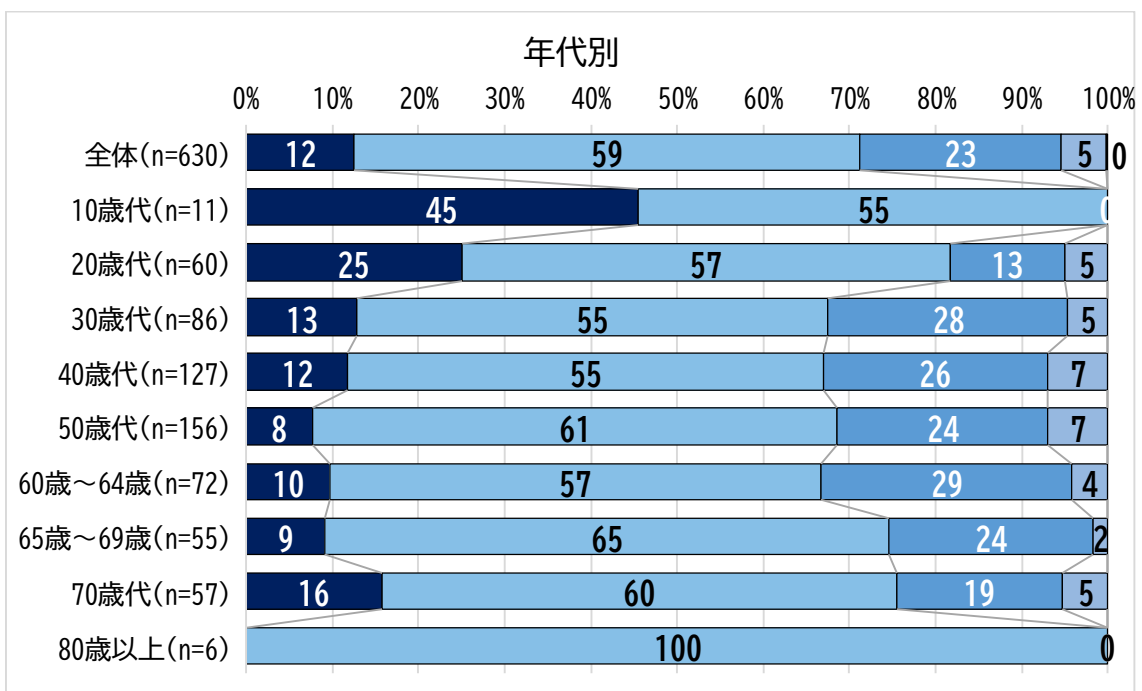
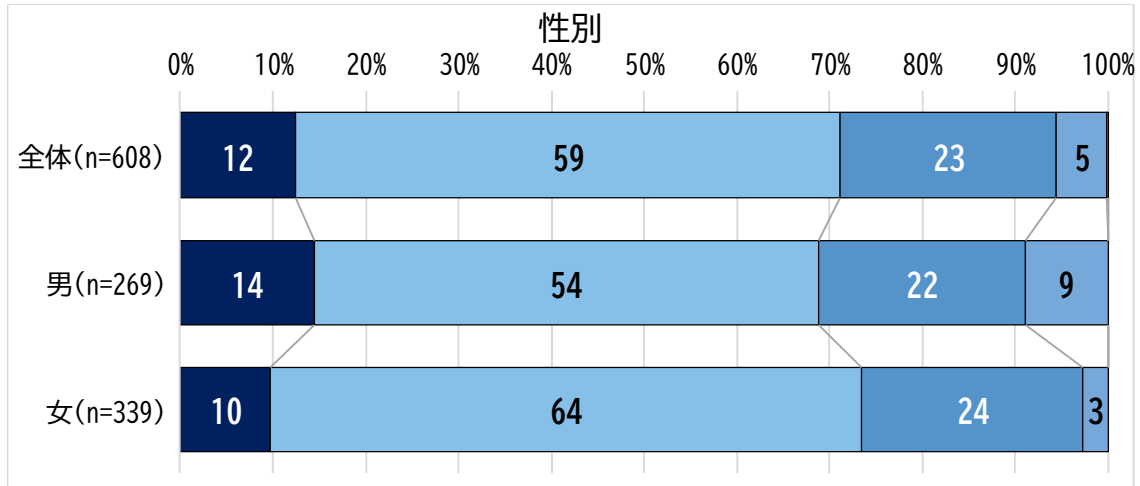
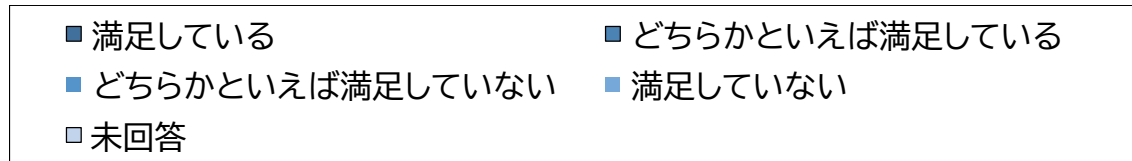


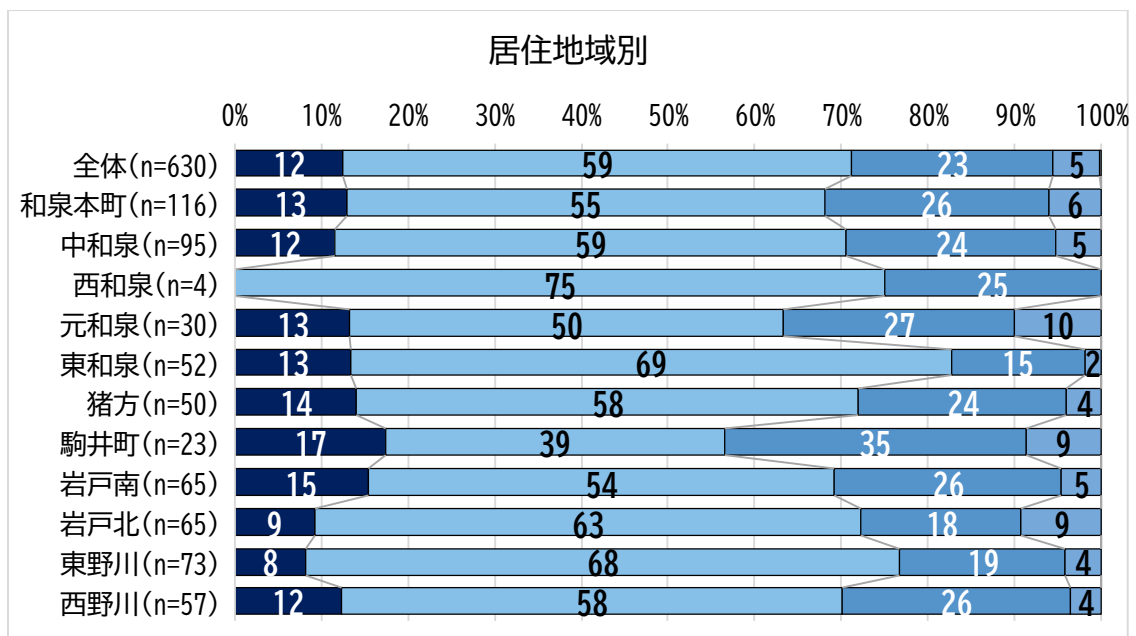
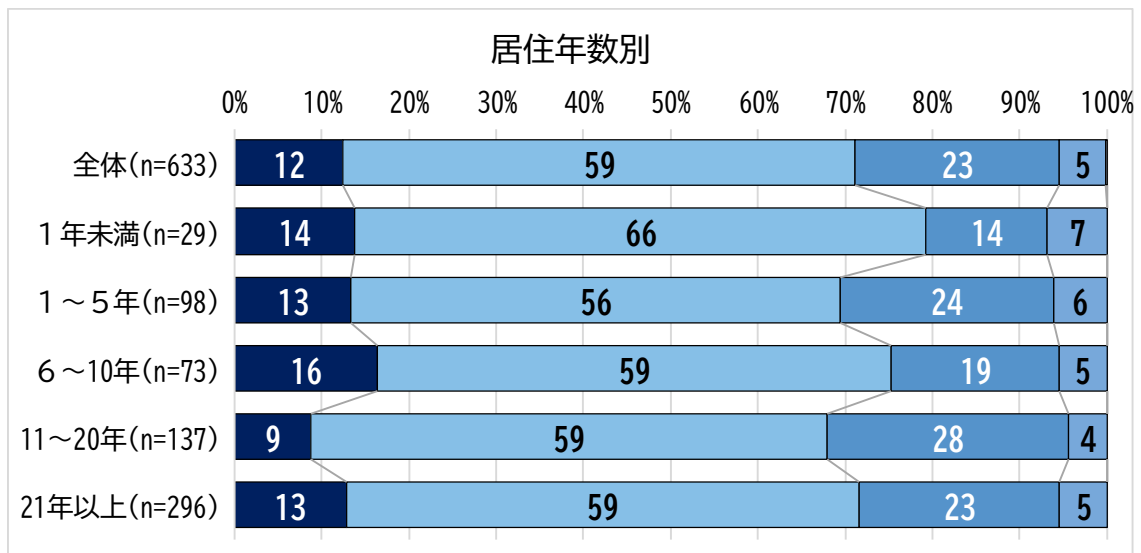
n=634

■回答数及び構成比

	回答数	構成比
満足している	79	12.5%
どちらかといえば満足している	372	58.7%
どちらかといえば満足していない	148	23.3%
満足していない	34	5.4%
未回答	1	0.2%
合計	634	

■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)



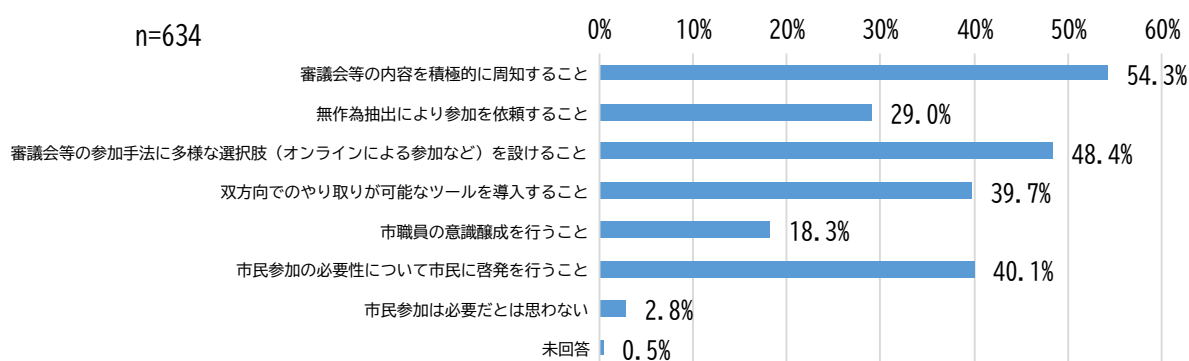


● 市民参加・協働について

●問 24 あなたは、行政活動に市民の意見を反映する場(審議会・委員会・パブリックコメント等)に、より多くの市民が参加するようになるためには何が必要だと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください。)

より多くの市民が参加するようになるために必要なものとして最も多い回答は、

「審議会等の内容を積極的に周知すること」で、割合は、**54.3%**



■回答数及び割合

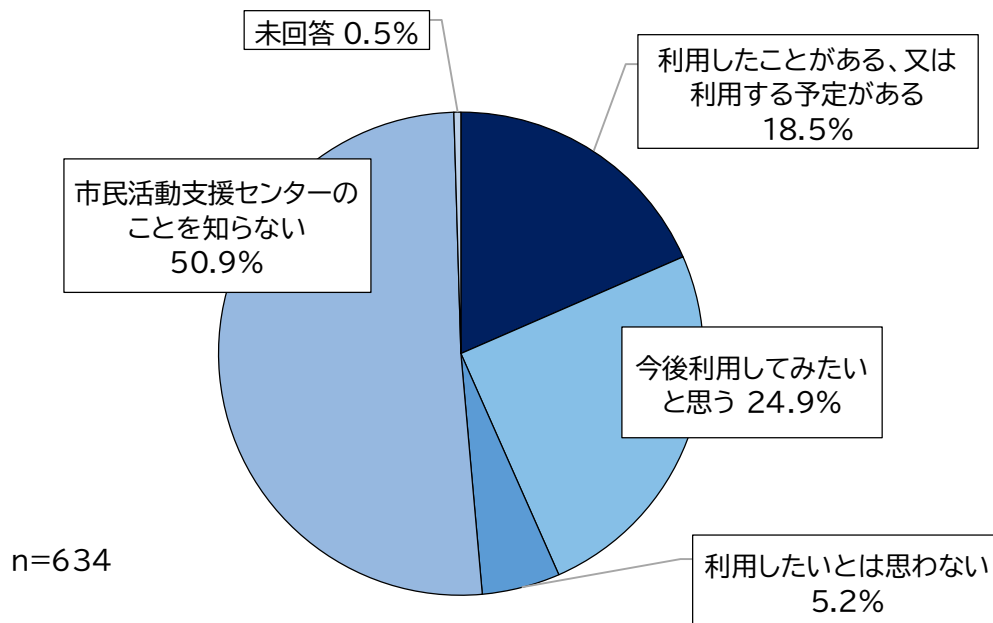
	回答数	割合※
審議会等の内容を積極的に周知すること	344	54.3%
無作為抽出により参加を依頼すること	184	29.0%
審議会等の参加手法に多様な選択肢(オンラインによる参加など)を設けること	307	48.4%
双方向でのやり取りが可能なツールを導入すること	252	39.7%
市職員の意識醸成を行うこと	116	18.3%
市民参加の必要性について市民に啓発を行うこと	254	40.1%
市民参加は必要だとは思わない	18	2.8%
未回答	3	0.5%
合計	1,478	

※回答者合計の 634 人に対する割合

●問 25 あなたは、市民活動支援センター(こまえみらいテラス1階)を利用したことがありますか。(番号を1つ選んで○を付けてください。)

市民活動支援センター(こまえみらいテラス1階)を、

利用したことがある、又は利用する予定がある方は、**18.5%**

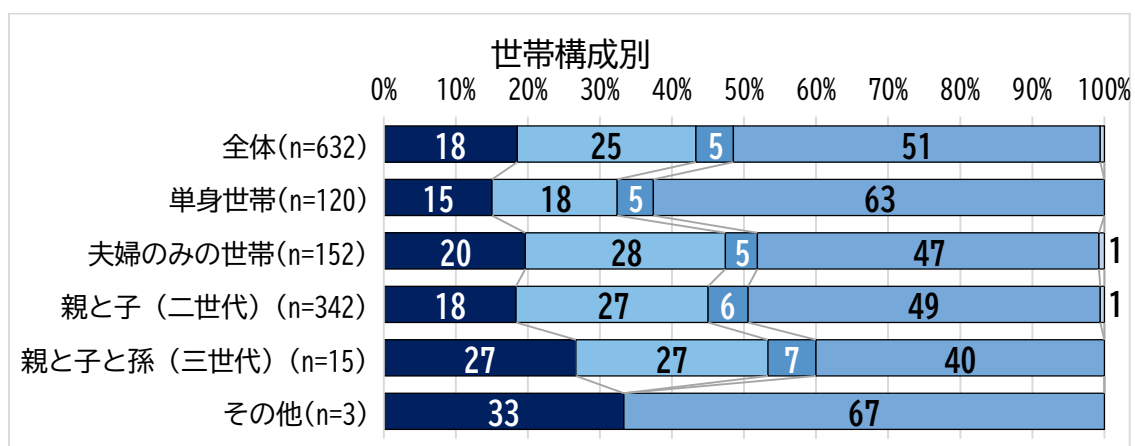
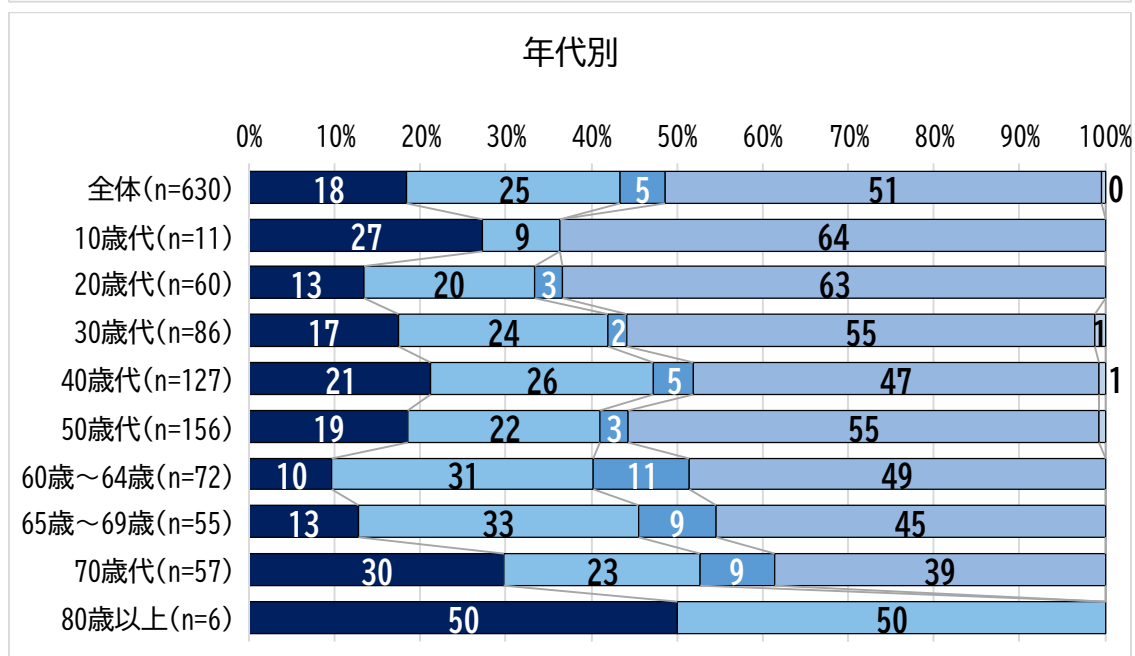
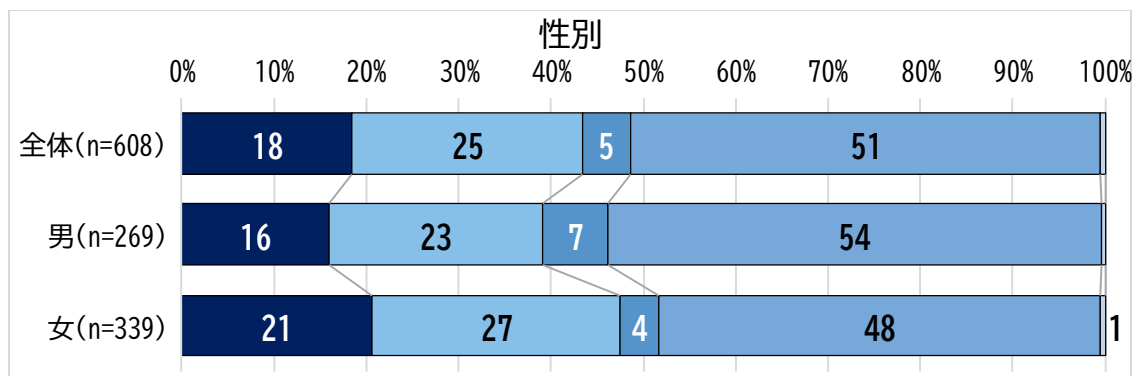


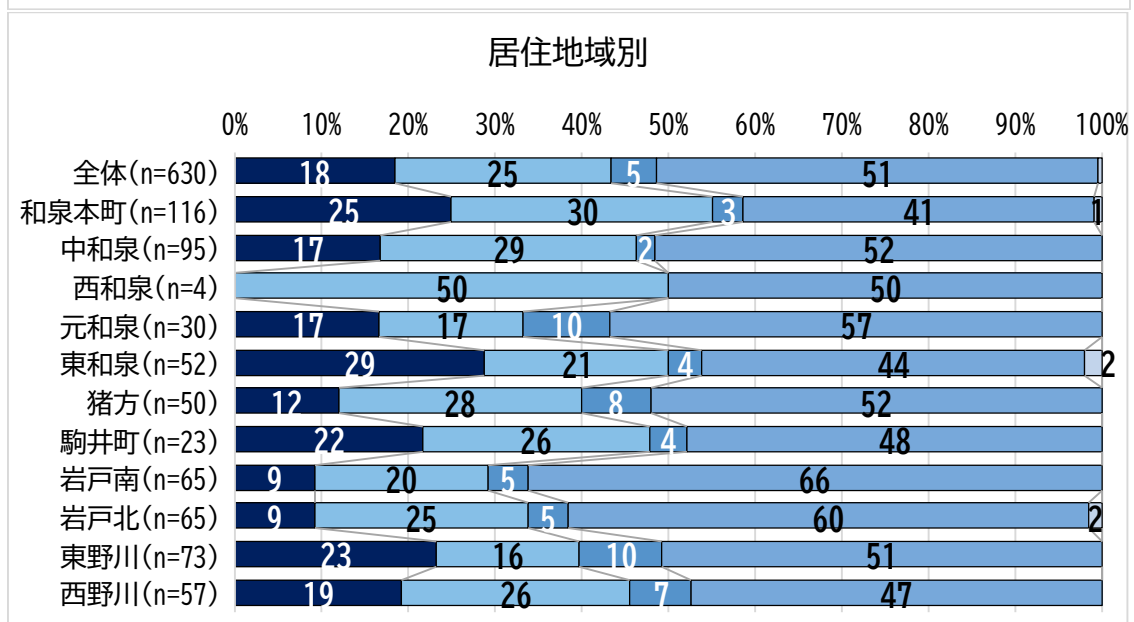
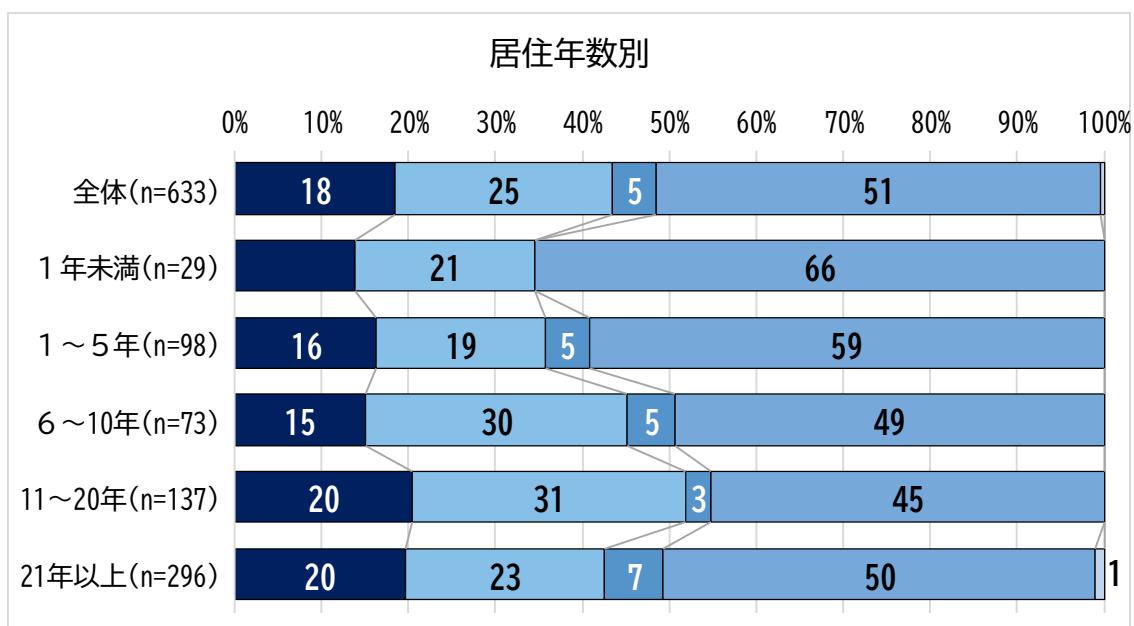
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
利用したことがある、又は利用する予定がある	117	18.5%
今後利用してみたいと思う	158	24.9%
利用したいとは思わない	33	5.2%
市民活動支援センターのことを知らない	323	50.9%
未回答	3	0.5%
合計	634	

■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

- 利用したことがある、又は利用する予定がある
- 今後利用してみたいと思う
- 利用したいとは思わない
- 市民活動支援センターのことを知らない
- 未回答

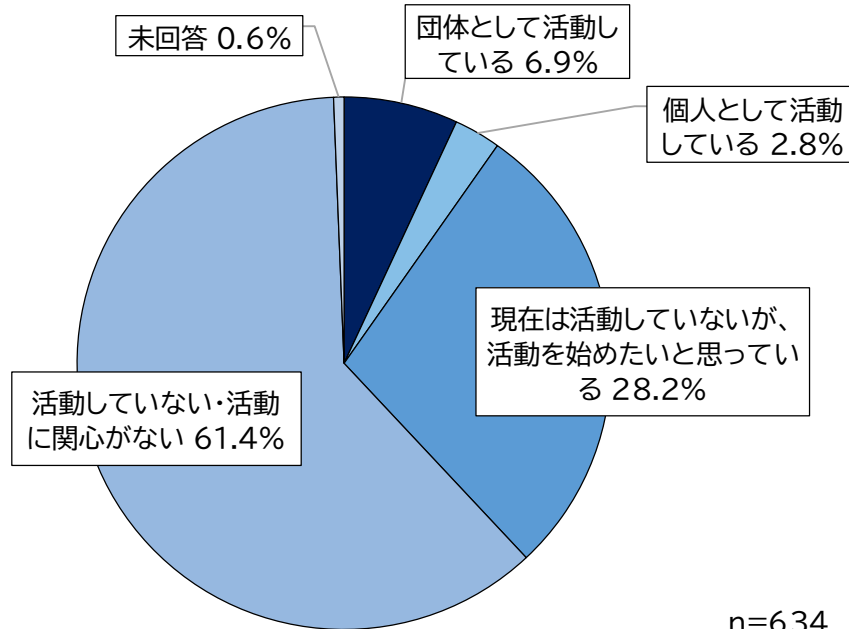




●問 26 あなたは、現在市民活動※(ボランティアを含む)を行っていますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)

現在市民活動を行っている割合は、**9.8%**

(「団体として活動している」、「個人として活動している」の回答数の合計の割合)



※市民活動とは

地域のさまざまな課題解決や地域コミュニティなどを推進するための自主的・自発的な活動のことをいいます。(例: 福祉施設等への支援活動、子育て支援活動、外国人への支援活動等)

■回答数及び構成比

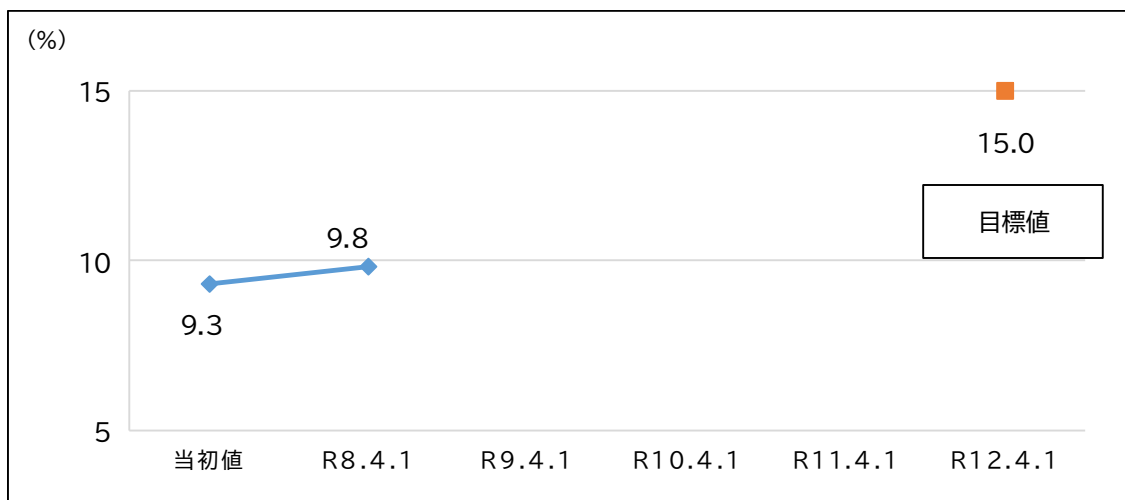
	回答数	構成比
団体として活動している	44	6.9%
個人として活動している	18	2.8%
現在は活動していないが、活動を始めたいと思っている	179	28.2%
活動していない・活動に関心がない	389	61.4%
未回答	4	0.6%
合計	634	

■施策指標

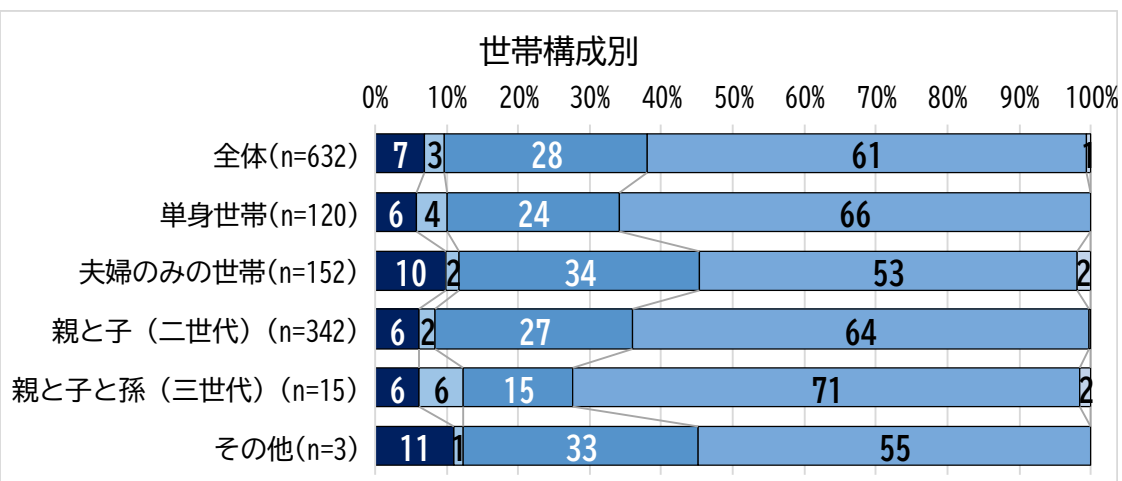
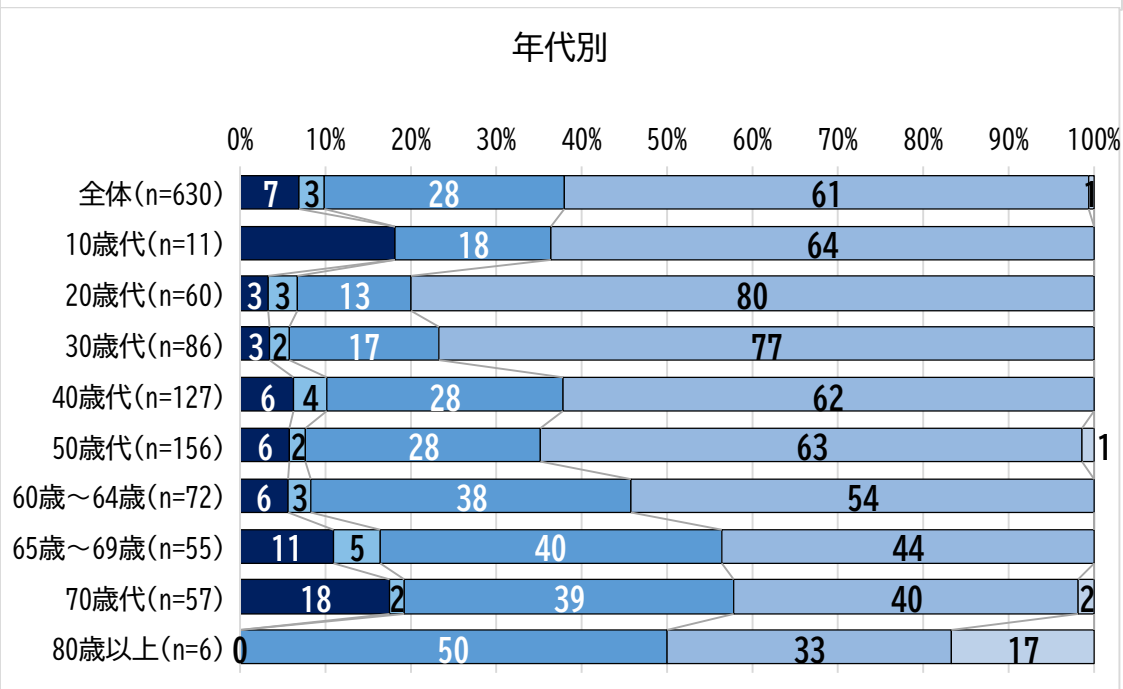
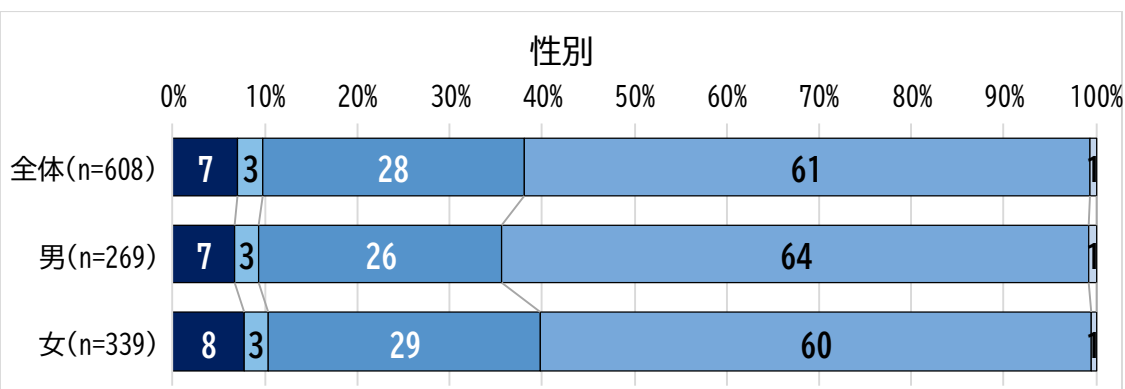
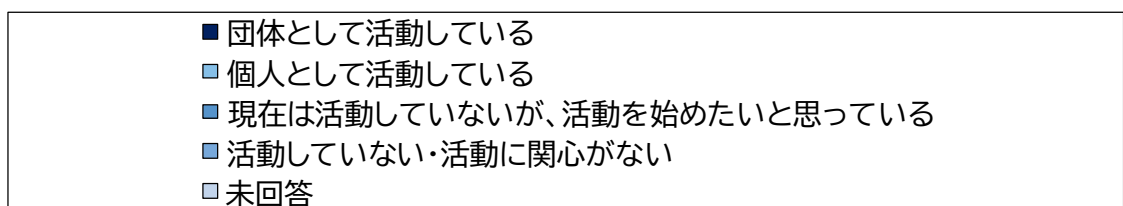
施策	1-②「市民参加・市民協働の推進」
目指す姿	多くの市民が市政に興味を持ち、まちづくりに主体的に参加することで、狛江に愛着を持って暮らしています。また、市民や団体等と行政による適切な役割分担のもと、協働してまちづくりを進めています。
指標	市民活動*を行っている市民の割合(%)は、 9.8% (「団体として活動している」、「個人として活動している」の回答数の合計の割合)

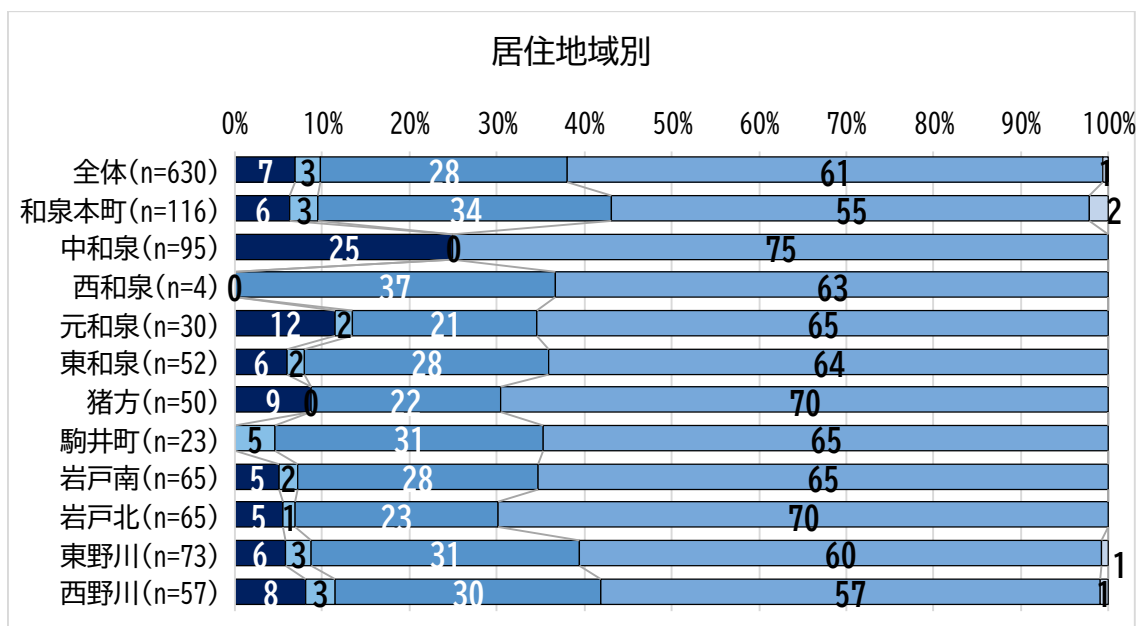
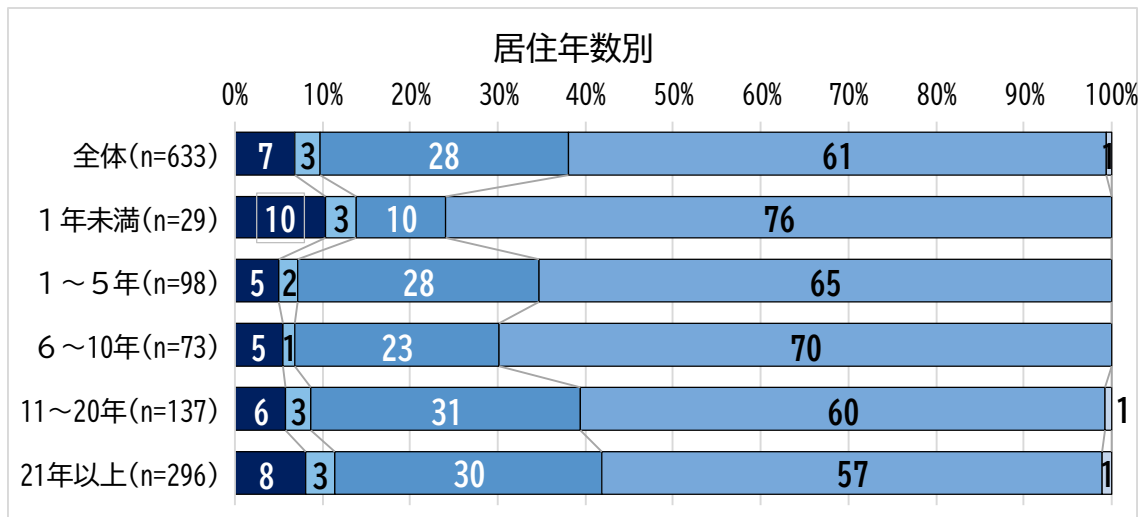
*地域の様々な課題解決や地域コミュニティ等を推進するための自主的・自発的な活動のことをいいます。(例:福祉施設等への支援活動、子育て支援活動、外国人への支援活動等)

■施策指標の推移



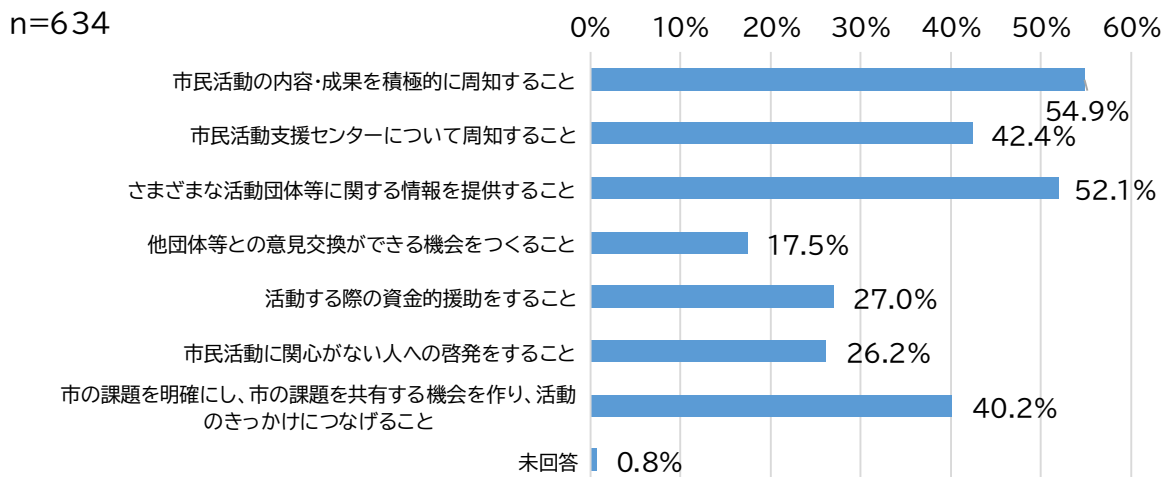
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)





●問 27 あなたは、より多くの市民が市民活動(ボランティアを含む)に参加するようになるためには何が必要だと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください。)

より多くの市民が市民活動に参加するために必要なこととして最も多い回答は、
「市民活動の内容・成果を積極的に周知すること」で、割合は、**54.9%**

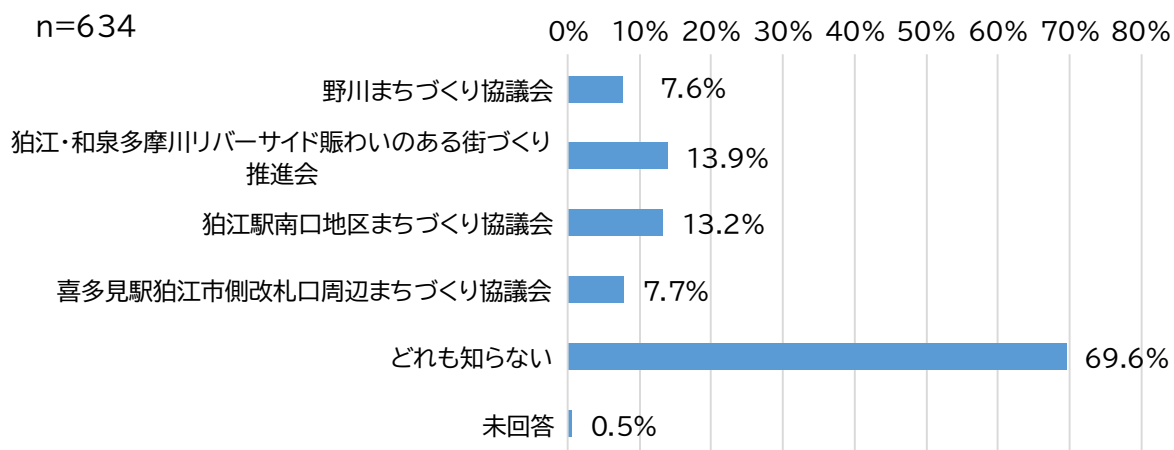


■回答数及び割合

	回答数	割合※
市民活動の内容・成果を積極的に周知すること	348	54.9%
市民活動支援センターについて周知すること	269	42.4%
さまざまな活動団体等に関する情報を提供すること	330	52.1%
他団体等との意見交換ができる機会をつくること	111	17.5%
活動する際の資金的援助をすること	171	27.0%
市民活動に関心がない人への啓発をすること	166	26.2%
市の課題を明確にし、市の課題を共有する機会を作り、活動のきっかけにつなげること	255	40.2%
未回答	5	0.8%
合計	1,655	

※回答者合計の 634 人に対する割合

●問 28 狛江市では狛江市まちづくり条例に基づき地区まちづくり協議会を認定しています。現在、市内で活動している地区まちづくり協議会について、認知しているものを選択してください。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください。)



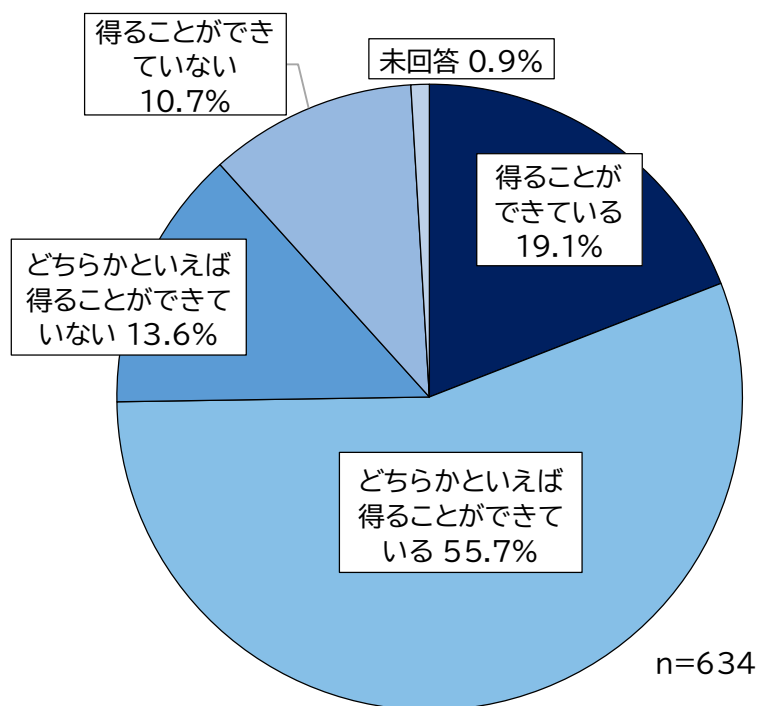
■回答数及び割合

	回答数	割合※
野川まちづくり協議会	48	7.6%
狛江・和泉多摩川リバーサイド賑わいのある街づくり推進会	88	13.9%
狛江駅南口地区まちづくり協議会	84	13.2%
喜多見駅狛江市側改札口周辺まちづくり協議会	49	7.7%
どれも知らない	441	69.6%
未回答	3	0.5%
合計	713	

※回答者合計の 634 人に対する割合

● 狛江市役所について

- 問 29－1 あなたは、必要とする市政情報について、広報こまえや市ホームページ、市 X(旧ツイッター)等でいつでも得ることができていると感じていますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)

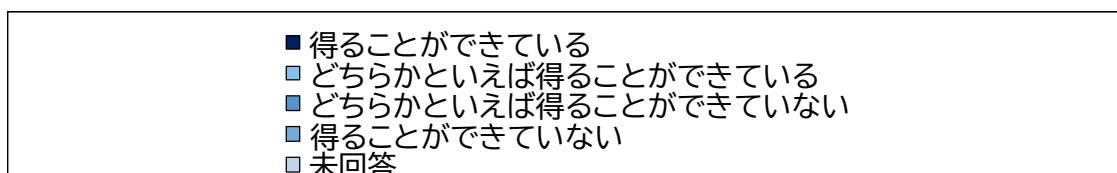
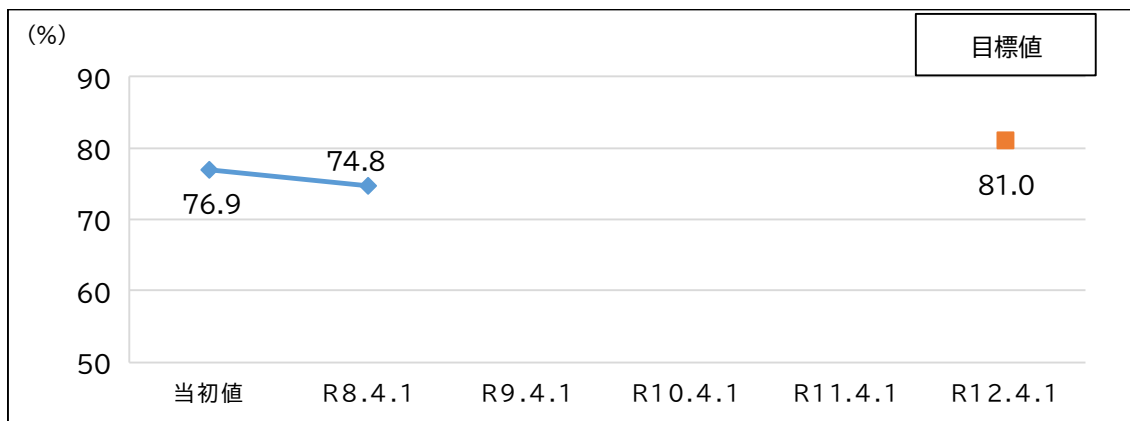


■回答数及び構成比

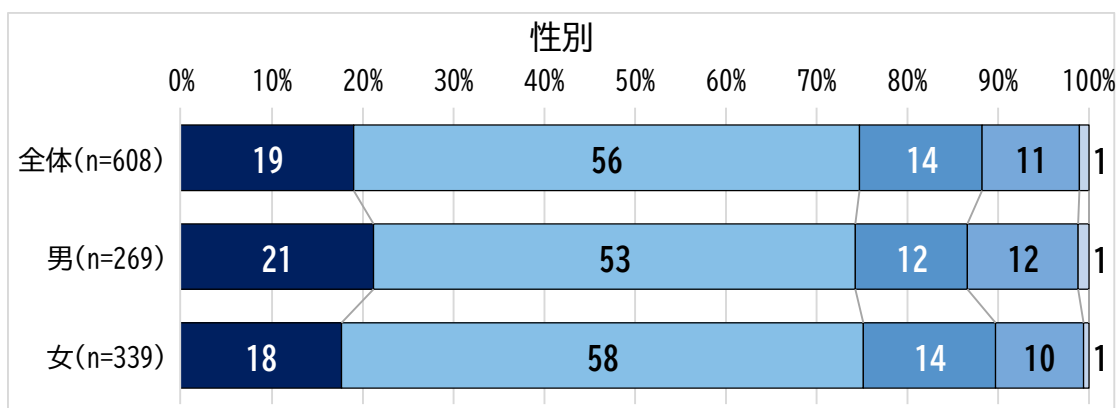
	回答数	構成比
得ることができている	121	19.1%
どちらかといえば得ることができている	353	55.7%
どちらかといえば得ることができていない	86	13.6%
得ることができていない	68	10.7%
未回答	6	0.9%
合計	634	

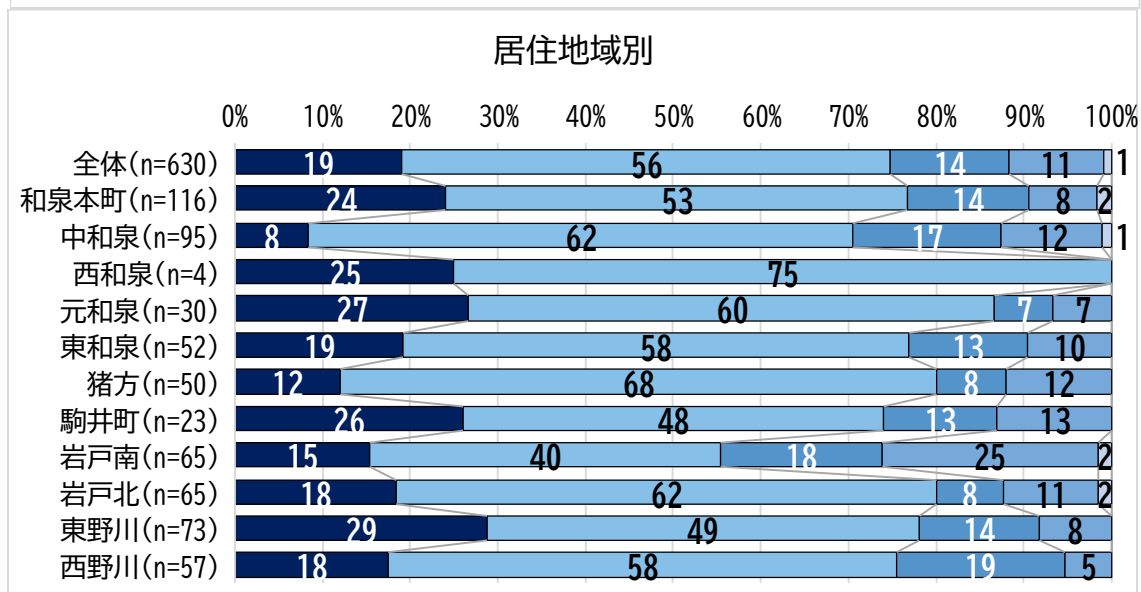
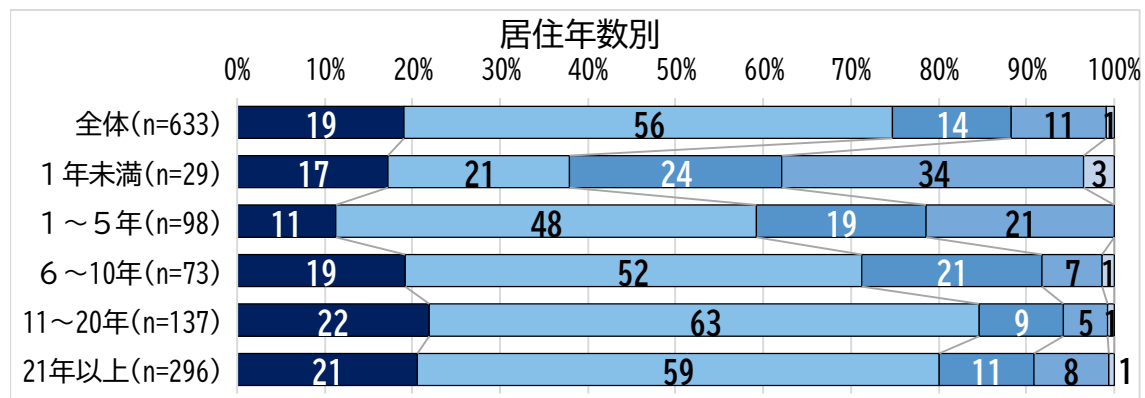
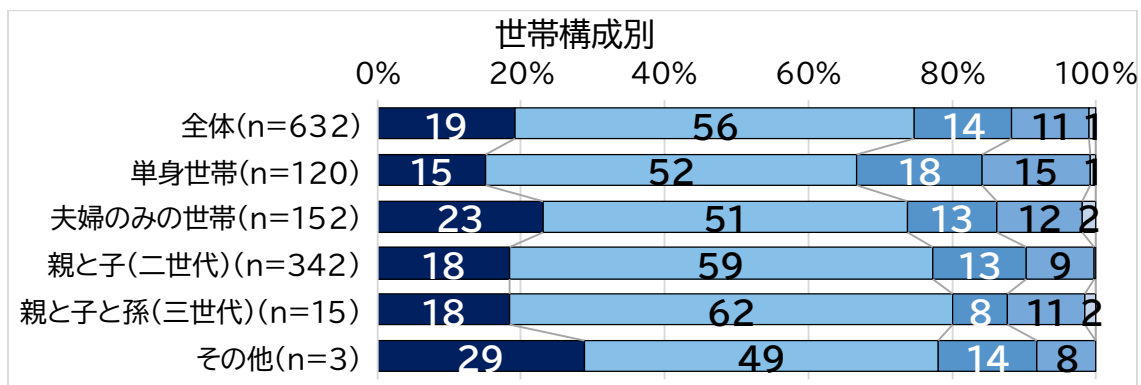
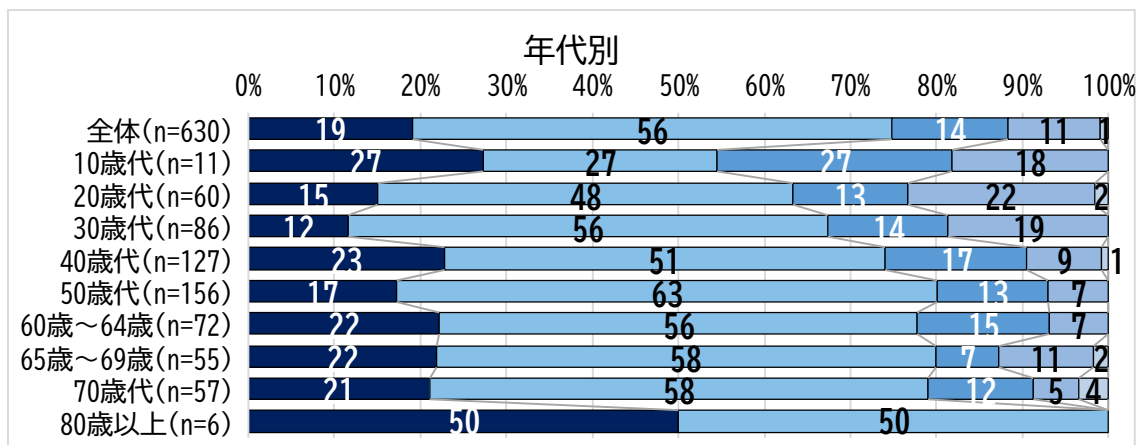
施策	1-③「市政情報の共有」
目指す姿	分かりやすい情報発信等により、誰もが市政情報を入手しやすい環境が整っています。また、行政運営の透明性が確保されていることで、市民と市が市政情報を共有し、市民の声を市政に反映できる市民参加・市民協働によるまちづくりが進んでいます。
指標	必要とする市政情報をいつでも得ることができていると感じる 市民の割合(%)は、74.8% (「得ることができている」、「どちらかといえば得ることができている」の回答数の合計の割合)

■施策指標の推移



■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

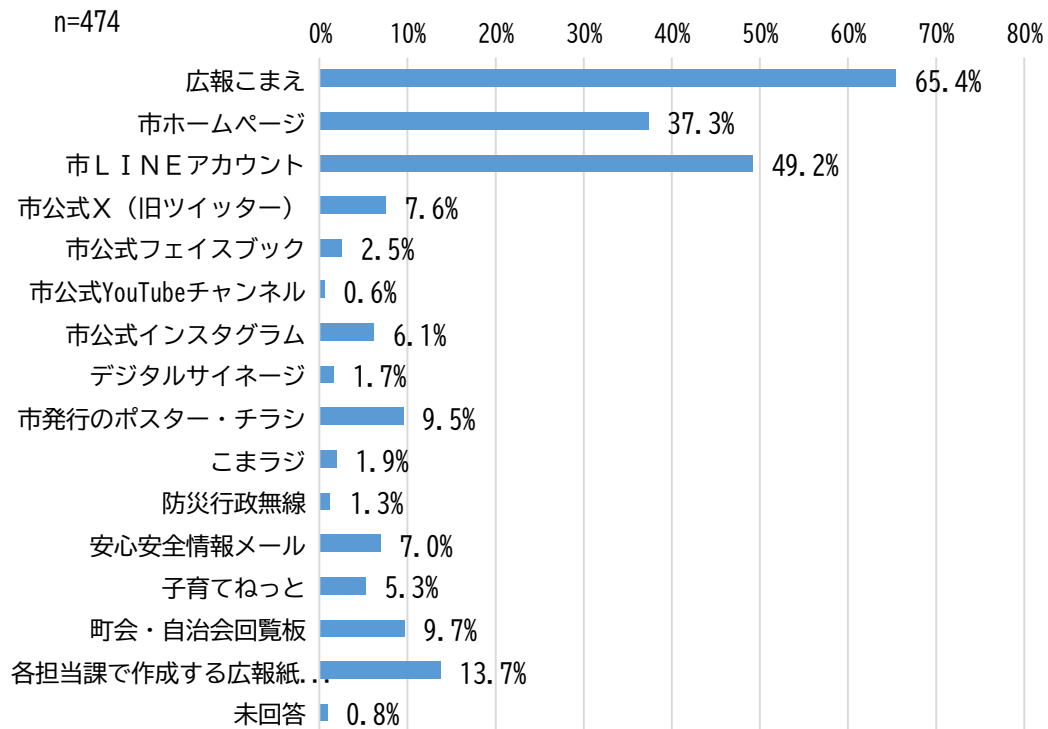




※問29-1で「得ることができている」又は「どちらかといえば得ることができている」を選択した方へお聞きします。

●問29-2 主に何で情報を得ますか。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください。)

市政情報を得る手段として最も多い回答は「広報こまえ」で、割合(%)は **65.4%**



■回答数及び割合

	回答数	割合※
広報こまえ	310	65.4%
市ホームページ	177	37.3%
市 LINE アカウント	233	49.2%
市公式X(旧ツイッター)	36	7.6%
市公式フェイスブック	12	2.5%
市公式 YouTube チャンネル	3	0.6%
市公式インスタグラム	29	6.1%
デジタルサイネージ	8	1.7%
市発行のポスター・チラシ	45	9.5%
こまラジ	9	1.9%
防災行政無線	6	1.3%
安心安全情報メール	33	7.0%
子育てねっと	25	5.3%
町会・自治会回覧板	46	9.7%
各担当課で作成する広報紙 (わっこ、安心安全通信、こま eco 通信、ガク☆チキ等)	65	13.7%
未回答	4	0.8%
合計	1,041	

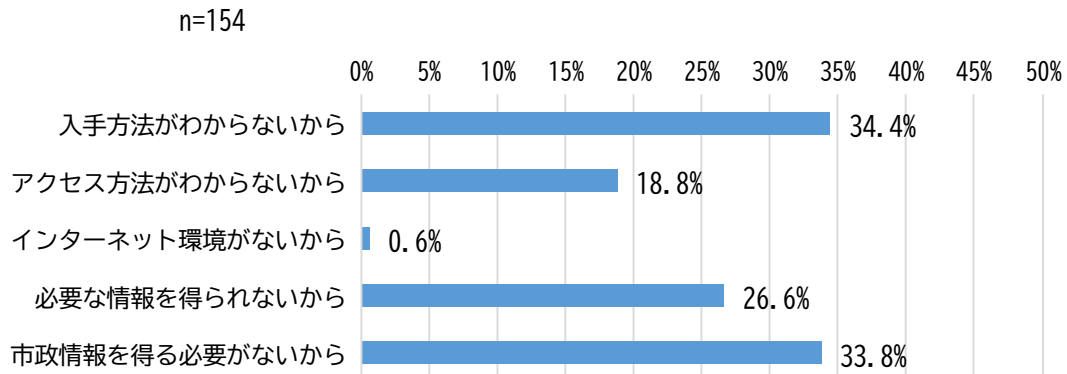
※問 29-1 で「得ることができている」又は「どちらかといえば得ることができている」と回答した 474 人に対する割合

※問 29-1で「得ることができていない」又は「どちらかといえば得ることができていない」を選択した方へお聞きします。

●問 29-3 情報を得ることができていないと感じる理由を教えてください。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください。)

市政情報を得ることができていない方の中で、情報を入手できない理由の

最も多い回答は「入手方法がわからないから」で、割合は **34.4%**

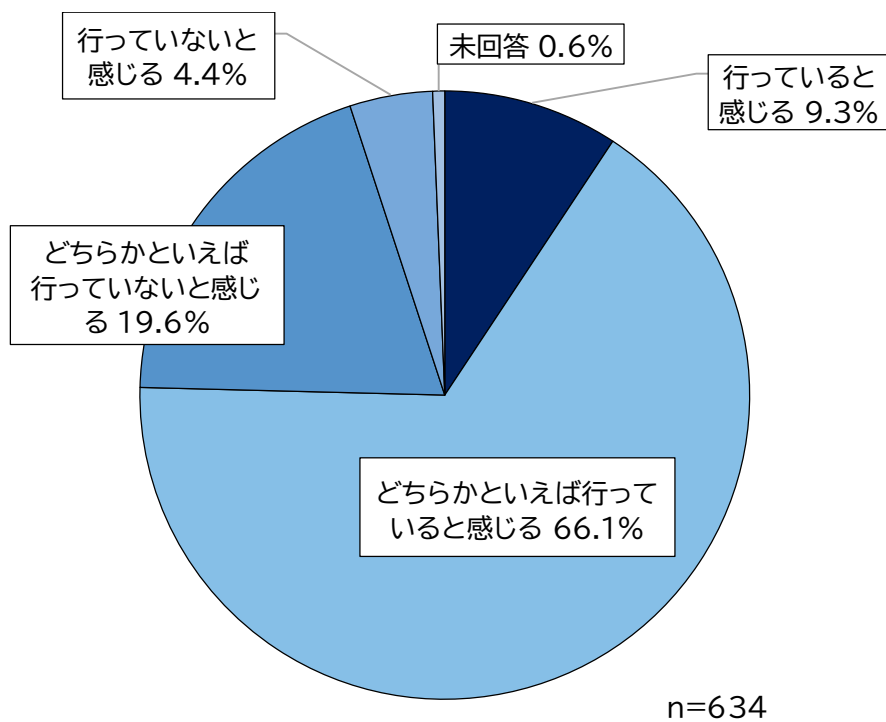


■回答数及び割合

	回答数	割合※
入手方法がわからないから	53	34.4%
アクセス方法がわからないから	29	18.8%
インターネット環境がないから	1	0.6%
必要な情報を得られないから	41	26.6%
市政情報を得る必要がないから	52	33.8%
未回答	10	6.5%
合計	186	

※問 28-1で「得ることができていない」又は「どちらかといえば得ることができていない」と回答した 154 人に対する割合

●問 30 あなたは、狛江市役所が質の高い行政運営を行っていると感じていますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



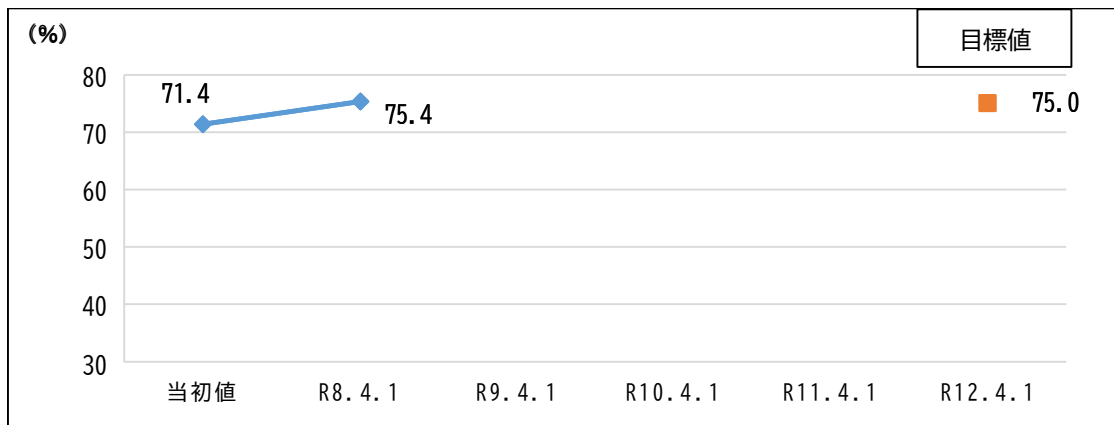
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
行っていると感じる	59	9.3%
どちらかといえば行っていると感じる	419	66.1%
どちらかといえば行っていないと感じる	124	19.6%
行っていないと感じる	28	4.4%
未回答	4	0.6%
合計	634	

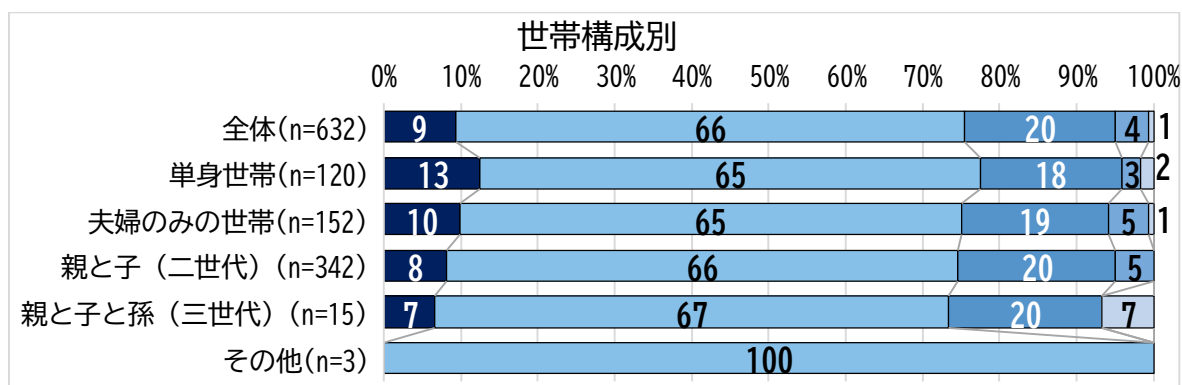
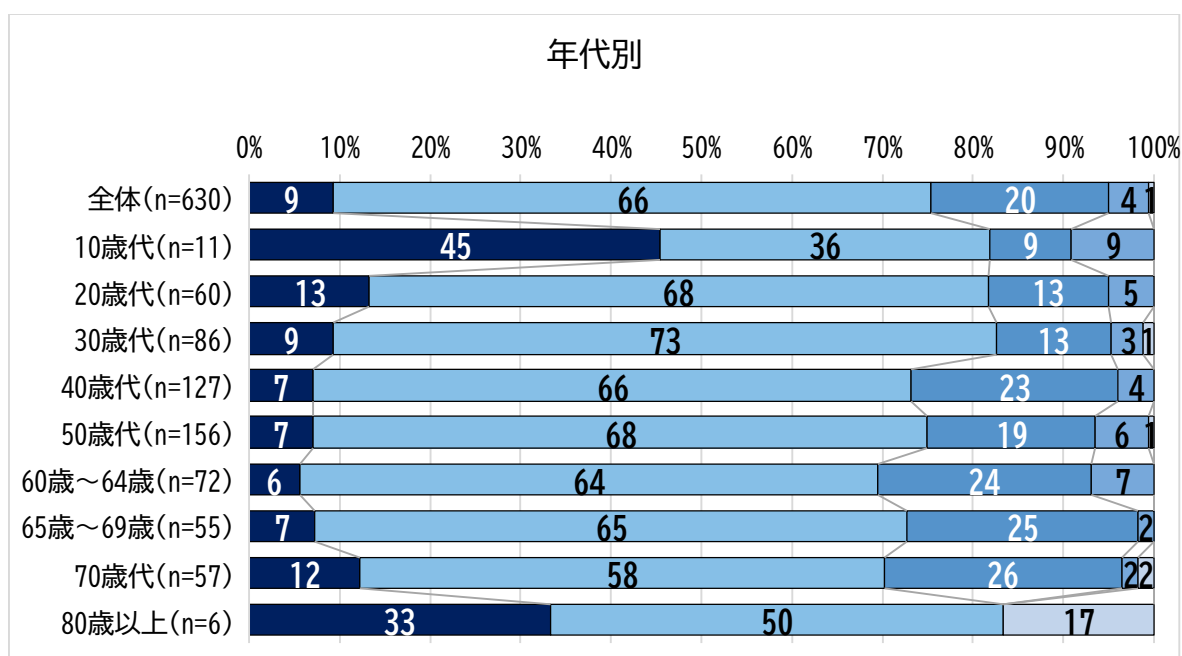
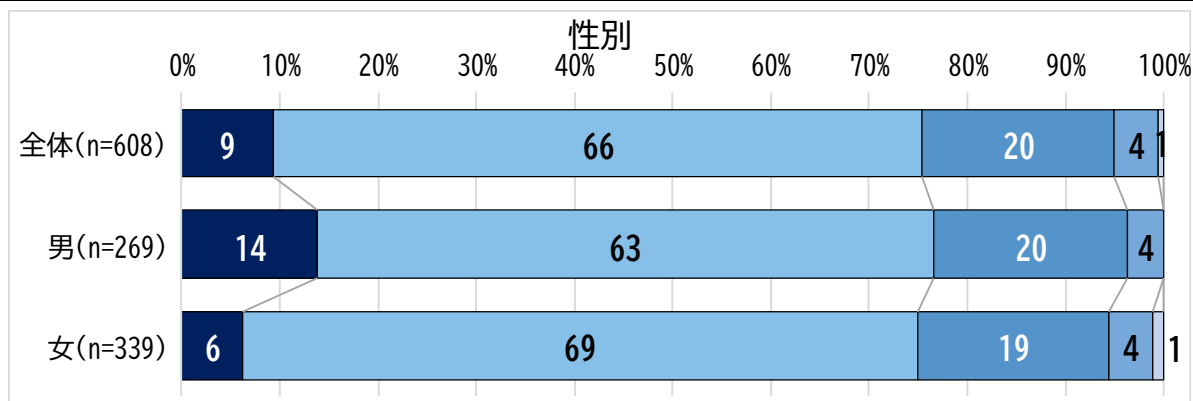
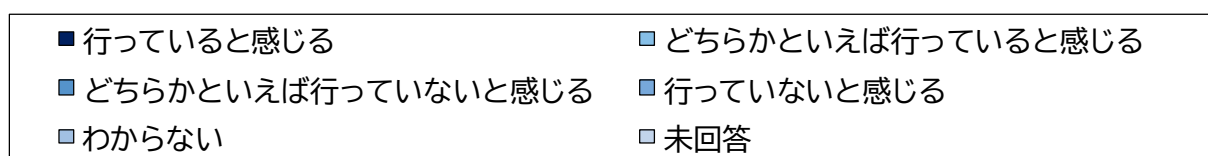
■施策指標

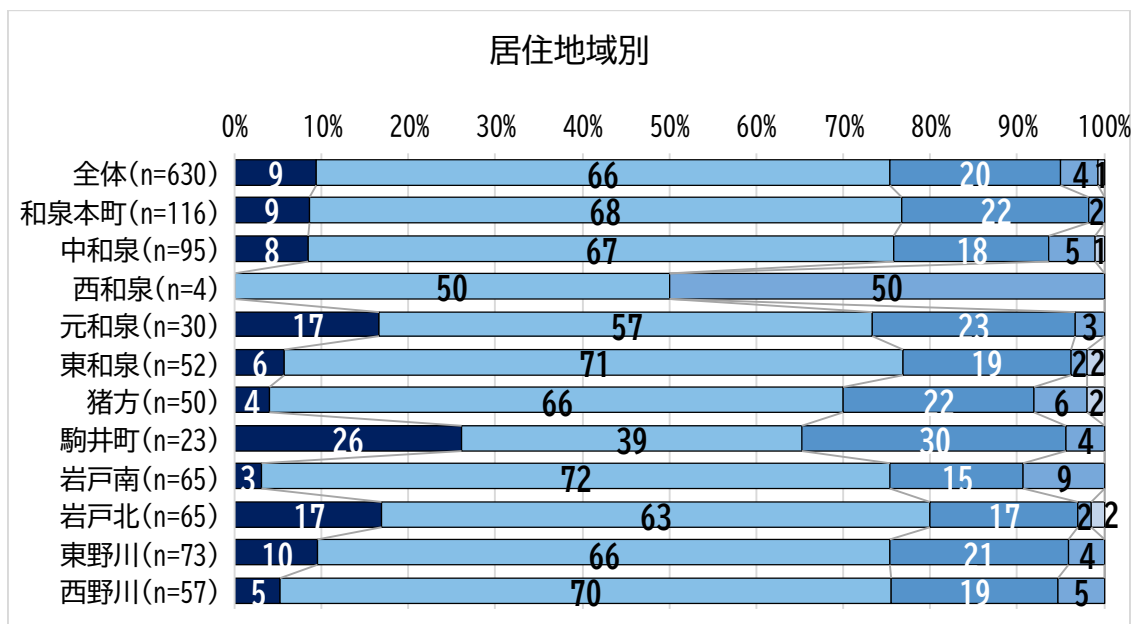
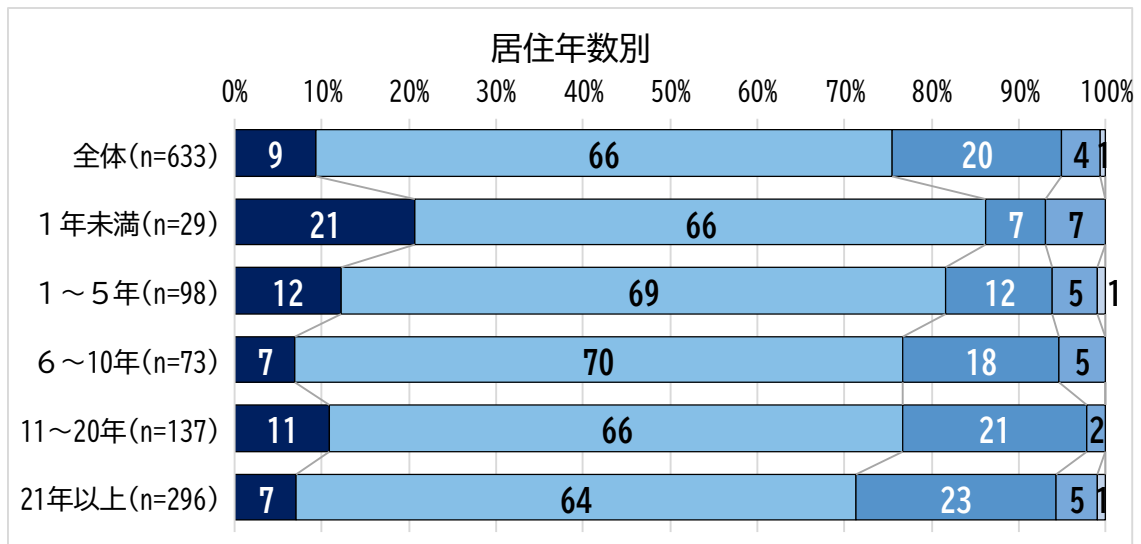
施策	8-①「質の高い行政運営の推進」
目指す姿	市民サービスが安定的に提供されているとともに、施策・事務事業が組織横断的かつ、効率的・効果的に実施されていることで、質の高い行政運営が行われています。
指 標	質の高い行政運営が行われていると感じている 市民の割合(%)は、75.4% (「行っていると感じる」、「どちらかといえば行っていると感じる」の回答数の合計の割合)

■施策指標の推移

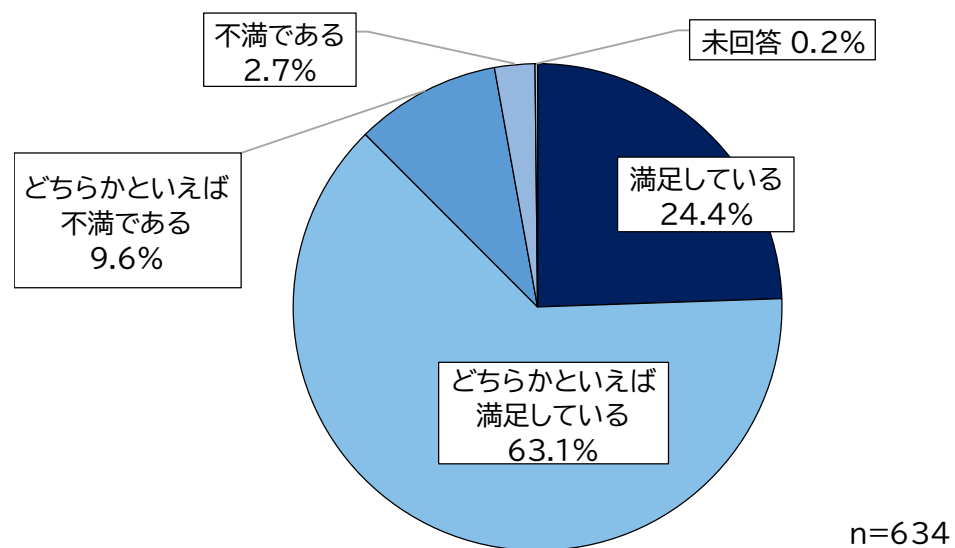


■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)





●問 31 あなたは、狛江市役所職員の対応(窓口や電話等)に満足していますか。
(番号を1つ選んで○を付けてください。)



■回答数及び構成比

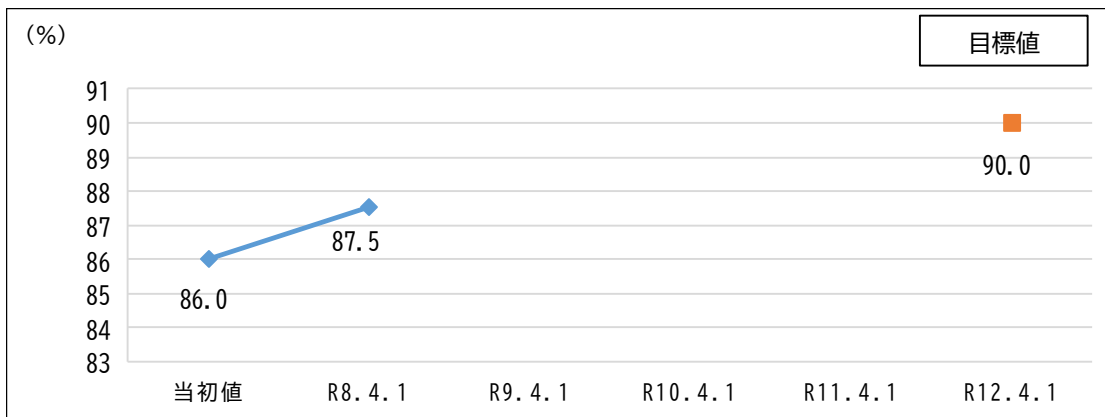
	回答数	構成比
満足している	155	24.4%
どちらかといえば満足している	400	63.1%
どちらかといえば不満である	61	9.6%
不満である	17	2.7%
未回答	1	0.2%
合計	634	

■施策指標

施策	8-③「組織づくり・人財育成の推進」
目指す姿	職員が仕事と生活を両立させ、ワークライフバランス*を実現するとともに、互いの多様性を認め合うことで、安心して働くことができ、組織と職員の信頼関係の高い職場になっています。それにより、多様化・複雑化する市民ニーズや行政課題に対し、組織横断的に対応することで、市民に信頼される市役所になっています。
指 標	職員の対応に対する市民の満足度(%)は、 87.5% (「満足している」、「どちらかといえば満足している」の回答数の合計の割合)

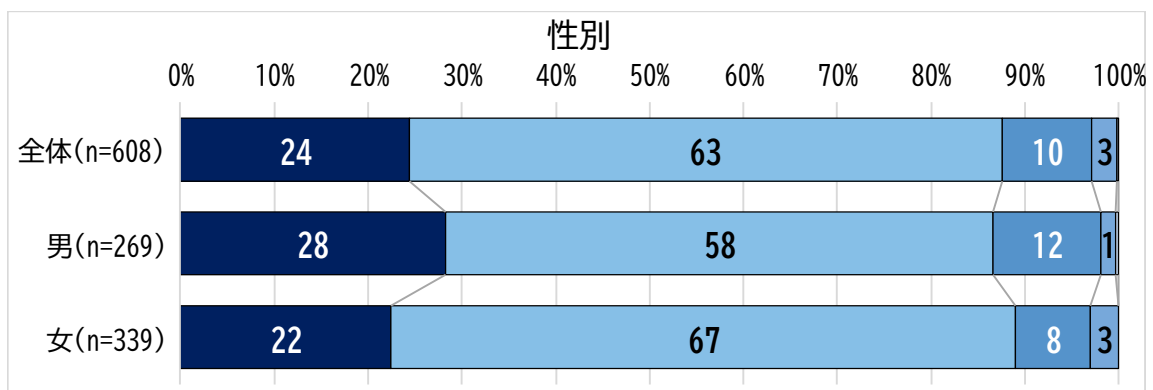
*仕事と生活のバランスがとれた状態のこと

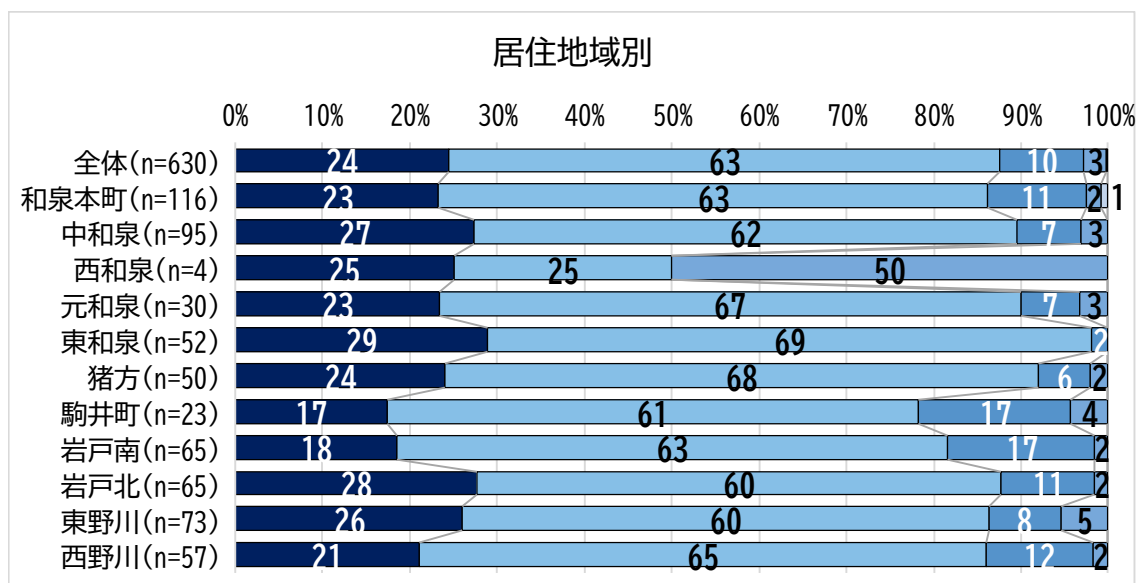
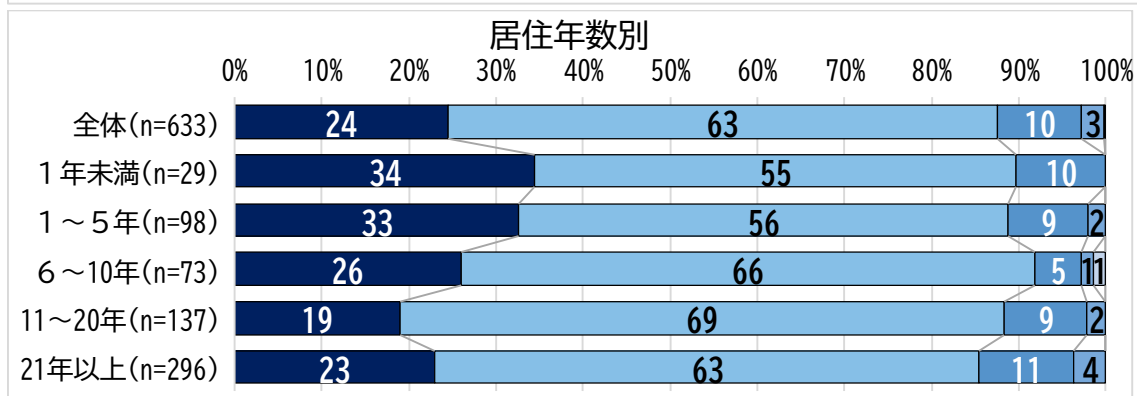
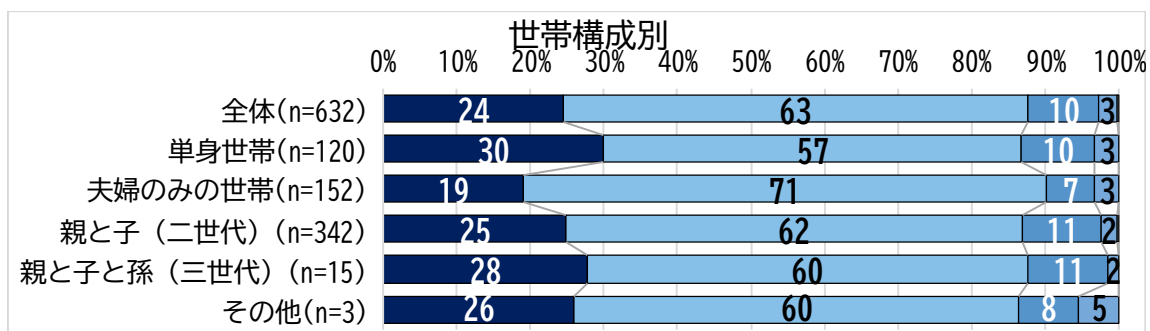
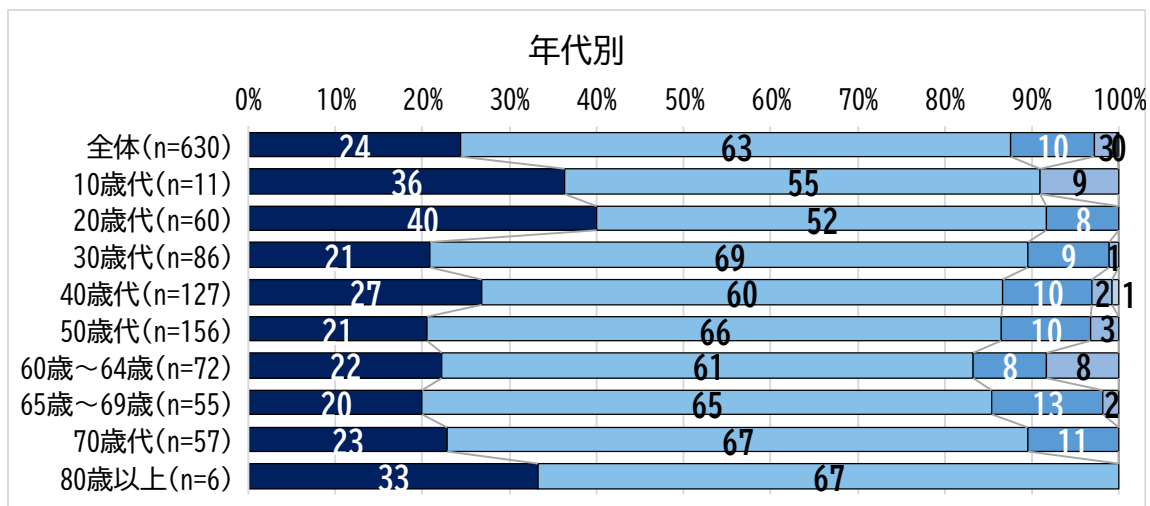
■施策指標の推移



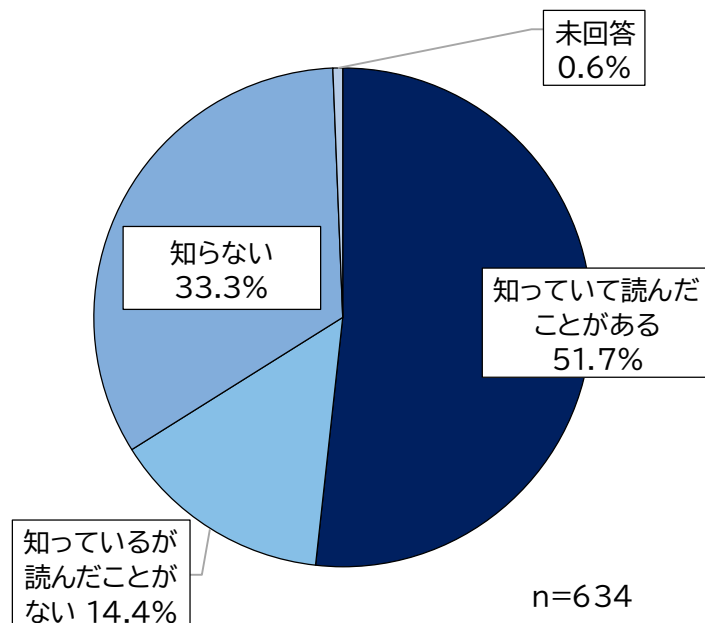
■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住年数、居住地域別)

■ 満足している	■ どちらかといえば満足している
■ どちらかといえば不満である	■ 不満である
■ 未回答	





●問 32 あなたは、年4回発行されている「GG(旧こまえ市議会だより)」を知っていますか。(番号を1つ選んで○を付けてください。)

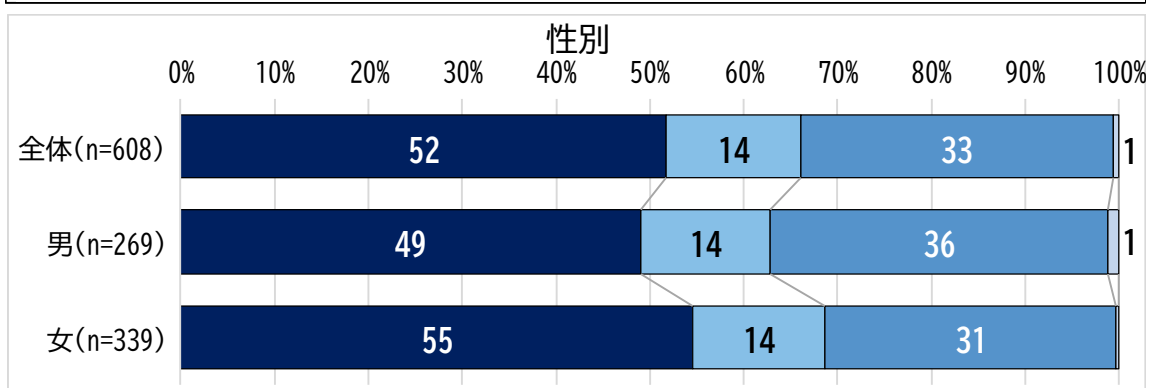


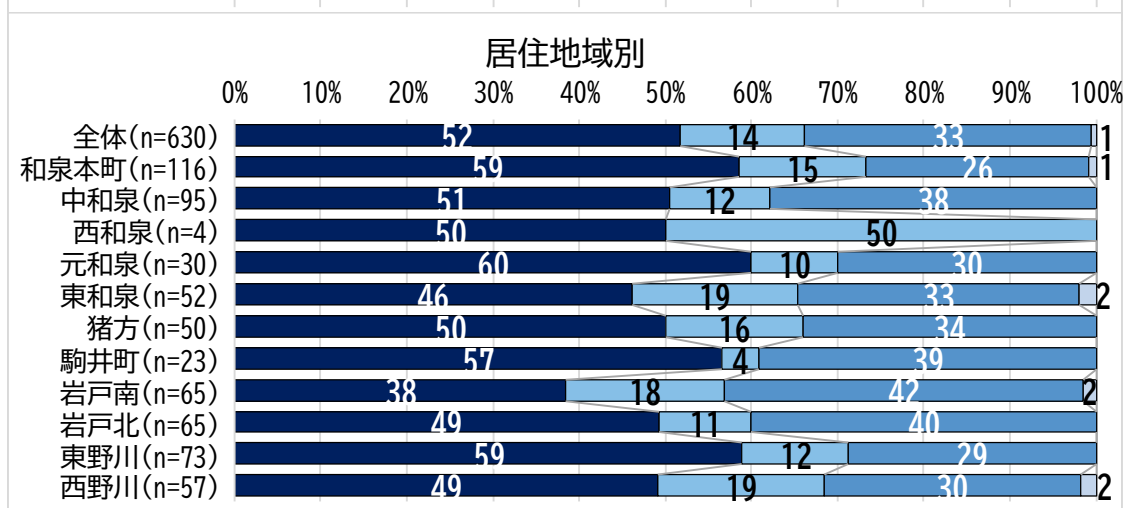
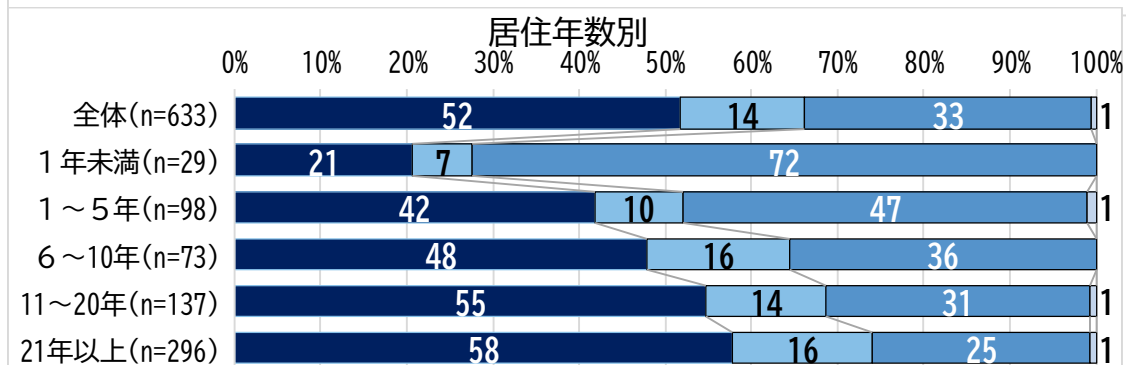
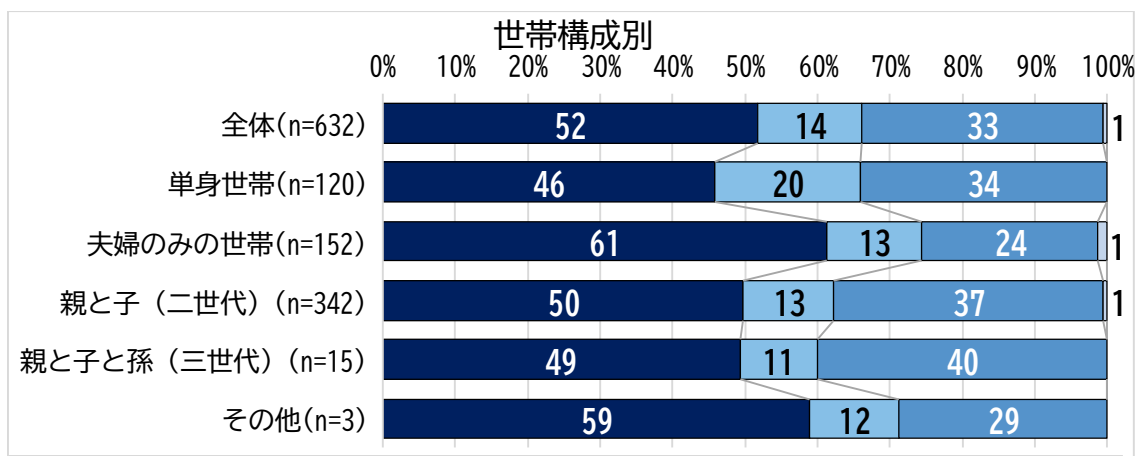
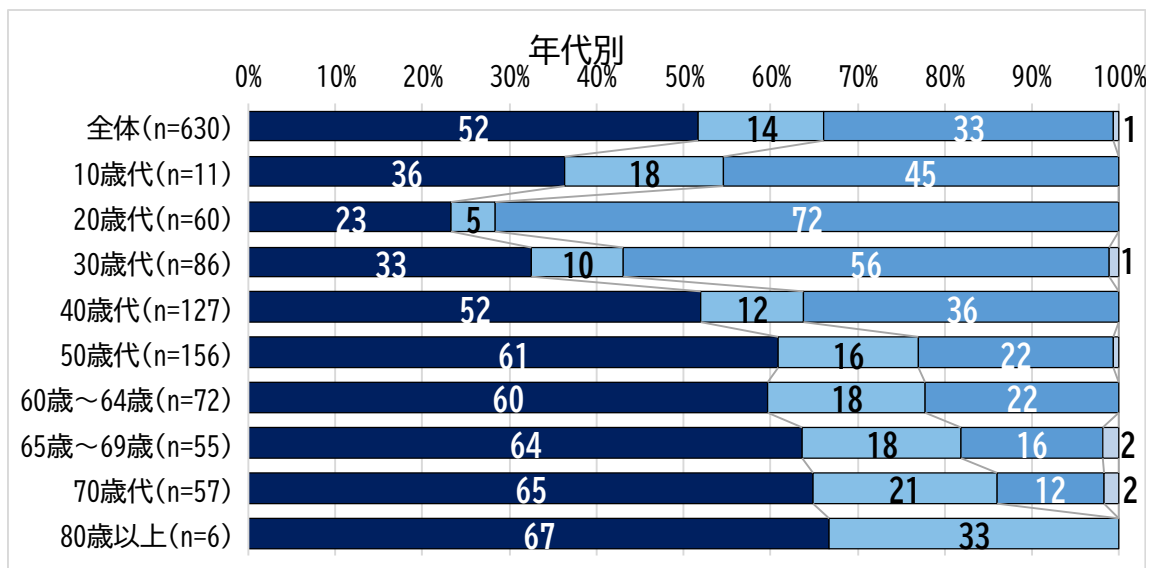
■回答数及び構成比

	回答数	構成比
知っているが読んだことがある	328	51.7%
知っているが読んだことがない	91	14.4%
知らない	211	33.3%
未回答	4	0.6%
合計	634	

■クロス集計(性別、年代、世帯構成、居住地域、居住年数別)

■ 知っているが読んだことがある ■ 知っているが読んだことがない ■ 知らない ■ 未回答



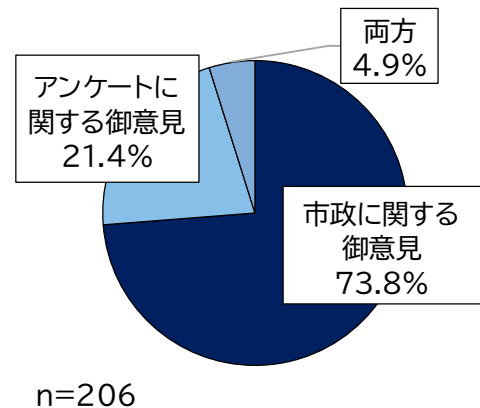


●問 33 本アンケートに関する御意見、市政に関する御意見等、何でも御記入ください。(自由記述)

合計 206 件

■回答数及び構成比

	回答数	構成比
市政に関する御意見	152	73.8%
アンケートに関する御意見	44	21.4%
両方	10	4.9%
合計	206	



いただいた御意見(抜粋) ※市政に関する御意見のみ記載(原文のとおり)

市役所隣のみらいテラスは、明るく子供達が利用しやすい雰囲気であり、子供は受験勉強をするため利用していました。良い施設ができ嬉しく思います。

狛江駅周辺は綺麗になりました。寛ぎやすい場所になってると思います。
和泉多摩川駅周辺は再開発出来ませんか、ちょっとさびしい感じします。

喜多見駅は土地からしても狛江市に住んでいる方も多いと思う。そこにも狛江市の情報や狛江市の楽しみ方など情報を多くしてもらいたい。

狛江市は立地的にも環境的にも恵まれた市だと思います。けれど、これといった目玉になるものが無くただ暮らすだけの場所になりがちです。歴史や文化の少ない地域かもしれませんが、新しく開けた地域の利点を活かして魅力的な市にしていければ良いと思います。

コンパクトだからこその行政や議会と市民との距離感の近さを狛江市の強みとして、誰もが住みやすく、将来に渡って持続可能な、協働型の街づくりを、引き続き願います。

こういったアンケートに初めて回答した。狛江市の取り組みについて知らないことが多いと感じた。LINE や Instagram など様々な sns の配信も積極的に行ってほしい。

子供や高齢者、障がい者への支援が充実してきている反面、働き世代や若者への支援が手薄になっているような気がします。

独身のひとり暮らしだと、地域活動に参加するきっかけがあまりないなと感じています。(シニアやファミリー向けの企画が多くなるのは仕方がないことだと思います)。せめて防災関連の訓練には参加したいと思っていますが、うまく情報を拾えていないのかもしれない。

以前は紙のアンケート用紙に記載していたが、何時ごろかオンラインに切り替わり、大変記述が楽になった。必要とする行政サービスの効率化に IT は大いに役に立つ。これからもどんどん活用して欲しい。

市民自ら参画意識がなければ地域は良くならない。誰か(市役所や都)になにかをやってもらおうという気構えでは、コミュニティは益々衰えていくとおもう。

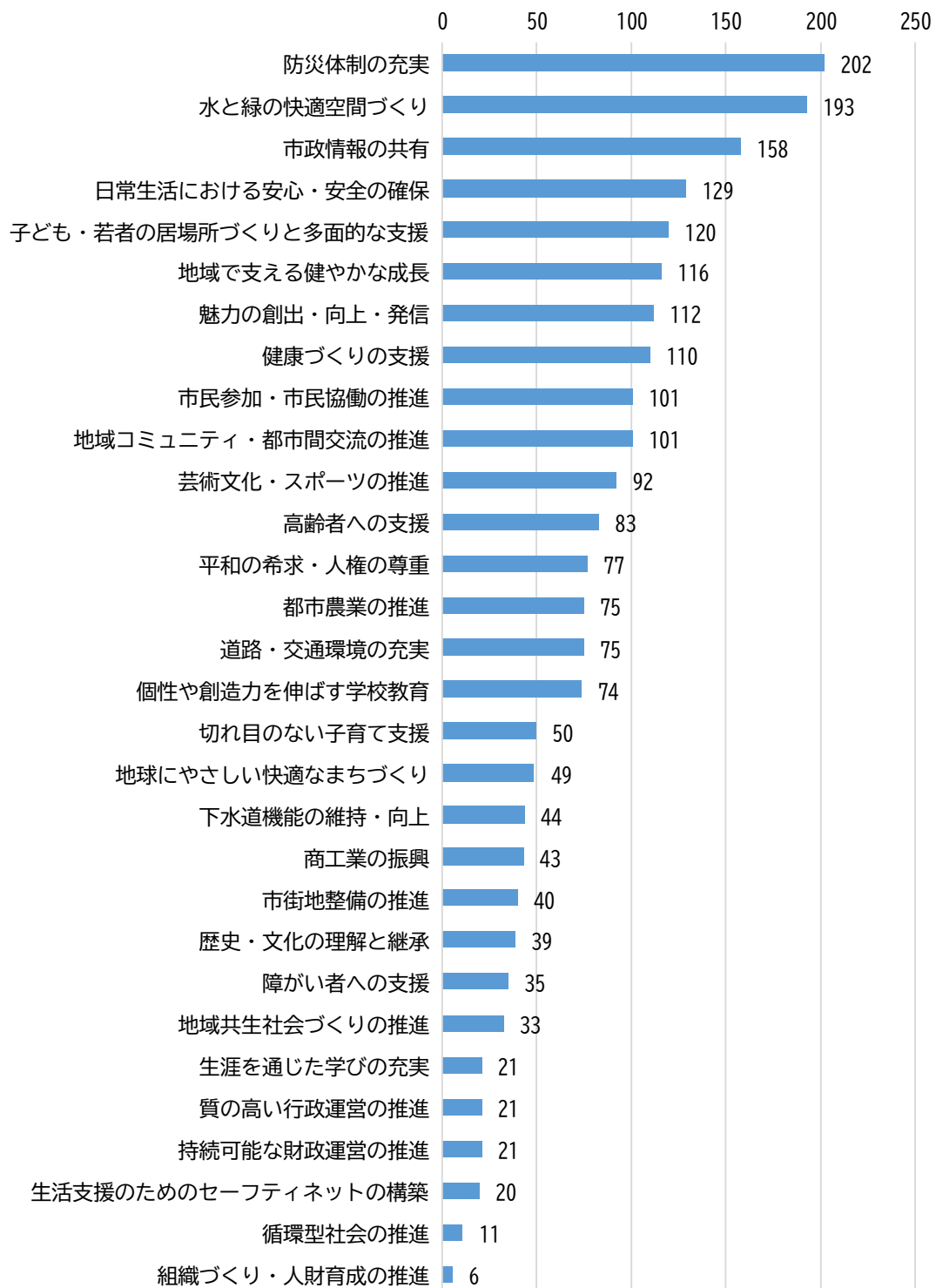
子どもやお年寄りに優しい街だけでなく、誰にでも優しい街になってほしい。

● 狛江市の取組に対する評価について

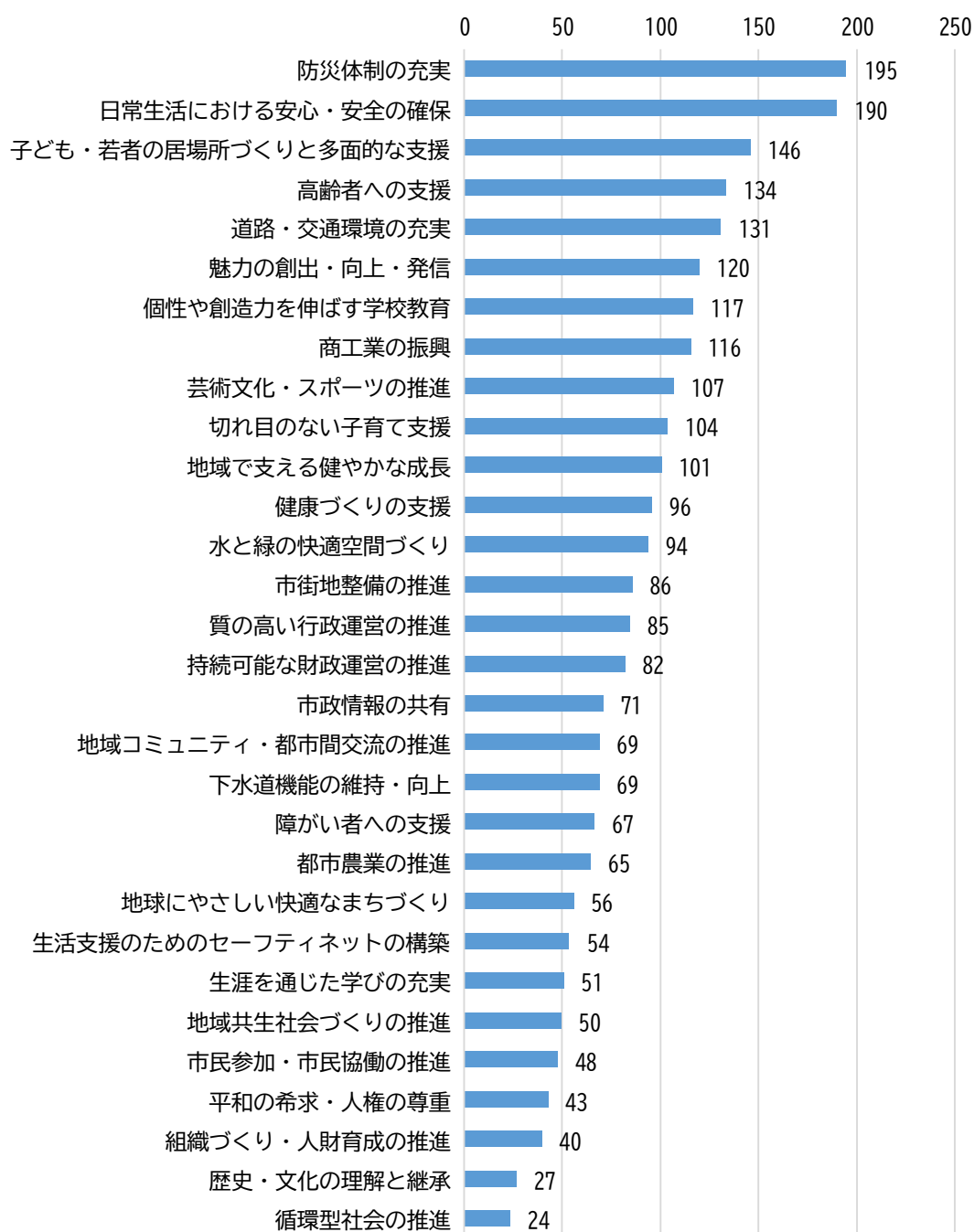
- 問 34 1. 市の取組を評価できると思う施策を下記の施策一覧表の中から5個選択し、数字を記入してください。
2. 市の取組をもっと進めていくべきと思う施策を下記の施策一覧表から5個選択し、数字を記入してください。

	施策	市の取組を 評価できると思う		市の取組をもっと 進めていくべきと思う	
			順位		順位
1	平和の希求・人権の尊重	77	13	43	27
2	市民参加・市民協働の推進	101	9	48	26
3	市政情報の共有	158	3	71	17
4	防災体制の充実	202	1	195	1
5	日常生活における安心・安全の確保	129	4	190	2
6	魅力の創出・向上・発信	112	7	120	6
7	地域コミュニティ・都市間交流の推進	101	9	69	18
8	商工業の振興	43	20	116	8
9	都市農業の推進	75	14	65	21
10	地域で支える健やかな成長	116	6	101	11
11	切れ目のない子育て支援	50	17	104	10
12	子ども・若者の居場所づくりと多面的な支援	120	5	146	3
13	個性や創造力を伸ばす学校教育	74	16	117	7
14	地域共生社会づくりの推進	33	24	50	25
15	健康づくりの支援	110	8	96	12
16	高齢者への支援	83	12	134	4
17	障がい者への支援	35	23	67	20
18	生活支援のためのセーフティネットの構築	20	28	54	23
19	生涯を通じた学びの充実	21	25	51	24
20	芸術文化・スポーツの推進	92	11	107	9
21	歴史・文化の理解と継承	39	22	27	29
22	水と緑の快適空間づくり	193	2	94	13
23	地球にやさしい快適なまちづくり	49	18	56	22
24	循環型社会の推進	11	29	24	30
25	下水道機能の維持・向上	44	19	69	18
26	市街地整備の推進	40	21	86	14
27	道路・交通環境の充実	75	14	131	5
28	質の高い行政運営の推進	21	25	85	15
29	持続可能な財政運営の推進	21	25	82	16
30	組織づくり・人材育成の推進	6	30	40	28

市の取組を評価できると思う



市の取組をもっと進めていくべきと思う



回答数値一覧

指標	設問		回答	当初値 (令和5年度)	R8.4.1	当初値との比較	目標値 (令和11年度末)
★	問1	あなたは、これから柏江市に住み続けたいと思いますか。	「ずっと住み続けたい」、「できれば住み続けたい」の合計の割合	90.2	93.7	↗	94.7
	問1-2	(問1で「ずっと住み続けたい」、「できれば住み続けたい」と回答した人を対象に)住み続けたいと思う理由を3つまで挙げてください。	892件の回答				-
	問1-3	(問1で「できれば転出したい」、「転出したしたい」と回答した人を対象に)住み続けたくないと思う理由を3つまで挙げてください。	84件の回答				-
★	問2-1	あなたは、柏江市に対して愛着や誇りを持っていますか。	「愛着や誇りを持っている」、「どちらかといえば愛着や誇りを持っている」の合計の割合	80.3	81.5	↗	84.0
	問2-2	愛着や誇りを持つところを3つまで挙げてください。	1,086件の回答				-
★	問3	あなたは、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、人権が尊重されていると思いますか。	「尊重されている」、「どちらかといえば尊重されている」の合計の割合	83.7	86.9	↗	88.0
★	問4	あなたは、地震や台風等の自然災害に対して、非常食の準備や防災グッズの用意、家具の転倒防止器具の設置等、何らかの備えをしていますか。	「備えをしている」の割合	68.6	76.2	↗	72.0
	問5	令和4年5月に東京都は首都直下地震等による被害想定を発表し、柏江市では地震に伴う火災による被害などが懸念されていますが、あなたは、震災による火災への備えをしていますか。	最も多かった「食料の備蓄」の割合 ※回答者合計の634人に対する割合	-	68.9		-
★	問6	あなたは、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間で、柏江市が主催する防災訓練や水防訓練のほか、お住まいの地域や学校で行われている防災訓練や講演会等、防災に関する催しに参加しましたか。	「参加した」の割合	10.4	12.1	↗	30.0
★	問7	あなたは、柏江市が治安の良いまちだと感じますか。	「治安が良いと感じる」、「どちらかといえば治安が良いと感じる」の合計の割合	93.1	95.3	↗	97.8
★	問8	あなたは、柏江市内での飲食や買い物が便利だと感じますか。	「便利だと感じる」、「どちらかといえば便利だと感じる」の合計の割合	69.3	74.6	↗	73.0
★	問9	あなたは、日頃から柏江産の野菜や果物を意識して買ったり、食べたりしていますか。	「産地を意識して、柏江産の野菜や果物を買ったり、食べたりしている」の割合	34.8	32.2	↘	40.0
★	問10	(対象者を市内に18歳未満の子又は孫がいる方に設定) あなたは、柏江市内での子育てに関する取組や活動※が活発だと感じますか。 (※子育てひろばや子育て講座、プレーパーク、児童館等の取組や地域における子育てサークル、地域での身近な居場所等)	「活発だと感じる」、「どちらかといえば活発だと感じる」の合計の割合	73.7	83.6	↗	77.4
★	問11	(対象者を市内に18歳未満の子又は孫がいる方に設定) あなたは、学校や家以外で、地域において、子どもの居場所が充実していると感じますか。	「充実していると感じる」、「どちらかといえば充実していると感じる」の合計の割合	56.4	61.9		62.0
	問12	柏江市では、柏江市子どもの権利条例を令和8年4月1日に施行しました。あなたは、柏江市子どもの権利条例について知っていますか？	「くわしく知っている」、「知っているが内容までは知らない」、「聞いたことがある」の合計の割合	-	39.0		-
★	問13	あなたには、日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人と触れ合ったりする機会がありますか。(全年代)	「定期的に地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がある」、「定期的ではないが、地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がある」の合計の割合	31.2	31.9	↗	36.0
★		あなたには、日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人と触れ合ったりする機会がありますか。(65歳以上の高齢者)	「定期的に地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がある」、「定期的ではないが、地域の行事や活動に参加したり、触れ合ったりする機会がある」の合計の割合(65歳以上)	36.9	42.4	↗	42.0
★	問14	あなたは、日頃から健康づくりに取り組んでいますか。	「取り組んでいる」、「どちらかといえば取り組んでいる」の合計の割合	66.0	69.7	↗	69.0
★	問15	あなたは、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間に、図書館で調べ物をしたり、公民館の講座や講演会に参加したり、その他趣味の活動やレクリエーション活動等、学びに関する活動や体験をしていましたか。	「活動や体験をしていた」の割合	30.6	34.9	↗	38.0
★	問16	あなたは、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間に、コンサートホールや美術館、ギャラリー等で音楽や芸術を鑑賞していたり、自ら芸術文化活動に取り組んだりする機会がありましたか。(自宅や通学・通学途中で音楽を聴くといったことは含まないでください。)	「活動や体験をしていた」の割合	43.0	45.4	↗	47.0
★	問17	あなたは、ウォーキングや散歩(散策やペットの散歩、意識的な階段の利用等を含む)、体操(ラジオ体操や職場体操、ストレッチ、ヨガ等を含む)、ランニング、野球、サッカー等のスポーツや運動をどれくらいの頻度で行っていますか。	「週3日以上(年151日以上)」、「週に2日(年101日～150日)」、「週に1日(年51日～100日)」の合計の割合	63.8	67.7	↗	70.0
★	問18	あなたは、柏江市の歴史や伝統について、関心を持ったり、見聞さしたりしたことがありますか。	「ある」、「どちらかといえばある」の合計の割合	55.9	59.5		60.0
★	問19	あなたは、柏江市内の緑が豊かだと感じますか。	「豊かだと感じる」、「どちらかといえば豊かだと感じる」の合計の割合	89.2	90.1	↗	94.0
★	問20	あなたは、多摩川統一清掃や野川美化清掃、グリーン大作戦、町会・自治会や団体による柏江市内の美化活動に参加したことがありますか。	「参加したことがある」の割合	25.4	23.8	↘	29.0
	問21	「生物多様性※」という言葉について知っていますか ※生物多様性とは、全ての生き物に違いがあり、お互いにつながりあって、支えあいながら生きていることをいいます。	「意味も含めて知っている」の割合	-	45.3		-
	問22	あなたは、柏江市の多摩川に対して愛着を持っていますか。	「愛着を持っている」、「どちらかといえば愛着を持っている」の合計の割合	-	83.1		-
	問23	あなたは、柏江市の多摩川河川敷の整備や活用などに対して満足していますか。	「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合計の割合	-	71.1		-
	問24	あなたは、行政活動に市民の意見を反映する場(審議会・委員会・パブリックコメント等)に、より多くの市民が参加するようになるためには何が必要だと思いますか。	最も多かった「審議会等の内容を積極的に周知すること」の割合 ※回答者合計の634人に対する割合	-	54.3		-
	問25	あなたは、市民活動支援センター(こまえみらいテラス1階)を利用したことがありますか。	「利用したことがある、又は利用する予定がある」の割合	-	18.5		-
★	問26	あなたは、現在市民活動※(ボランティアを含む)を行っていますか。 ※市民活動とは、地域のさまざまな課題解決や地域コミュニティなどを推進するための自主的・自発的な活動をいいます。 (例:福祉施設等への支援活動、子育て支援活動、外国人への支援活動等)	「団体として活動している」、「個人として活動している」の合計の割合	9.3	9.8	↗	15.0
	問27	あなたは、より多くの市民が市民活動(ボランティアを含む)に参加するようになるためには何が必要だと思いますか。	最も多かった「市民活動の内容・成果を積極的に周知すること」の割合 ※回答者合計の634人に対する割合	-	54.9		-

指標	設問		回答	当初値 (令和5年度)	R8.4.1	当初値との比較	目標値 (令和11年度末)
	問28	狛江市では狛江市まちづくり条例に基づき地区まちづくり協議会を認定しています。現在、市内で活動している地区まちづくり協議会について、認知しているものを選択してください。	1. 野川まちづくり協議会 2. 狛江・和泉多摩川リバーサイド賑わいのある街づくり推進会 3. 狛江駅南口地区まちづくり協議会 4. 喜多見駅狛江市側改札口周辺まちづくり協議会 5. どれも知らない 最も多かった「5. どれも知らない」の割合 69.5% 次に多かった「2. 狛江・和泉多摩川リバーサイド賑わいのある街づくり推進会」の割合 13.9% ※回答者合計の634人に対する割合	-	-		-
★	問29	あなたは、必要とする市政情報について、広報こまえや市ホームページX(旧ツイッター)等でいつでも得ることができていると感じていますか。	「得ることができている」、「どちらかといえば得ることができている」の合計の割合	76.9	74.8	↘	81.0
	問29-2	主に何で情報を得ますか。	最も多かった「広報こまえ」の割合※問29で「得ることができている」又は「どちらかといえば得ることができている」と回答した474人に対する割合	-	65.4		-
	問29-3	情報を得ることができていないと感じる理由を教えてください。	最も多かった「入手方法が分からないから」の割合※問29で「得ることができていない」又は「どちらかといえば得ることができていない」と回答した154人に対する割合	-	34.4		-
★	問30	あなたは、狛江市役所が質の高い行政運営を行っていると感じていますか。	「行っていると感じる」、「どちらかといえば行っていると感じる」の合計の割合	71.4	75.4	↗	75.0
★	問31	あなたは、狛江市役所職員の対応(窓口や電話等)に満足していますか。	「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合計の割合	86.0	87.5	↗	90.0
	問32	あなたは、年4回発行されている狛江市議会だより「GG(旧こまえ市議会だより)」を知っていますか。	「知っていて読んだことがある」の割合	-	51.7		-
	問33	本アンケートに関する御意見、市政に関する御意見等、何でも御記入ください。	206件の回答				-
	問34-1	市の取組を評価できると思う施策を5個選択してください。	-	-	-	-	-
	問34-2	市の取組をもっと進めていくべきと思う施策を5個選択してください。	-	-	-	-	-

登録番号 R8-9

令和8年度狛江市後期基本計画の指標等
に係る市民アンケート調査報告書

令和8年7月発行

発 行 狛江市
編 集 企画財政部 政策室
狛江市和泉本町一丁目1番5号
電話 03(3430)1111

印 刷 庁内印刷
頒布価格 180円